

(様式第10)

鹿大病総第400号

令和6年10月4日

厚生労働大臣

殿

開設者名

国立大学法人鹿児島大学長

佐野 輝

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21番24号
氏名	国立大学法人鹿児島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

鹿児島大学病院
---------

3 所在の場所

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号
電話( 099 ) 275 - 5111(代表)

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科							
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		<input type="radio"/>		11リウマチ科

診療実績

「腎臓内科」・「血液内科」・「内分泌内科」の診療内容は「内科」、 「神経内科」の診療内容は「脳神経内科」、 「代謝内科」・「感染症内科」・「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」の診療内容は、「皮膚科」・「耳鼻咽喉科」・「呼吸器内科」等の複数の診療科で提供している。

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科							
外科と組み合わせた診療科名							
<input type="radio"/>	1呼吸器外科	<input type="radio"/>	2消化器外科	<input type="radio"/>	3乳腺外科	<input type="radio"/>	4心臓外科
	5血管外科	<input type="radio"/>	6心臓血管外科		7内分泌外科	<input type="radio"/>	8小児外科
診療実績							
「乳腺外科」、「内分泌外科」の診療内容は「外科」で提供している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input type="radio"/>	1精神科	<input type="radio"/>	2小児科	<input type="radio"/>	3整形外科	<input type="radio"/>	4脳神経外科
<input type="radio"/>	5皮膚科	<input type="radio"/>	6泌尿器科		7産婦人科	<input type="radio"/>	8産科
<input type="radio"/>	9婦人科	<input type="radio"/>	10眼科	<input type="radio"/>	11耳鼻咽喉科	<input type="radio"/>	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	<input type="radio"/>	15麻酔科	<input type="radio"/>	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科							
歯科と組み合わせた診療科名							
<input type="radio"/>	1小児歯科	<input type="radio"/>	2矯正歯科	<input type="radio"/>	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	リハビリテーション科	3	病理診断科	4	臨床検査科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	
40	2	0	0	630	672	(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	231	286	436
歯科医師	96	37	108.9
薬剤師	48	4	49.2
保健師	0	0	0
助産師	23	2	23.5
看護師	671	51	705.7
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	13	1	14
管理栄養士	11	5	16

職種	員数
看護補助者	58
理学療法士	27
作業療法士	10
視能訓練士	6
義肢装具士	0
臨床工学士	29
栄養士	1
歯科技工士	4
診療放射線技師	42

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	49
	衛生検査技師	0
	その他	4
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	14	
その他の技術員	21	
事務職員	176	
その他の職員	93	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	45	眼科専門医	11
外科専門医	55	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	12	放射線科専門医	19
小児科専門医	18	脳神経外科専門医	13
皮膚科専門医	5	整形外科専門医	13
泌尿器科専門医	12	麻酔科専門医	18
産婦人科専門医	17	救急科専門医	12
		合計	258

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 坂本 泰二 ) 任命年月日 令和 2 年 4 月 1 日

- ・副病院長(医科担当):平成29年度～令和元年度
- ・医療安全管理委員会 委員:平成29年度～令和5年度
- ・感染症対策委員会 委員:令和元年度～令和5年度

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	497.3 人	22.2 人	519.5 人
1日当たり平均外来患者数	1210.4 人	385.5 人	1595.9 人
1日当たり平均調剤数		1063	剤
必要医師数		123	人
必要歯科医師数		7	人
必要薬剤師数		18	人
必要(准)看護師数		315	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	320 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	14 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 379 m <sup>2</sup>		病床数	24 床		
	[移動式の場合] 台数 0 台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積					m <sup>2</sup>
	[共用室の場合] 共用する室名		病理薬剤業務管理室			
化学検査室	304 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、免疫比濁分析装置、免疫蛍光分析装置、免疫発光測定装置、蛋白分画電気泳動分析装置、グルコース分析装置、グリコヘモグロビン分析装置、血液計数装置、血液塗抹標本作製装置、フローサイトメータ、顕微鏡		
細菌検査室	45 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	血液培養自動分析装置、遺伝子解析装置、嫌気培養装置、炭酸ガス培養装置、抗酸菌培養検査装置、微生物分類同定分析装置、微生物感受性分析装置、微生物由来成分質量分析装置、安全キャビネット、クリーンベンチ、遺伝子抽出装置、好気培養装置、顕微鏡		
病理検査室	306 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	密閉式自動固定包埋装置、ハラフィン包埋ブロック作製装置、滑走式マイクローム、自動染色装置、自動封入装置、自動免疫染色、凍結切片作製装置、集細胞遠心装置、顕微鏡、病理・細胞診検査業務支援システム、液状処理細胞診前処理装置		
病理解剖室	56 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	バイオハザード対応排気システム		
研究室	8026 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	ガスクロマトグラフ、電子顕微鏡		
講義室	655 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	3 室	収容定員	499 人
図書室	2007 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	11 室	蔵書数	122344 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	83.5	%	逆紹介率	70.9	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		15424	人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14069	人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1149	人	
	D: 初診の患者の数		19842	人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
栗原 慎太郎	長崎大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
蓑毛 まりえ	さくら総合法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO法人 がんサポートかごしま		医療を受ける者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
鹿児島大学ホームページに掲載。	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2	56	下垂体性ADH分泌異常症	21
2	筋萎縮性側索硬化症	22	57	下垂体性TSH分泌亢進症	5
3	脊髄性筋萎縮症	33	58	下垂体性PRL分泌亢進症	5
4	進行性核上性麻痺	7	59	クッシング病	9
5	パーキンソン病	90	60	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
6	大脳皮質基底核変性症	3	61	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	27
7	ハンチントン病	1	62	下垂体前葉機能低下症	166
8	シャルコー・マリー・トウス病	1	63	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
9	重症筋無力症	85	64	先天性副腎皮質酵素欠損症	5
10	多発性硬化症/視神経脊髄炎	68	65	アジソン病	2
11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	21	66	サルコイドーシス	83
12	封入体筋炎	7	67	特発性間質性肺炎	44
13	クドウ・深瀬症候群	4	68	肺動脈性肺高血圧症	69
14	多系統萎縮症	15	69	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	75
15	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	40	70	リンパ管筋腫症	3
16	ライゾゾーム病	16	71	網膜色素変性症	46
17	ミトコンドリア病	23	72	バッド・キアリ症候群	1
18	もやもや病	64	73	原発性胆汁性肝硬変	19
19	プリオン病	1	74	原発性硬化性胆管炎	9
20	HTLV-1関連脊髄症	20	75	自己免疫性肝炎	18
21	全身性アミロイドーシス	31	76	クローン病	125
22	神経線維腫症	52	77	潰瘍性大腸炎	104
23	天疱瘡	18	78	好酸球性消化管疾患	10
24	膿疱性乾癬(汎発型)	20	79	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
25	高安動脈炎	17	80	コステロ症候群	1
26	巨細胞性動脈炎	11	81	チャージ症候群	2
27	結節性多発動脈炎	5	82	クリオピリン関連周期熱症候群	3
28	顕微鏡的多発血管炎	20	83	全身型若年性特発性関節炎	10
29	多発血管炎性肉芽腫症	14	84	先天性ミオパチー	1
30	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	21	85	筋ジストロフィー	12
31	悪性関節リウマチ	6	86	脊髄空洞症	7
32	バージャー病	4	87	脊髄髄膜瘤	1
33	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	88	アイザックス症候群	4
34	全身性エリテマトーデス	325	89	遺伝性ジストニア	2
35	皮膚筋炎/多発性筋炎	127	90	脳表ヘモジデリン沈着症	3
36	全身性强皮症	138	91	前頭側頭葉変性症	4
37	混合性結合組織病	46	92	神経細胞移動異常症	2
38	シェーグレン症候群	48	93	ウエスト症候群	1
39	成人スチル病	14	94	大田原症候群	1
40	再発性多発軟骨炎	5	95	結節性硬化症	7
41	ベーチェット病	91	96	先天性魚鱗癬	1
42	特発性拡張型心筋症	55	97	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	24
43	肥大型心筋症	17	98	特発性後天性全身性無汗症	7
44	再生不良性貧血	16	99	弾性線維性仮性黄色腫	2
45	自己免疫性溶血性貧血	2	100	マルファン症候群	11
46	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	101	エーラス・ダンロス症候群	1
47	特発性血小板減少性紫斑病	40	102	ウィルソン病	3
48	血栓性血小板減少性紫斑病	1	103	ウィリアムズ症候群	1
49	原発性免疫不全症候群	12	104	アントレー・ピクスラー症候群	2
50	IgA腎症	21	105	多脾症候群	1
51	多発性嚢胞腎	27	106	無脾症候群	4
52	黄色靱帯骨化症	16	107	ウェルナー症候群	2
53	後縦靱帯骨化症	79	108	プラダー・ウィリ症候群	3
54	広範脊柱管狭窄症	3	109	ヌーナン症候群	1
55	特発性大腿骨頭壊死症	39	110	22q11.2欠失症候群	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

111	完全大血管転位症	2	166	
112	単心室症	11	167	
113	左心低形成症候群	4	168	
114	三尖弁閉鎖症	5	169	
115	ファロー四徴症	12	170	
116	両大血管右室起始症	5	171	
117	エプスタイン病	2	172	
118	アルポート症候群	1	173	
119	急速進行性糸球体腎炎	2	174	
120	一次性ネフローゼ症候群	15	175	
121	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	176	
122	紫斑病性腎炎	5	177	
123	間質性膀胱炎(ハンナ型)	4	178	
124	オスラー病	11	179	
125	肺胞低換気症候群	1	180	
126	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	2	181	
127	副甲状腺機能低下症	1	182	
128	偽性副甲状腺機能低下症	1	183	
129	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	184	
130	フェニルケトン尿症	1	185	
131	プロピオン酸血症	1	186	
132	メチルマロン酸血症	2	187	
133	グルタル酸血症1型	1	188	
134	肝型糖原病	1	189	
135	家族性地中海熱	2	190	
136	慢性再発性多発性骨髄炎	1	191	
137	強直性脊椎炎	4	192	
138	クロンカイト・カナダ症候群	1	193	
139	総排泄腔遺残	1	194	
140	胆道閉鎖症	5	195	
141	アラジール症候群	1	196	
142	嚢胞性線維症	1	197	
143	IgG4関連疾患	16	198	
144	黄斑ジストロフィー	3	199	
145	レーベル遺伝性視神経症	2	200	
146	好酸球性副鼻腔炎	37	201	
147	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	1	202	
148	特発性多中心性キャッスルマン病	2	203	
149	ホモシスチン尿	2	204	
150			205	
151			206	
152			207	
153			208	
154			209	
155			210	
156			211	
157			212	
158			213	
159			214	
160			215	
161			216	
162			217	
163			218	
164			219	
165			220	

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	149
合計患者数(人)	3014

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
歯科外来診療医療安全対策加算2	ハイリスク妊娠管理加算
歯科外来診療感染対策加算4	ハイリスク分娩管理加算
歯科診療特別対応連携加算	後発医薬品使用体制加算1
特定機能病院入院基本料	病棟薬剤業務実施加算1
救急医療管理加算	病棟薬剤業務実施加算2
超急性期脳卒中加算	データ提出加算2
診療録管理体制加算2	入退院支援加算1
医師事務作業補助体制加算1	認知症ケア加算1
急性期看護補助体制加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
看護職員夜間配置加算	精神疾患診療体制加算
療養環境加算	精神科急性期医師配置加算
重症者等療養環境特別加算	地域医療体制確保加算
無菌治療室管理加算1	救命救急入院料1
無菌治療室管理加算2	特定集中治療室管理料1
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による治療の場合)	新生児特定集中治療室管理料1
緩和ケア診療加算	小児入院医療管理料2
小児緩和ケア診療加算	特定機能病院リハビリテーション病棟入院料
精神科身体合併症管理加算	看護職員処遇改善評価料
精神科リエゾンチーム加算	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
摂食障害入院医療管理加算	入院ベースアップ評価料
栄養サポートチーム加算	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
医療安全対策加算1	入院時食事療養/生活療養(Ⅰ)
感染対策向上加算1	
患者サポート体制充実加算	
重症患者初期支援充実加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科治療時医療管理料	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
在宅患者歯科治療時医療管理料	医療機器安全管理料
ウイルス疾患指導料	在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
糖尿病合併症管理料	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
がん性疼痛緩和指導管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
外来緩和ケア管理料	遺伝学的検査
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	染色体検査の注2に規定する基準
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	有床義歯咀嚼機能検査1のイ
糖尿病透析予防指導管理料	有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査
小児運動器疾患指導管理料	有床義歯咀嚼機能検査2のイ
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
婦人科特定疾患治療管理料	精密触覚機能検査
腎代替療法指導管理料	骨髄微小残存病変量測定
一般不妊治療管理料	BRCA1/2遺伝子検査
生殖補助医療管理料2	がんゲノムプロファイリング検査
二次性骨折予防継続管理料1・3	先天性代謝異常症検査
下肢創傷処置管理料	抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
外来放射線照射診療料	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
外来腫瘍化学療法診療料1	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
ニコチン依存症管理料	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
がん治療連携計画策定料	検体検査管理加算(Ⅰ)
肝炎インターフェロン治療計画料	検体検査管理加算(Ⅳ)
ハイリスク妊産婦連携指導料2	国際標準検査管理加算
薬剤管理指導料	遺伝カウンセリング加算

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)②

施設基準の種類	施設基準の種類
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	乳房MRI撮影加算
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	小児鎮静下MRI撮影加算
胎児心エコー法	頭部MRI撮影加算
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
ヘッドアップティルト試験	外来化学療法加算1
人工膝臓検査、人工膝臓療法	無菌製剤処理料
長期継続頭蓋内脳波検査	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
長期脳波ビデオ同時記録検査1	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
脳波検査判断料1	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
神経学的検査	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
補聴器適合検査	がん患者リハビリテーション料
ロービジョン検査判断料	歯科口腔リハビリテーション料2
コンタクトレンズ検査料1	認知療法・認知行動療法1
小児食物アレルギー負荷検査	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
内服・点滴誘発試験	医療保護入院等診療料
経気管支凍結生検法	口腔粘膜処置
画像診断管理加算4	レーザー機器加算
歯科画像診断管理加算1	エタノールの局所注入(甲状腺)
歯科画像診断管理加算2	エタノールの局所注入(副甲状腺)
ポジトロン断層撮影	導入期加算3及び腎代替療法実績加算
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
CT撮影及びMRI撮影	手術用顕微鏡加算
冠動脈CT撮影加算	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
外傷全身CT加算	CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
血流予備量比コンピューター断層撮影	手術時歯根面レーザー応用加算
心臓MRI撮影加算	有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)③

施設基準の種類	施設基準の種類
皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	乳癌センチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(センチネルリンパ節生検(単独))
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
椎間板内酵素注入療法	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
角結膜悪性腫瘍切除術	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
角膜移植手術 内皮移植加算	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	胸腔鏡下弁形成術
緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	胸腔鏡下弁置換術
網膜再建術	経皮的僧帽弁クリップ術
経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	経皮的中隔心筋焼灼術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	補助人工心臓
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につぎ)(MRIによるもの)	経皮的下肢動脈形成術
乳癌センチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(センチネルリンパ節生検(併用))	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)④

施設基準の種類	施設基準の種類
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	精巣内精子採取術
腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	体外式膜型人工肺管理料
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	輸血管管理料Ⅱ
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
内視鏡的小腸ポリープ切除術	同種クリオプレシピテート作製術
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	歯周組織再生誘導手術
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
同種死体腎移植術	歯根端切除手術の注3
生体腎移植術	麻酔管理料(Ⅰ)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)⑤

施設基準の種類	施設基準の種類
麻酔管理料(Ⅱ)	ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
歯科麻酔管理料	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
放射線治療専任加算	ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影
外来放射線治療加算	ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
高エネルギー放射線治療	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(一連の検査につき)4 アミロイドPETイメージング剤を用いた場合(一連の検査につき)
1回線量増加加算	全身MRI撮影加算
強度変調放射線治療(IMRT)	人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)
画像誘導放射線治療(IGRT)	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
体外照射呼吸性移動対策加算	ストーマ合併症加算
定位放射線治療	骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)
画像誘導密封小線源治療加算	緊急穿頭血腫除去術
保険医療機関間の連携による病理診断	毛様体光凝固術 (眼内内視鏡を用いるものに限る。)
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
病理診断管理加算2	胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
デジタル病理画像による病理診断	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
悪性腫瘍病理組織標本加算	腹腔鏡下臍中央切除術
口腔病理診断管理加算2	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
クラウン・ブリッジ維持管理料	尿道狭窄グラフト再建術
歯科矯正診断料	精巣温存手術
顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)	女子外性器悪性腫瘍手術(女子外性器悪性腫瘍手術センチネルリンパ節生検加算を算定する場合に限る。)
口腔細菌定量検査	腹腔鏡下腔断端挙上術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)	
歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	
光学印象	
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	





(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肺高血圧症患者レジストリ Japan Pulmonary Hypertension Registry:JAPHR	窪田 佳代子	心臓血管内科	405,000	委	特定非営利活動法人 Japan PH Registry
循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究	大石 充	心臓血管内科	117,000	委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
【長寿研22-24】フレイル高齢者のレジストリ研究及びロコモ、サルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確立を目指した臨床ならびに関連研究	大石 充	心臓血管内科	600,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
ミトコンドリアダイナミクス関連miRNAを軸とした虚血性心臓病における新規マーカーの確立	大石 充	心臓血管内科	1,000,000	委	肝属郡医師会立病院
垂水市在住一般住民における前向きコホート研究	大石 充	心臓血管内科	826,279	委	垂水市
地域住民における脳血管疾患発症に対して効果的な血圧管理についての検討	大石 充	心臓血管内科	2,200,000	委	枕崎市立病院
ミトコンドリアダイナミクス関連miRNAを軸とした虚血性心臓病における新規マーカーの確立	大石 充	心臓血管内科	1,700,000	委	垂水中央病院
ミトコンドリアダイナミクス関連miRNAを軸とした虚血性心臓病における新規マーカーの確立	大石 充	心臓血管内科	2,000,000	委	えびの市
食酢の摂取習慣が健康に及ぼす効果に関する研究	大石 充	心臓血管内科	2,200,000	委	(株)Mizkan Holdings
閉経後高齢女性が発症リスクの拡張性心不全に対する分子機序解明及び治療法開発	池田 義之	心臓血管内科	3,900,000	補	日本学術振興会
心房細動患者の認知症予防に関する研究-脳血管障害・血管内皮機能障害との関連-	市来 仁志	心臓血管内科	130,000	補	日本学術振興会
抗がん剤による心筋および骨格筋障害に対するミトコンドリアを介した新規治療法の開発	赤崎 雄一	心臓血管内科	910,000	補	日本学術振興会
肺高血圧症の進行抑制を目的としたフレイルサイクルの多角的評価と介入治療の検討	窪田 佳代子	心臓血管内科	650,000	補	日本学術振興会
高齢者コホートデータ人工知能解析によるフレイルネットワーク分析及び予後因子の同定	大石 充	心臓血管内科	780,000	補	日本学術振興会
新興感染症や災害によるパンデミックを見据えた血圧管理対策	窪菌 琢郎	心臓血管内科	1,820,000	補	日本学術振興会
心房細動の早期発見への道を拓く唾液内マイクロRNAの探索	二宮 雄一	心臓血管内科	1,560,000	補	日本学術振興会
DDR(Dynamic Digital Radiography)を用いた肺高血圧症患者の呼吸機能障害の病態解明	宮永 直	心臓血管内科	520,000	補	日本学術振興会
人工知能解析に基づく、心房細動の予後予測可能な心エコー指標の開発と実装	堀添 善尚	心臓血管内科	1,950,000	補	日本学術振興会
肝障害合併成人心臓手術のアシアロ肝シンチグラフィによる術前リスク評価法の確立	松本 和久	心臓血管外科	520,000	補	日本学術振興会
大動脈瘤ステントグラフト内挿術前後の凝固線溶動態の解析とエンドリークの機序解明	豊川 建二	心臓血管外科	1,430,000	補	日本学術振興会

小計 20件

VEGFアインフォームに着目したズリ応力による血管異型の機序解明	立岡 修治	心臓血管外科	1,560,000	補	日本学術振興会
HAMRET Study: 切除不能肝細胞癌における薬物療法の前向き観察研究	井戸 章雄	消化器内科	220,000	委	一般社団法人九州消化器癌化学療法研究会
切除不能Intermediate stage up-to-seven 基準外肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法の有効性、安全性を検討する多施設共同第II 相臨床研究	井戸 章雄	消化器内科	154,000	委	一般社団法人九州消化器癌化学療法研究会
肝疾患地域連携体制強化事業業務委託	馬渡 誠一	消化器内科	13,119,000	委	鹿児島県知事
生活習慣病が消化器疾患や腎疾患の病態進展に及ぼす影響に関する研究	井戸 章雄	消化器内科	1,000,000	委	国民健康保険高原病院
令和5年度鹿児島県海外技術研修員の受入	上村 修司	消化器内科	283,490	委	鹿児島県
肝細胞癌における腫瘍関連マクロファージに発現するGPNMBの役割	熊谷 公太郎	消化器内科	910,000	補	日本学術振興会
アルコール性肝障害における臓器連関の解析	馬渡 誠一	消化器内科	910,000	補	日本学術振興会
コピー数多型研究に基づいた腸管炎症の新たな重症化機序の解明	上村 修司	消化器内科	520,000	補	日本学術振興会
消化管癌内視鏡治療後の合併症を予防するHGF含浸ゼラチン疎水化マイクロ粒子の開発	佐々木 文郷	消化器内科	2,600,000	補	日本学術振興会
Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab+Irinotecan 併用療法のインターグループランダム化第III相試験(RINDBeRG試験)	有上 貴明	消化器外科	165,000	委	特定非営利活動法人臨床試験推進機構
食道腫瘍内細菌による治療効果予測	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委	えびの市長
内視鏡外科手術動画等を用いた多施設データベースの構築及び利活用	馬場 研二	消化器外科	20,000	委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
消化器癌のリンパ節転移診断精度向上に関する研究	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委	国民健康保険高原病院
食道マイクロバイオーム解析による化学放射線療法に対する治療効果予測	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委	小林市立病院
食道腫瘍内細菌による食道癌の治療効果予測	大塚 隆生	消化器外科	1,200,000	委	垂水中央病院
マイクロバイオームとゲノム解析から膵癌のリスク低減を実現できるか?	大塚 隆生	消化器外科	4,940,000	補	日本学術振興会
治療抵抗性マイクロRNA・オルガノイド解析に基づいた革新的膵癌治療戦略の確立	伊地知 徹也	消化器外科	1,560,000	補	日本学術振興会
腹腔鏡下肝臓切除術は「真に低侵襲」か? ~酸化ストレスからみた影響	川崎 洋太	消化器外科	1,430,000	補	日本学術振興会
なぜ膵臓全体が発癌危険地帯に? マイクロバイオームの関与と膵癌早期診断への挑戦	大塚 隆生	消化器外科	2,340,000	補	日本学術振興会

小計 20件

マイクロ流体チップ技術によるリキッドバイオプシー診断は胃癌治療に革新をもたらすか	有上 貴明	消化器外科	1,560,000	補	日本学術振興会
web遠隔教育で手術は上達するか？新規外科教育システム構築へ向けて	馬場 研二	消化器外科	1,430,000	補	日本学術振興会
軽度外傷性脳損傷における血清・髄液サイトカインプロファイル解析	高嶋 博	脳神経内科	1,000,000	委	肝属郡医師会立病院
神経感染症における包括的遺伝子解析研究の発展	高嶋 博	脳神経内科	400,000	委	垂水中央病院
自己免疫性脳炎・脳症の病態解明に関する研究	高嶋 博	脳神経内科	1,300,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)
Charcot-Marie-Tooth病の治療を見据えた分子遺伝学的研究	高嶋 博	脳神経内科	5,200,000	補	日本学術振興会
超早期治療による発症抑制を目指したHAM発症前炎症病態の診断に資する研究	松浦 英治	脳神経内科	1,170,000	補	日本学術振興会
脊髄小脳変性症の臨床疫学と新規原因遺伝子の同定	樋口 雄二郎	脳神経内科	1,430,000	補	日本学術振興会
遺伝性ニューロパチーの分子疫学的研究-新規原因遺伝子探索とリピート異常伸張	安藤 匡宏	脳神経内科	1,820,000	補	日本学術振興会
次世代シーケンサーを活用した原因不明脳炎の包括的ゲノム診断システムの構築	崎山 佑介	脳神経内科	1,560,000	補	日本学術振興会
膠芽腫の標準治療後病勢を診断する血液バイオマーカーの実用化	花谷 亮典	脳神経外科	390,000	委	国立大学法人金沢大学
鹿児島県てんかん地域診療連携体制整備事業	花谷 亮典	脳神経外科	57,000	委	鹿児島県知事
膠芽腫におけるLPPを中心とした新規浸潤・遊走機構の解明	増田 圭亮	脳神経外科	1,300,000	補	日本学術振興会
悪性神経膠腫におけるテモゾロミド耐性獲得においてオートファジーが果たす役割の解明	米澤 大	脳神経外科	780,000	補	日本学術振興会
機械学習によるグリオーマの診断・予後バイオマーカーの創出と個別化医療への基盤構築	花谷 亮典	脳神経外科	1,430,000	補	日本学術振興会
膠芽腫におけるドライバー遺伝子変異の空間的プロテオミクスへの基盤構築	比嘉 那優大	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会
早期特発性肺線維症患者に対するニテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	渡辺 正樹	呼吸器内科	33,000	委	国立大学法人 長崎大学
コントロール不良重症喘息患者を対象とするTezepelumabによるclinical remissionを検討する多施設共同前向き介入試験(TERESA)	井上 博雅	呼吸器内科	1,650,000	委	一般社団法人 九州臨床研究支援センター
高齢者進展型小細胞肺癌に対するカルボプラチン+エトポシド+デュルバルマブ併用療法の第II相試験(LOGIK2003)	水野 圭子	呼吸器内科	220,000	委	一般社団法人 九州臨床研究支援センター
未治療脳転移を有する進展型小細胞肺癌を対象としたプラチナ製剤+エトポシド+デュルバルマブ(MEDI4736)併用療法の第II相試験(LOGIK2001)	水野 圭子	呼吸器内科	660,000	委	一般社団法人 九州臨床研究支援センター

小計 20件

小細胞肺癌の新規診断マーカーの開発	井上 博雅	呼吸器内科	750,000	委	肝属郡医師会立病院
肺癌細胞が血液脳関門を破錠し、脳転移を可能にする機能性RNAネットワークの解明	井上 博雅	呼吸器内科	300,000	委	垂水中央病院
肺癌細胞が血液脳関門を破錠し、脳転移を可能にする機能性RNAネットワークの解明	井上 博雅	呼吸器内科	1,300,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)
自然リンパ球と脂質分子に注目した難治性喘息の病態解析	井上 博雅	呼吸器内科	1,170,000	補	日本学術振興会
TL1A/DR3シグナルを介したステロイド抵抗性のメカニズム	町田 健太郎	呼吸器内科	780,000	補	日本学術振興会
顆粒球マクロファージコロニー刺激因子(GM-CSF)の新規伝達経路と呼吸器疾患の検討	三山 英夫	呼吸器内科	1,950,000	補	日本学術振興会
リンパ節CD169陽性マクロファージの抗腫瘍免疫機構解明による免疫療法戦略の確立	上田 和弘	呼吸器外科	300,000	委	垂水中央病院
STING伝達経路の肺癌進行における役割—免疫療法中心に集学的治療の確立に向けて	青木 雅也	呼吸器外科	1,170,000	補	日本学術振興会
肺癌悪性化進行過程を考慮したオートファジー細胞死の機構解明	永田 俊行	呼吸器外科	2,210,000	補	日本学術振興会
キダチアロエのストレス性胃潰瘍への効果	浅川 明弘	心身医療科	910,000	委	アロエ本舗株式会社
終末期の病態解明と新規治療法開発—骨髄-脳-筋相関と運動からのアプローチ	浅川 明弘	心身医療科	1,300,000	補	日本学術振興会
骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対するラジウム-223治療の多施設共同前向き観察研究(KYUCOG-1901)	中川 昌之	泌尿器科	110,000	委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌を対象とした多施設共同前向き観察研究	榎田 英樹	泌尿器科	207,900	委	一般社団法人日本泌尿器科学会
治療抵抗性腎細胞癌におけるエクソソームを起点とした耐性獲得機序の解明(継続)	榎田 英樹	泌尿器科	1,000,000	委	肝属郡医師会立病院
治療抵抗性腎細胞癌におけるエクソソームを起点とした耐性獲得機序の解明(継続)	榎田 英樹	泌尿器科	2,000,000	委	小林市立病院
多面的アプローチによる膀胱癌のプライマリーレジスタンスを予測するマーカーの開発	榎田 英樹	泌尿器科	300,000	委	垂水中央病院
セルソーティングを応用した尿中マイクロRNA検出による新規尿路上皮癌診断法の開発	榎田 英樹	泌尿器科	910,000	補	日本学術振興会
エクソソーム含有核酸の測定による尿路上皮癌の新規体液診断の開発	吉野 裕史	泌尿器科	1,560,000	補	日本学術振興会
エクソソーム解析による治療抵抗性腎癌の新規治療戦略と治療効果予測マーカーの開発	鑪野 秀一	泌尿器科	1,820,000	補	日本学術振興会
エクソソームによる治療抵抗性膀胱癌に対する新規治療戦略と治療効果予測法の開発	井口 智生	泌尿器科	1,950,000	補	日本学術振興会

小計 20件

進行性膀胱癌に対するRASを標的とした新規治療戦略の探索	松下 良介	泌尿器科	1,820,000	補	日本学術振興会
治療抵抗性腎癌に対するエクソソームを起点とした新規治療戦略の探索	坂口 大	泌尿器科	2,080,000	補	日本学術振興会
再生不良性貧血におけるウサギATG+シクロスポリン+エルトロンボパグ療法の有用性に関する検討(W-JHS AA02)	石塚 賢治	血液・膠原病内科	110,000	委	一般社団法人 九州臨床研究支援センター
中枢神経病変を有する成人T細胞白血病リンパ腫の臨床像の検討	石塚 賢治	血液・膠原病内科	300,000	委	垂水中央病院
成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対する個別化救済療法の検討	石塚 賢治	血液・膠原病内科	1,300,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)
血液がん患者試料におけるケモカイン受容体分子の発現解析および抗体依存性細胞障害活性の検証	石塚 賢治	血液・膠原病内科	8,800,000	委	塩野義製薬株式会社
電子カルテ情報活用室多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	300,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
高齢者に対するイメグリミンによる筋肉減少抑制効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	500,000	委	肝属郡医師会立病院
枕崎地区における糖尿病重症化予防に関する研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,100,000	委	枕崎市立病院
高齢糖尿病症例に対するイメグリミンによる効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	500,000	委	垂水中央病院
高齢糖尿病症例に対するイメグリミンによる効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,300,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)
トリプルネガティブ乳癌・転写調節領域解析に基づく抗癌剤耐性機構の解明	戸田 洋子	乳腺・甲状腺外科	1,300,000	補	日本学術振興会
有棘赤血球舞踏病に対するてんかん発作を生じる症状修飾因子の検討	崎元 仁志	神経科精神科	780,000	補	日本学術振興会
In vivoにおけるchoreinとオートファジーの関わり	佐々木 なつき	神経科精神科	1,300,000	補	日本学術振興会
単一遺伝子疾患からの精神疾患の分子病態追求—有棘赤血球舞踏病の分子病態と精神疾患	中村 雅之	神経科精神科	1,170,000	補	日本学術振興会
児童養護施設での養育が逆境的幼少期体験のある子どもの発達に与える影響	島田 尚子	神経科精神科	1,820,000	補	日本学術振興会
有棘赤血球舞踏病マウス精子と脳のミトコンドリアにおけるchoreinの機能解明	永田 青海	神経科精神科	3,120,000	補	日本学術振興会
先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施設症例登録研究	高橋 宜宏	小児科	15,000	委	国立大学法人 東京医科歯科大学
枕崎地区における小児予防接種率向上と小児医療体制充実に関する研究	岡本 康裕	小児科	1,100,000	委	枕崎市立病院
出水地区における小児疾患の予防策と保健業務の推進に関する研究	岡本 康裕	小児科	2,600,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)

小計 20件

若年性皮膚筋炎の全国前向きコホート研究	山崎 雄一	小児科	1,430,000	補	日本学術振興会
COX-2阻害薬によるリンパ管奇形に対する新しい治療法の開発	岡本 康裕	小児科	910,000	補	日本学術振興会
核小体ストレス応答を利用して抗癌剤耐性を解除する新たな小児白血病治療の開発	中川 俊輔	小児科	1,560,000	補	日本学術振興会
Ph+ALL細胞におけるSIRT1が誘導するABL1変異獲得の機序の解明	児玉 祐一	小児科	1,430,000	補	日本学術振興会
臍帯血分析による胆道閉鎖症の免疫学的病因解明と発生予防に向けた多施設共同研究	春松 敏夫	小児外科	792,000	委	公益財団法人 川野小児医学奨学財団
解放手術・内視鏡外科手術双方の外科医の技術評価可能な新生児・乳児の胸腹部を網羅的に包含する小児外科疾患型手術シュミレータの開発と検証	村上 雅一	小児外科	1,000,000	委	公益財団法人 大樹生命厚生財団
医学生に対する3Dホログラム提示による疾患解剖の理解を向上する支援システムの構築と評価	村上 雅一	小児外科	500,000	委	公益財団法人 医学教育振興財団
網羅的シュミレータ開発による内視鏡外科手術オンラインコーチングシステム確立と実証	家入 里志	小児外科	2,990,000	補	日本学術振興会
若年成人まで包含するLPECシュミレータ開発とテレシミュレーション教育の世界展開	村上 雅一	小児外科	1,170,000	補	日本学術振興会
短腸症とIFALDを同時に克服するアドレノメデュリン・ランデブー治療の可能性探索	矢野 圭輔	小児外科	1,430,000	補	日本学術振興会
内視鏡外科手術のモニターサイズの大型化・高精細化が鉗子操作に与える影響を検証する	山田 耕嗣	小児外科	1,300,000	補	日本学術振興会
術中ホログラム支援による腫瘍血管内型ナビによる小児固形腫瘍リゼクタビリティ評価	川野 孝文	小児外科	2,340,000	補	日本学術振興会
婦人科手術における周術期合併症の回避に向けた解剖学的バリエーションに関する検討	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)
婦人科癌手術の個別化医療に向けたセンチネルリンパ節微小転移リスクの解明と臨床応用	戸上 真一	産科、婦人科	1,430,000	補	日本学術振興会
病巣特異的抗がん剤産生バイオシステムを用いた難治性子宮頸がんへの挑戦	小林 裕明	産科、婦人科	1,690,000	補	日本学術振興会
がん終末期における予後予測マーカーの検索	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	500,000	委	肝属郡医師会立病院
がん患者終末期における予後予測分子マーカーの検索	篠原 直弘	整形外科・リウマチ外科	780,000	補	日本学術振興会
メラトニン欠乏に起因した側弯症の病態解明:原因候補遺伝子Tbx1との機能解析	河村 一郎	整形外科・リウマチ外科	910,000	補	日本学術振興会
HMGB1とHMGB2の骨リモデリングにおける機能解析~炎症加齢と骨粗鬆症~	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	1,560,000	補	日本学術振興会
新規サルコペニア関連マイオカインとオステオカインの検索	富永 博之	整形外科・リウマチ外科	1,040,000	補	日本学術振興会

小計 20件

HMGB1抑制による前十字靭帯再建術後拘縮予防の有効性の検討	中條 正英	整形外科・リウマチ外科	520,000	補	日本学術振興会
乾癬患者を対象とした予後、合併症、治療に関する観察研究	東 裕子	皮膚科	1,057,100	委	NPO法人西日本炎症性皮膚疾患研究会
バイオフィルムに対するシルク由来タンパク質(セリシン)の機能的な研究	金蔵 拓郎	皮膚科	520,000	委	株式会社アーダン
CD147/basiginを標的とした乾癬の新規治療の開発	金蔵 拓郎	皮膚科	1,040,000	補	日本学術振興会
低密度好中球(LDN)のmiRNAを治療標的とした好中球性皮膚症の病態解明	東 裕子	皮膚科	1,430,000	補	日本学術振興会
鹿児島県内(おもに肝属地区)の眼科疾患の研究	坂本 泰二	眼科	1,000,000	委	肝属郡医師会立病院
垂水地区における小中学生の眼疾患の疫学的調査	坂本 泰二	眼科	800,000	委	垂水中央病院
北薩地区における成人癌疾患の概要	坂本 泰二	眼科	1,300,000	委	出水市病院事業(出水総合医療センター)
コンタクトレンズの角膜に及ぼす影響	坂本 泰二	眼科	566,980	委	株式会社ジャムコン
眼球内細胞学の確立:基礎から臨床までのシームレスな研究	坂本 泰二	眼科	5,070,000	補	日本学術振興会
AMPKを介した抗酸化作用を有する新規機能性単糖による加齢黄斑変性の予防と治療	寺崎 寛人	眼科	910,000	補	日本学術振興会
後期高齢者頭頸部癌治療症例における高齢者機能評価	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	委	垂水中央病院
経眼投与による粘膜免疫応答の誘導	永野 広海	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補	日本学術振興会
喉頭気管粘膜の傷害抑制および再生治療に関する研究	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補	日本学術振興会
ヒトiPS細胞を用いた気管喉頭軟骨再生	吉松 誠芳	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補	日本学術振興会
血流動態画像解析と人工知能による肺癌術後血栓形成メカニズム解明と予測モデルの開発	内匠 浩二	放射線科	1,300,000	補	日本学術振興会
Dual energy CTの定量画像指標に基づく椎間板変性症診断法の開発	中條 正典	放射線科	1,040,000	補	日本学術振興会
細胞形態を可視化する先進的MRIによる脳腫瘍診断法の開発	吉浦 敬	放射線科	1,300,000	補	日本学術振興会
FDG-PET代謝速度定数画像による免疫チェックポイント阻害剤効果判定法の確立	中條 正豊	放射線科	1,430,000	補	日本学術振興会
画像流体力学解析による動脈塞栓術後側副血行路発達の予測法の開発	林 完勇	放射線科	1,300,000	補	日本学術振興会

小計 20件



インビボ神経イメージングによる敗血症関連脳症に關与する大脳神経回路同定と治療戦略	中原 真由美	麻酔科	910,000	補	日本学術振興会
薩摩川内市鹿島町における住民の口腔疾患の保健管理に関する研究	杉村 光隆	歯科麻酔科	1,000,000	委	薩摩川内市
聴覚を介した自律神経変動の管理による高血圧患者の安全な歯科治療環境の創造	山下 薫	歯科麻酔科	910,000	補	日本学術振興会
漢方薬がオーラルフレイルに与える影響の解明	四道 瑠美	歯科麻酔科	1,170,000	補	日本学術振興会
安心安全な歯科治療環境の提供 リナロール香気吸入による抗不安作用・鎮痛作用の検証	比嘉 憂理奈	歯科麻酔科	650,000	補	日本学術振興会
カンジダ菌による口腔粘膜炎発症における先天性免疫因子DMBT1の關与	於保 孝彦	口腔保健科	1,300,000	補	日本学術振興会
口腔常時菌による血流感染の発症機構に基づいた医科歯科連携による高度管理方法の構築	山口 泰平	口腔保健科	650,000	補	日本学術振興会
化学放射線療法時の口腔粘膜炎発生に関する機序の解明と新たな予防及び治療戦略	玉木 直文	口腔保健科	1,040,000	補	日本学術振興会
有事の医療現場にて日和見感染症抑止に絶大な効果を発揮するフローチャートの開発	藤島 慶	口腔保健科	1,690,000	補	日本学術振興会
心血管疾患における神経伝達物質サブスタンスPの口腔バイオフィルム制御機構の解明	長田 恵美	口腔保健科	1,040,000	補	日本学術振興会
マルチレベル分析による新たな周術期口腔機能管理を目指した口腔機能と起立動作の解明	廣島屋 貴俊	口腔保健科	2,990,000	補	日本学術振興会
口腔常在細菌叢メタゲノム解析によるオーダーメイドのう蝕予防法の開発	渡邊 温子	矯正歯科	390,000	補	日本学術振興会
顎顔面形態異常や不正咬合に關連する咀嚼筋痛障害が骨格筋力の低下に及ぼす影響の解明	中川 祥子	矯正歯科	520,000	補	日本学術振興会
食道知覚過敏が中枢性感作を介してブラキシズムと顎関節症關連疼痛に与える影響の解明	大賀 泰彦	矯正歯科	1,560,000	補	日本学術振興会
非侵襲的な耳介迷走神経刺激は唾液分泌の促進とGERDとブラキシズムの抑制に有効か	宮脇 正一	矯正歯科	2,600,000	補	日本学術振興会
胃食道逆流はなぜ咬筋活動を増加させるのか: ストレス物質に着目したメカニズムの解明	前田 綾	矯正歯科	1,300,000	補	日本学術振興会
歯の再生を目指したヒト乳歯歯髄幹細胞濃縮と機能解析	稲田 絵美	小児歯科	1,300,000	補	日本学術振興会
小児の口呼吸の病態分類と治療法の確立	村上 大輔	小児歯科	1,430,000	補	日本学術振興会
非接触型バイタルセンシング技術を活用したオンライン咀嚼嚥下機能検査システムの開発	橋口 真紀子	小児歯科	390,000	補	日本学術振興会
小児期の摂食嚥下と呼吸動態の定量的機能解析による相互発達メカニズムの探索	山本 祐士	小児歯科	1,300,000	補	日本学術振興会

小計 20件

寿命・老化制御機構と神経系障害を腸内細菌叢から探る	山座 治義	小児歯科	1,300,000	補	日本学術振興会
上気道流体シミュレーションによる顎矯正手術時の顎骨移動量に関する新規指標の検討	辻井 利弥	小児歯科	2,340,000	補	日本学術振興会
ミュータンスレンサ球菌表層タンパクの病原性解析に基づく齲蝕予防法の開発	勝俣 環	保存科	1,300,000	補	日本学術振興会
アクアポリンを制御するミトコンドリア移植法による新しい歯髄保存・再生療法の開発	高 裕子	保存科	650,000	補	日本学術振興会
炎症性歯髄におけるイオンチャンネルの役割	西谷 登美子	保存科	1,430,000	補	日本学術振興会
覆髄処置に対する白金ナノコロイドの新たな応用方法の検討	勝俣 愛一郎	保存科	1,040,000	補	日本学術振興会
抗菌分子とランタノイドの錯体形成を利用した新規抗菌性ジルコニアファイバーの開発	糸田川 美鴻	保存科	1,170,000	補	日本学術振興会
C-DFATと成長因子のコンビネーションによる歯周組織再生療法の樹立	篠原 敬哉	歯周病科	650,000	補	日本学術振興会
BMP-9による顎骨・歯周組織再生の効率化に向けた微小環境コントロールの基盤確立	中村 利明	歯周病科	910,000	補	日本学術振興会
BMP9とMTAを用いたバイオアクティブアプローチによる外科的歯内療法の基盤構築	川上 克子	歯周病科	1,170,000	補	日本学術振興会
LIPUSとBMP9を用いた糖尿病患者に対する歯周組織再生療法開発の基盤的研究	野口 和行	歯周病科	1,040,000	補	日本学術振興会
歯周病と妊娠高血圧症の関連とそのメカニズムの解明に関する包括的研究	長谷川 梢(中村 梢)	歯周病科	1,430,000	補	日本学術振興会
歯の整列と歯周組織再生の同時確立に挑むメカノバイオリジェネレーション法の基盤確立	白方 良典	歯周病科	1,430,000	補	日本学術振興会
PRFとLIPUSを用いた低侵襲で予知性の高い新規歯周組織再生療法の確立	今藤 隆智	歯周病科	2,080,000	補	日本学術振興会
歯周病がアルツハイマー病の進行に影響を及ぼすメカニズムの病理組織学的解析	園田 怜美	歯周病科	1,430,000	補	日本学術振興会
銀イオンを活用する安全な新規抗菌性PEEK冠の開発	西尾 文子	冠・ブリッジ科	2,470,000	補	日本学術振興会
移植後に確実に骨を形成する新規骨再生剤の開発	西村 正宏	義歯インプラント科	2,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
顎骨再生・増生中の組織で起きている現象の分子的解明	西村 正宏	義歯インプラント科	6,370,000	補	日本学術振興会
口腔保湿剤を用いた新規口腔カンジダ症の治療戦略	村上 格	義歯インプラント科	1,690,000	補	日本学術振興会
細胞内エネルギー代謝調節による顎骨骨髄間葉系幹細胞の分化制御機構の解明	石井 正和	義歯インプラント科	1,430,000	補	日本学術振興会

小計 20件

高齢ドナー顎骨由来MSCを用いたSASP抑制による高度顎堤吸収治療法の開発研究	原田 佳枝	義歯インプラント科	1,040,000	補	日本学術振興会
組織再生を目指した人工粘膜の開発と人工骨を併用した骨造成能の評価	益崎 与泰	義歯インプラント科	1,170,000	補	日本学術振興会
顎骨再生に向けた移植体の骨形成能を担保するための基礎的研究	末廣 史雄	義歯インプラント科	1,430,000	補	日本学術振興会
顎骨再生を目的とした顎骨骨髓由来間質細胞の骨形成能マーカーの探索とメカニズム分析	駒走 尚大	義歯インプラント科	2,340,000	補	日本学術振興会
口腔機能評価と健康指標のデータビジュアライズと口腔機能管理アウトカムの検討	西 恭宏	義歯インプラント科	1,300,000	補	日本学術振興会
口腔癌における新規バイオマーカー探索と特異遺伝子に対する新規核酸抗がん薬の開発	久米 健一	口腔外科	1,430,000	補	日本学術振興会
口腔細菌叢のオミクス解析による口腔癌発症機序の解明とリスク診断の構築	後藤 雄一	口腔外科	1,040,000	補	日本学術振興会
口腔癌骨破壊病変における知覚神経と癌細胞の相互作用メカニズムの解明	奥井 達雄	口腔外科	1,040,000	補	日本学術振興会
ナノポアシーケンスを用いた口腔細菌叢解析によるARONJリスク診断の構築	比地岡 浩志	口腔外科	2,860,000	補	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌早期診断マーカーとしてのmiRNAのナノポア計測の有用性	別府 真広	口腔外科	1,040,000	補	日本学術振興会
口腔・大腸マイクロバイオーームが導く大腸がん予測システムと予防法の開発	内野 祥徳	口腔外科	2,340,000	補	日本学術振興会
唇裂患者の顔貌評価を三次元から四次元へ進化させる分析方法の開発	大河内 孝子	口腔顎顔面外科	1,040,000	補	日本学術振興会
運動によるmyokineを介した口腔癌微小環境・免疫機能改善と癌細胞への直接作用	吉村 卓也	口腔顎顔面外科	1,040,000	補	日本学術振興会
種子島スタディー口腔から地域高齢者の健康寿命延伸を目指す官学連携縦断的機能評価一	鈴木 甫	口腔顎顔面外科	1,560,000	補	日本学術振興会
構音動態の客観的評価に基づく口蓋裂術後の異常構音獲得メカニズムの解明	手塚 征宏	口腔顎顔面外科	2,600,000	補	日本学術振興会
新規生体組織再生材料と骨関連シグナルを組み合わせた顎骨欠損の新たな治療戦略の構築	岐部 俊郎	口腔顎顔面外科	1,430,000	補	日本学術振興会
自己免疫性出血症診療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	橋口 照人	検査部	12,100,000	補	日本学術振興会
circRNA-miRNAによる大動脈弁狭窄症病態解明とバイオマーカー創出の挑戦	山口 宗一	検査部	5,980,000	補	日本学術振興会
腫瘍血管成熟に着目した膵癌の新たな個別化免疫治療の確立	田上 聖徳	検査部	1,690,000	補	日本学術振興会
食後高血糖から血管平滑筋細胞石灰化発症病態のmicroRNAによる解明	藤崎 知園子	検査部	1,170,000	補	日本学術振興会

小計 20件

乳癌のfield cancerization～クローン拡大から発症前リスク診断を目指して	新田 吉陽	手術部	1,430,000	補	日本学術振興会
Caチャンネル $\alpha 2 \delta$ リガンドのHO-1/グリア細胞を介した鎮痛機序の解明	五代 幸平	手術部	1,950,000	補	日本学術振興会
電子密度画像を用いた血栓マップの開発と血栓症の診断・治療効果予測法の確立	長野 広明	放射線部	650,000	補	日本学術振興会
定量肺血流SPECT/CTと機械学習による肺高血圧症診断法の開発	神宮司 メグミ	放射線部	1,300,000	補	日本学術振興会
高齢者の認知機能低下とBH4濃度変化に関する臨床研究	垣花 泰之	救命救急センター(救急科)	220,000	委	医療法人誠心会 前原総合医療病院
テトラヒドロピオプテリン・サブライにより新生児壊死性腸炎の中樞機能予後を取戻す	杉田 光太郎	救命救急センター(救急科)	1,170,000	補	日本学術振興会
HIV感染者等保険福祉相談事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	675,000	委	公益財団法人 エイズ予防財団
HIV診療医師情報網支援事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	179,000	委	国立病院機構九州医療センター
不妊専門相談支援推進研究	内田 那津子	周産母子センター	631,015	委	鹿児島県知事
宿主自然免疫応答制御を枢軸とした川崎病の新規治療戦略	上野 健太郎	周産母子センター	1,820,000	補	日本学術振興会
胎児新生児期の戦略的抗酸化・抗炎症治療は生後致死性消化管イベントを回避しうるか？	武藤 充	周産母子センター	1,430,000	補	日本学術振興会
腸内フローラは新生児壊死性腸炎における中樞発達改善の治療ターゲットか？	大西 峻	周産母子センター	1,690,000	補	日本学術振興会
エクソソーム中miRNAを起点とした治療抵抗性膀胱癌に対する新規治療戦略の探索	山田 保俊	血液浄化療法部	1,170,000	補	日本学術振興会
創薬サイエンス研究支援基盤の統合による創薬イノベーションの加速	谷本 昭英	病理部(病理診断科)	4,500,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
膵胆管系腫瘍の早期診断と治療の為にバイオマーカー探索	東 美智代	病理部(病理診断科)	1,430,000	補	日本学術振興会
PDGFRA遺伝子変異の抗がん剤感受性マップの作製	濱田 大治	病理部(病理診断科)	1,170,000	補	日本学術振興会
膠芽腫におけるEGFR意義不明変異の機能解析	霧島 茉莉	病理部(病理診断科)	1,430,000	補	日本学術振興会
再発危険因子を有するハイリスクStageII結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験	盛 真一郎	光学医療診療部	66,000	委	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
腫瘍免疫環境に着目した、膵癌に対する腫瘍溶解ウイルスの病態解析	橋元 慎一	光学医療診療部	1,170,000	補	日本学術振興会
摂食嚥下障害に対する神経筋電気刺激の安全性および効果の検討:介入前後比較試験	下堂 蘭 恵	リハビリテーション部	300,000	委	垂水中央病院

小計 20件

光操作法によるニューロリハビリテーションの治療効果と脳・神経可塑性の研究	下堂 蕙	リハビリテーション部	7,150,000	補	日本学術振興会
運動による肝臓と脳の臓器連関とそのメカニズムの解明	吉田 輝	リハビリテーション部	1,560,000	補	日本学術振興会
経頭蓋磁気刺激、末梢刺激、ロボットによる重度上肢麻痺の治療法と回復指標の開発	衛藤 誠二	リハビリテーション部	1,300,000	補	日本学術振興会
高次脳機能障害者に対する科学的根拠に基づいた就労支援プログラムの開発	北上 守俊	リハビリテーション部	650,000	補	日本学術振興会
止血異常を引き起こしたMLCK分子異常の原因解明に向けた網羅的機能解析	小浜 祐行	リハビリテーション部	1,690,000	補	日本学術振興会
歯学生の地域志向性を涵養する効果的な地域歯科医療教育法の開発	大戸 敬之	歯科総合診療部	1,040,000	補	日本学術振興会
経口糖尿病治療薬であるSGLT-2阻害薬がカンジダ・アルビカンズに及ぼす影響	作田 哲也	歯科総合診療部	1,560,000	補	日本学術振興会
令和5年度肝炎情報センター戦略的強化事業	馬渡 誠一	肝疾患相談センター	3,588,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
老年症候群の受容体連関とミトコンドリア質管理を軸とした機序解明及び治療法開発	佐々木 雄一	緩和ケアセンター	780,000	補	日本学術振興会
独自開発・革新性能の増殖制御型アデノウイルスの骨腫瘍(希少・難治性がん)承認への第Ⅱ相医師主導治験	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	95,095,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性癌まで制圧可能な第二世代「腫瘍溶解性ウイルス・免疫療法」の非臨床開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	12,899,999	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
糖尿病(1型含む)を安全・簡便(一回静脈注射)に制圧する革新的な遺伝子治療の開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	2,530,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
第4世代Surv.m-CRAの開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	2,000,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
HB-EGF(ヘパリン結合EGF様増殖因子)などに関する研究開発および実用化	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	3,900,000	委	サーブ・バイオフーマ株式会社
腫瘍溶解性ウイルスに関する研究開発および実用化	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	1,300,000	委	サーブ・バイオフーマ株式会社
浸潤・転移の骨軟部肉腫を治療可能な革新的な腫瘍溶解性ウイルス・免疫治療法の創出	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	6,500,000	補	日本学術振興会
免疫チェックポイントBispecific抗体遺伝子発現・腫瘍溶解性ウイルスの創出	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	8,450,000	補	日本学術振興会
逆転学習後の正しい解法への“気づき”に関わる脳内動態と神経機構	奥野 浩行	医療情報部	3,510,000	補	日本学術振興会
Arc依存的な永続的記憶および記憶に基づく行動選択の神経機構の解明	奥野 浩行	医療情報部	7,930,000	補	日本学術振興会
他施設との看護ケア比較および情報連携のための、看護実践情報の名寄せ技術の開発	岩穴口 孝	医療情報部	1,690,000	補	日本学術振興会

小計 20件

これまで見逃されてきたシナプス刺激後の“超”初期に終結する遺伝子発現変動	奥野 浩行	医療情報部	3,900,000	補	日本学術振興会
ペプチドホルモンステップアップ治療による短腸症における究極の腸管レジリエンス獲得	山田 和歌	総合臨床研修センター	1,430,000	補	日本学術振興会
胸膜リンパ流によるスキップ転移機序の解明:解剖・分子生物学から呼吸器外科へ	武田 亜矢	総合臨床研修センター	1,300,000	補	日本学術振興会
新興・再興感染症データバンク事業ナショナル・リポジトリ(REBIND)	川村 英樹	感染制御部	1,813,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
小児が保菌する大腸菌は成人菌血症の原因になるか? - 薬剤耐性と病原性の包括的解析 -	西 順一郎	感染制御部	1,560,000	補	日本学術振興会
地域医療支援センター設置事業業務委託	嶽崎 俊郎	地域医療支援センター	33,160,000	委	鹿児島県知事
新規細胞選別技術による腫瘍内dormant cellsの選別と機能解析	寺菌 英之	薬剤部	1,300,000	補	日本学術振興会
人工的腫瘍内微小環境における神経接着分子を介した神経と脳腫瘍細胞の相互作用	武田 泰生	薬剤部	1,300,000	補	日本学術振興会
地域における看護実践力向上のための連携型シミュレーション教育	田中 久美子	看護部	1,560,000	補	日本学術振興会
心肺蘇生時に生理活性物質を投与し血管内皮細胞を保護する新たな介入研究	畠中 公作	看護部	2,080,000	補	日本学術振興会
活性化凝固第X因子阻害薬内服患者のトロンビン阻害薬濃度偽陽性となるメカニズム解明	中村 政敏	臨床技術部	1,040,000	補	日本学術振興会
脳卒中急性期の上肢麻痺に対する電気・振動刺激を備えた新しいロボット訓練の効果検証	豊栄 峻	臨床技術部	130,000	補	日本学術振興会
					小計 12件
					合計 252件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Keisuke Shibata 1, Akihiro Tokushige 1 2, Yuki Hamamoto 1, et al.	心臓血管内科	A case of cardiac metastasis of neuroendocrine tumor with 2- year follow-up	J Cardiol Cases. 2023 Jun 1;28(3):91-94	Case report
2	Yuichi Akasaki 1, Mitsuru Ohishi 2	心臓血管内科	How should we manage hypertension and dyslipidemia to maintain cognitive function in older adults?	Hypertens Res. 2023 Aug;46(8):1880- 1882	Review
3	Takashi Sakoda 1, Yuichi Akasaki 2, Yuichi Sasaki 1, et al.	心臓血管内科	Triglyceride-glucose index predicts future chronic kidney disease development in all populations, including normotensive and isolated diastolic hypertension	Hypertens Res. 2024 Jan;47(1):149-156	Original Article
4	Daisuke Kanda 1, Takuro Takumi 2, Ryo Arikawa 2, et al.	心臓血管内科	Secondary rotational atherectomy is associated with reduced occurrence of prolonged ST-segment elevation following ablation	Intern Emerg Med. 2023 Oct;18(7):1995- 2002	Original Article
5	Daisuke Kanda 1, Takuro Takumi 2, Akihiro Tokushige 2, et al.	心臓血管内科	Different effects of medications for hypertension on renal function between patients with and without diabetes mellitus undergoing percutaneous coronary intervention: a retrospective single-center cohort study	BMC Cardiovasc Disord . 2023 Oct 14;23(1):509	Original Article
6	Daichi Fukumoto 1, Daisuke Kanda, Takuro Takumi, et al.	心臓血管内科	Living alone predicts poor prognosis among patients with acute myocardial infarction	Coron Artery Dis. 2023 Dec 1;34(8):580-588	Original Article

小計6件

7	Hirokazu Shimono 1, Akihiro Tokushige 2 3, Daisuke Kanda 4, et al.	心臓血管内科	Association of preoperative clinical frailty and clinical outcomes in elderly patients with stable coronary artery disease after percutaneous coronary intervention	Heart Vessels. 2023 Oct;38(10):1205-1217	Original Article
8	Hirokazu Shimono 1, Akihiro Tokushige 2, Daisuke Kanda 3, et al.	心臓血管内科	Association between the number of Academic Research Consortium for High Bleeding Risk (ARC-HBR) criteria and clinical outcomes in patients with acute coronary syndrome	J Cardiol. 2023 Jun;81(6):553-563	Original Article
9	Hirokazu Shimono 1 2, Akihiro Tokushige 3 4, Daisuke Kanda 2, et al.	心臓血管内科	Comparison of Discriminative Ability of Bleeding Risk Criteria and Scores for Predicting Short- and Mid-Term Major Bleeding Events in Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention	Circ Rep. 2023 Dec 15;6(1):4-15	Original Article
10	Daisuke Kanda 1, Mitsuru Ohishi 2	心臓血管内科	The effects of long-term changes in metabolic parameters on cardiac remodeling and dysfunction	Hypertens Res. 2024 Mar;47(3):816-818	Others
11	Hiroyuki Kamada 1, Kohei Ishibashi 2, Yuichiro Miyazaki 2, et al.	心臓血管内科	Fatal Arrhythmic Risks in Cardiac Sarcoidosis With Mildly Impaired Cardiac Function	JACC Asia. 2023 Sep 5;3(5):755-763	Original Article
12	Satoko Ojima 1, Takuro Kubozono 2, Shin Kawasoe 1, et al.	心臓血管内科	Clinical significance of atherosclerotic risk factors differs in early and advanced stages of plaque formation: A longitudinal study in the general population	Int J Cardiol. 2023 May 15;379:111-117	Original Article
13	Takuro Kubozono 1, Yuichi Akasaki 2, Shin Kawasoe 2, et al.	心臓血管内科	Relationship between defecation status and blood pressure level or blood pressure variability	Hypertens Res. 2024 Jan;47(1):128-136	Original Article

小計7件



14	Satoko Ojima 1, Mitsuru Ohishi 2	心臓血管内科	Effects of hot spring bathing on cardiac and vascular function	Hypertens Res. 2023 Jul;46(7):1705-1706	Others
15	Sunao Miyanaga 1, Kayoko Kubota 1, Noriko Iwatani 1, et al.	心臓血管内科	Pulmonary artery hypertension-associated with human immunodeficiency virus infection with attenuated effect of subcutaneous treprostinil injection during long-term observation: A case report	J Cardiol Cases. 2023 Jun 1;28(2):72-74	Case report
16	Hiroyuki Tabata 1, Akihiro Isotani 1, Shinichi Shirai 1, et al.	心臓血管内科	Three-dimensional transesophageal echocardiography-guided transseptal puncture for percutaneous mitral valve edge-to-edge repair post-percutaneous atrial septal defect closure	Clin Case Rep. 2023 Aug 11;11(8):e7794	Case report
17	Kei Enokizono 1, Tsukasa Kamakura 1, Akiyuki Kotoku 2, et al.	心臓血管内科	Very late-onset atrial lead perforation leading to pneumopericardium	J Cardiovasc Electrophysiol . 2023 Jun;34(6):1473-1476	Case report
18	Satoshi Yamaguchi 1, Kazunari Kitazono 1, Takuro Kamiyama 2, et al.	心臓血管内科	Hepatomesenteric Trunk Dissection Complicated with Acalculous Cholecystitis	Intern Med. 2023 Aug 1;62(15):2293-2294	Case report
19	Makoto Hinokuchi 1, Shinichi Hashimoto 1, Issei Kojima 1, et al.	消化器内科	Efficacy and safety of a novel anti-reflux metal stent during neoadjuvant chemotherapy for pancreatic cancer: A prospective multicenter exploratory study	J Hepatobiliary Pancreat Sci . 2023 Apr;30(4):532-541	Original Article
20	Kotaro Kumagai 1, Shuji Kanmura 1, Seiichi Mawatari 1, et al.	消化器内科	Glycoprotein non-metastatic melanoma protein B expression correlates with the prognosis of acute liver injury/failure	Front Cell Dev Biol . 2023 Oct 24;11:1242152	Original Article

小計7件

21	Fumisato Sasaki 1, Shohei Uehara 1, Hiroki Yano 1, et al.	消化器内科	A successful case of an endoscopic submucosal dissection using a combination of the pocket-creation method and traction with a spring-and-loop with clip for early gastric cancer with severe ulcer scarring	VideoGIE . 2023 Aug 18;8(10):404-409	Original Article
22	Fumisato Sasaki 1, Seiichi Mawatari 2, Kohei Oda 2, et al.	消化器内科	Usefulness of the aldehyde breath test for predicting metachronous recurrence in patients with esophageal squamous cell carcinoma and hypopharyngeal squamous cell carcinoma	Esophagus . 2023 Oct;20(4):749-756	Original Article
23	Hidehito Maeda MD, PhD 1, Fumisato Sasaki MD, PhD 1, Takahiro Sakae MD 1, et al.	消化器内科	A case of early gastric cancer with esophagogastric varices safely treated with endoscopic submucosal dissection after percutaneous transhepatic obliteration and partial splenic embolization	VIDEO GIE. 2024 Mar 21;9(7):312-316	Original Article
24	Hidehito Maeda 1, Fumisato Sasaki 1, Takayuki Ooi 1, et al.	消化器内科	Trends of Early Helicobacter pylori-Uninfected Gastric Cancer in an Aging Regional Area	J Clin Med . 2024 Mar 21;13(6):1827	Original Article
25	Ai Toyodome 1, Seiichi Mawatari 2, Ohki Taniyama 1, et al.	消化器内科	A case of acute liver failure due to aggressive natural killer-cell leukemia with a rapid course	Clin J Gastroenterol . 2023 Jun;16(3):416-421	Case report
26	Ai Toyodome 1, Tsutomu Tamai 1 2, Fumisato Sasaki 1, et al.	消化器内科	Successful Percutaneous Transhepatic Obliteration Plus Sengstaken-Blakemore Tube Combination Therapy for Recurrent Gastroesophageal Variceal Bleeding	Intern Med . 2023 Jun 15;62(12):1749-1755	Case report
27	Shinichi Hashimoto 1, Takuma Yamauchi 1, Takafumi Hamada 1, et al.	消化器内科	A double-guidewire technique for endoscopic ultrasonography-guided pancreatic drainage after pancreaticoduodenectomy	Endoscopy . 2023 Dec;55(S 01):E270-E271	Case report

小計7件

28	Hiroki Iwata 1 2, Hidehito Maeda 1 2, Kengo Tsuneyoshi 2, et al.	消化器内科	Pathologically diagnosed early-stage gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation after endoscopic submucosal dissection: A case report	DEN Open . 2023 Dec 11;4(1):e318	Case report
29	Kosuke Fukuda 1, Naohiko Seki 2, Ryutaro Yasudome 1, et al.	消化器外科	Coronin 1C, Regulated by Multiple microRNAs, Facilitates Cancer Cell Aggressiveness in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Genes (Basel). 2023 Apr 27;14(5):995	Original Article
30	Reiko Mitsueda 1, Hiroko Toda 1, Yoshiaki Shinden 1, et al.	消化器外科	Oncogenic Targets Regulated by Tumor-Suppressive miR-30c-1-3p and miR-30c-2-3p: TRIP13 Facilitates Cancer Cell Aggressiveness in Breast Cancer	Cancers (Basel). 2023 Aug 21;15(16):4189	Original Article
31	Takao Ohtsuka 1, Carlos Fernandez-Del Castillo 2, Toru Furukawa 3, et al.	消化器外科	International evidence-based Kyoto guidelines for the management of intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas	Pancreatology. 2024 Mar;24(2):255-270	Review
32	Masataka Shimonosono 1, Takaaki Arigami 2, Daisuke Matsushita 1, et al.	消化器外科	Evaluation of Quality of Life and Prognosis of Gastric Cancer Patients After Laparoscopic Subtotal Gastrectomy	Anticancer Res. 2024 Jan;44(1):387-396	Original Article
33	Ken Sasaki 1, Yusuke Tsuruda 2, Masataka Shimonosono 2, et al.	消化器外科	Comparison of the subtotal and narrow gastric conduit for cervical esophagogastrostomy after esophagectomy in esophageal cancer patients: a propensity score-matched analysis	Esophagus. 2024 Jan;21(1):41-50	Original Article
34	Yuki Hirase 1, Takaaki Arigami 2, Yota Kawasaki 1, et al.	消化器外科	Successful subtotal gastrectomy and hepatectomy for HER2-positive gastric cancer with liver metastasis after trastuzumab-based chemotherapy: a case report	Surg Case Rep. 2024 Mar 5;10(1):51	Case report

小計7件

35	Yota Kawasaki 1, Yoichi Yamasaki 2, Tetsuya Idichi 2, et al.	消化器外科	Usefulness of cranio-dorsal approach for laparoscopic left lateral sectionectomy	Updates Surg. 2023 Jun;75(4):889-895	Original Article
36	Takaaki Arigami 1, Daisuke Matsushita 2, Masataka Shimonosono 2, et al.	消化器外科	Clinical Significance of Recurrence Risk Score for Conversion Surgery in Patients With Advanced Gastric Cancer	Anticancer Res. 2023 Jul;43(7):3305- 3310	Original Article
37	Taiki Nakashima 1, Takaaki Arigami 2, Yoshikazu Uenosono 1, et al.	消化器外科	Clinical significance of intraperitoneal paclitaxel combined with systemic chemotherapy for gastric cancer with peritoneal metastasis	Int J Clin Oncol. 2023 Oct;28(10):1371- 1377	Original Article
38	Yoichi Yamasaki 1, Hiroshi Kurahara 1, Hideyuki Oi 1, et al.	消化器外科	Metal-free laparoscopic distal pancreatectomy using transpancreatic mattress suture with polyglycolic acid sheet and fibrin glue: A case report	Asian J Endosc Surg. 2023 Oct;16(4):770-773	Case report
39	Masahiro Ando 1, Yujiro Higuchi 1, Junhui Yuan 1, et al.	脳神経内科	Clinical variability associated with intronic FGF14 GAA repeat expansion in Japan	Ann Clin Transl Neurol. 2024 Jan;11(1):96-104	Original Article
40	Masahiro Ando 1, Yujiro Higuchi 1, Jun-Hui Yuan 1, et al.	脳神経内科	Clinical phenotypic diversity of NOTCH2NLC-related disease in the largest case series of inherited peripheral neuropathy in Japan	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2023 Aug;94(8):622-630	Original Article
41	Yujiro Higuchi 1, Masahiro Ando 1, Fumikazu Kojima 1, et al.	脳神経内科	Dystonia and Parkinsonism in COA7-related disorders: expanding the phenotypic spectrum	J Neurol. 2024 Jan;271(1):419-430	Original Article

小計7件

42	Eiji Matsuura 1, Satoshi Nozuma 1, Mika Dozono 1, et al.	脳神経内科	Iliopsoas Muscle Weakness as a Key Diagnostic Marker in HTLV-1-Associated Myelopathy/Tropical Spastic Paraparesis (HAM/TSP)	Pathogens. 2023 Apr 13;12(4):592	Original Article
43	Eiji Matsuura 1, Satoshi Nozuma 2, Ayano Shigehisa 2, et al.	脳神経内科	HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraplegia with sporadic late-onset nemaline myopathy: a case report	BMC Musculoskelet Disord. 2023 May 6;24(1):355	Original Article
44	Satoshi Nozuma 1, Eiji Matsuura 1, Masakazu Tanaka 2, et al.	脳神経内科	Identification and tracking of HTLV-1-infected T cell clones in virus-associated neurologic disease	JCI Insight. 2023 Apr 10;8(7):e167422	Original Article
45	Jun Takei 1, Yujiro Higuchi 1, Masahiro Ando 1, et al.	脳神経内科	Microbleed clustering in thalamus sign in CADASIL patients with NOTCH3 R75P mutation	Front Neurol. 2023 Aug 23;14:1241678	Original Article
46	Takashi Yoshida 1 2, Osamu Watanabe 1, Miwa Nomura 1, et al.	脳神経内科	Neuromyelitis optica spectrum disorder safely and successfully treated with satralizumab during pregnancy and breastfeeding: a case report	Front Neurol. 2023 Dec 15;14:1322412	Case report
47	Satoshi Nozuma 1, Akiko Yoshimura 1, Shun-Chung Pai 2, et al.	脳神経内科	Geographic characteristics of HTLV-1 molecular subgroups and genetic substitutions in East Asia: Insights from complete genome sequencing of HTLV-1 strains isolated in Taiwan and Japan	PLoS Negl Trop Dis. 2024 Feb 5;18(2):e0011928	Original Article
48	Takahiro Matsuyama 1, Kentaro Machida 1, Keiko Mizuno 1, et al.	呼吸器内科	The Functional Role of Group 2 Innate Lymphoid Cells in Asthma	Biomolecules. 2023 May 26;13(6):893	Original Article

小計7件

49	Kengo Tanigawa 1, Yuya Tomioka 1, Shunsuke Misono 1, et al.	呼吸器内科	Minichromosome maintenance proteins in lung adenocarcinoma: Clinical significance and therapeutic targets	FEBS Open Bio. 2023 Sep;13(9):1737-1755	Original Article
50	Yoko Hagihara 1, Takayuki Suetsugu 2, Hiroataka Uto 1, et al.	呼吸器内科	Detecting acquired V-Raf murine sarcoma viral oncogene homolog B1 V600E mutation associated with osimertinib resistance in epidermal growth factor receptor-mutant lung adenocarcinoma: A case report	Respir Investig. 2024 Jan;62(1):13-15. doi	Case report
51	Takahiro Matsuyama 1, Masashi Oniwa 1, Kentaro Tsuruzono 1, et al.	呼吸器内科	Improving visual acuity with nivolumab plus ipilimumab plus two cycles of chemotherapy following a diagnosis of lung adenocarcinoma with choroidal metastasis: A case report and literature review	Respirol Case Rep. 2023 Nov 30;12(1):e01262	Case report
52	Yoko Hagihara 1, Yuya Tomioka 1, Takayuki Suetsugu 1, et al.	呼吸器内科	Identification of Tumor-Suppressive miR-139-3p-Regulated Genes: TRIP13 as a Therapeutic Target in Lung Adenocarcinoma	Cancers (Basel). 2023 Nov 24;15(23):5571	Review
53	Masaya Aoki 1, Zhe-Wu Jin 2, Kazuhiro Ueda 1, et al.	呼吸器外科	Localization of macrophages and dendritic cells in human thoracic lymph nodes: An immunohistochemical study using surgically obtained specimens	J Anat. 2023 Sep;243(3):504-516	Original Article
54	Go Kamimura 1, Kazuhiro Ueda 1, Masaya Aoki 1, et al.	呼吸器外科	Computed tomography of an air-inflated resected lung is useful for verifying the intraoperative findings of complete resection in a reduction operation	Quant Imaging Med Surg . 2023 Jun 1;13(6):4029-4031	Letter
55	Go Kamimura, Kazuhiro Ueda, Aya Takeda, et al.	呼吸器外科	A case of a transient phrenic nerve paralysis after resection of a giant lymphangioma evaluated by dynamic digital radiography	General Thoracic and Cardiovascular Surgery Cases. 2023/06/14; (0): 1-5⑤オンライン	Case report

小計7件

56	Masaya Aoki 1, G O Kamimura 2, Shoichiro Morizono 2, et al.	呼吸器外科	Clinical Significance of Nodal DCsign Expression in Non- small-cell Lung Cancer Patients	Anticancer Res. 2023 Jul;43(7):3003- 3013	Original Article
57	Masaya Aoki 1, Ryo Miyata 1, Go Kamimura 1, et al.	呼吸器外科	Effect of Tegafur-Uracil in Resected Stage IB Lung Adenocarcinoma According to Presence or Absence of Epidermal Growth Factor Receptor Gene Mutation: A Retrospective Cohort Study	Ann Thorac Cardiovasc Surg . 2024 Jan 26;30(1):23-00134	Original Article
58	Ryo Miyata 1, Shoichiro Morizono 1, Tadashi Umehara 1, et al.	呼吸器外科	A case of attempted transbronchial spigot insertion for fistulous pyothorax in the residual pleural airspace after pleurectomy/decortication for malignant pleural mesothelioma	Respirol Case Rep. 2024 Jan 24;12(1):e01286	Case report
59	Hirofumi Yoshino 1, Seiya Yokoyama 2, Motoki Tamai 1, et al.	泌尿器科	Characterization and treatment of gemcitabine- and cisplatin- resistant bladder cancer cells with a pan-RAS inhibitor	FEBS Open Bio . 2023 Jun;13(6):1056- 1066	Original Article
60	Wataru Fukumoto 1, Hirofumi Yoshino 1, Shin- Ichi Horike 2, et al.	泌尿器科	Potential therapeutic target secretogranin II might cooperate with hypoxia-inducible factor 1 $\alpha$ in sunitinib-resistant renal cell carcinoma	Cancer Sci. 2023 Oct;114(10):3946- 3956	Original Article
61	Akihiko Mitsuke 1 2, Takahiko Ohbo 3, Junya Arima 1, et al.	泌尿器科	Low dose tacrolimus exposure and early steroid withdrawal with strict body weight control can improve post kidney transplant glucose tolerance in Japanese patients	PLoS One. 2023 Oct 11;18(10):e028705 9	Original Article
62	Yoshino H, Mitsuke A, Osako Y, et al.	泌尿器科	Successful Complete Resection and Recurrence-Free Outcome in Renal Cell Carcinoma with Vena Cava Tumor Thrombus: Neoadjuvant Immune Checkpoint Inhibitor (ICI)- Based Combination Therapies	Current Problems in Cancer: Case Reports. 11:100260, 2023.	Case report

小計7件

63	Kenji Ishitsuka 1	血液・膠原病内科	T cell lymphoma: time to make discoveries and advance treatment	Int J Hematol . 2023 Apr;117(4):473-474	Others
64	Koji Ichiki 1, Tadasuke Ooka 2, Tetsuhiro Shinkawa 1, et al.	血液・膠原病内科	Genomic and phylogenetic characterization of Elizabethkingia anophelis strains: The first two cases of life-threatening infection in Japan	J Infect Chemother . 2023 Apr;29(4):376-383	Original Article
65	Shigeru Kawade 1, Kazuma Ogiso 1, Sigfrid Casimir Shayo 1, et al.	糖尿病・内分泌内科	Luseogliflozin and caloric intake restriction increase superoxide dismutase 2 expression, promote antioxidative effects, and attenuate aortic endothelial dysfunction in diet-induced obese mice	J Diabetes Investig. 2023 Apr;14(4):548-559	Original Article
66	Hitoshi Sakimoto 1, Yuka Urata 1, Takanori Ishizuka 1, et al.	神経科精神科	Association of auditory Charles Bonnet syndrome with increased blood flow in the nondominant Brodmann area 22	PCN Rep. 2023 May 10;2(2):e92	Original Article
67	Kaoru Arai 1, Hitoshi Sakimoto 1, Yuka Urata 1, et al.	神経科精神科	Aging-Related Catatonia with Reversible Dopamine Transporter Dysfunction in Females with Depressive Symptoms: A Case Series	Am J Geriatr Psychiatry . 2023 Dec;31(12):1200-1205	Original Article
68	Kaoru Arai 1, Mari Nonaka 1, Shoko Shimada 1, et al.	神経科精神科	Vortioxetine as a potential alternative for patients with escitalopram-induced jitteriness/anxiety syndrome: A report of three cases	PCN Rep. 2023 Nov 16;2(4):e158	Case report
69	Jun Nagahama 1, Takuro Nishikawa 1, Tatsuro Nakamura 1, et al.	小児科	Severe $\beta$ -thalassemia (Hb Zuni) mimicking congenital dyserythropoietic anemia	Pediatr Blood Cancer. 2023 Dec;70(12):e30706	Letter

小計7件



70	Koji Nakae 1, Kentaro Ueno 1, Yasuhiro Okamoto 1	小児科	Association Between Airway Stenosis Degree and Respiratory Distress in Infants With a Vascular Ring	Cureus. 2023 Oct 14;15(10):e47022	Original Article
71	Koji Nakae 1, Kentaro Ueno 1, Junpei Kawamura 1, et al.	小児科	Neonatal complicated right ventricular diverticulum with effective contraction	Pediatr Int. 2023 Jan-Dec;65(1):e15519	Case report
72	Takuro Nishikawa # 1, Takahiro Tomoda # 2, Aki Nakamura 1, et al.	小児科	Case Report: The leopard sign as a potential characteristic of chronic granulomatous disease-associated colitis, unrelated to colitis severity	Front Immunol. 2023 Dec 13;14:1208590	Case report
73	Takuro Nishikawa 1	小児科	Human Leukocyte Antigen-Haploidentical Haematopoietic Stem Cell Transplantation Using Post-Transplant Cyclophosphamide for Paediatric Haematological Malignancies	Cancers (Basel). 2024 Jan 31;16(3):600	Review
74	Atsushi Sato 1, Yoshihiro Hatta 2, Chihaya Imai 3, et al.	小児科	Nelarabine, intensive L-asparaginase, and protracted intrathecal therapy for newly diagnosed T-cell acute lymphoblastic leukaemia in children and young adults (ALL-T11): a nationwide, multicenter, phase 2 trial including randomisation in the very high-	Lancet Haematol. 2023 Jun;10(6):e419-e432	Original Article
75	Keisuke Yano # 1, Koshiro Sugita # 1, Takafumi Kawano 1, et al.	小児外科	The clinical features of patients who underwent bladder augmentation of cloacal exstrophy and their functional outcomes: the results of a nationwide survey in Japan	Pediatr Surg Int. 2023 Jul 12;39(1):232	Original Article
76	Masakazu Murakami 1, Koji Yamada 1, Shun Onishi 1, et al.	小児外科	Proctoring System of Pediatric Laparoscopic Surgery for Choledochal Cyst	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2023 Nov;33(11):1109-1113	Original Article

小計7件

77	Koshiro Sugita # 1, Keisuke Yano # 1, Makoto Matsukubo 2, et al.	小児外科	Potential mechanisms underlying the effect of hepatocyte growth factor on liver injury in short bowel syndrome model rats	Pediatr Surg Int. 2023 Nov 24;40(1):8	Original Article
78	Masakazu Murakami 1, Shun Onishi 1, Koji Yamada 1, et al.	小児外科	How many cases do instructor class pediatric surgeons need to experience to be an independent operator in performing advanced endoscopic surgery? A nationwide survey to establish an ideal curriculum for pediatric endoscopic surgery in Japan	Pediatr Surg Int. 2023 Sep 9;39(1):271	Original Article
79	Toshio Harumatsu 1, Koshiro Sugita 1, Shun Onishi 1, et al.	小児外科	Posterior sagittal anorectovagino-plasty in the late period was associated with the long-term bowel function in patients with persistent cloaca: results of a nationwide survey in Japan	Pediatr Surg Int. 2023 Jul 29;39(1):244	Original Article
80	Mitsuru Muto 1, Masakazu Murakami 1, Ryuta Masuya 2, et al.	小児外科	Feasibility of Laparoscopic Fundoplication Without Removing the Preceding Gastrostomy in Severely Neurologically Impaired Patients: A Multicenter Evaluation of the Traction Technique	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2023 May;33(5):518-521	Original Article
81	Koshiro Sugita 1, Takafumi Kawano 1, Masakazu Murakami 1, et al.	小児外科	Feasible laparoscopic surgery for selected cases of primary adrenal neuroblastoma: Results from a comparison with open surgery at a single institution	Asian J Endosc Surg. 2023 Jul;16(3):473-481	Original Article
82	Shun Onishi 1, Takafumi Kawano 1, Nanako Nishida 1, et al.	小児外科	Case report: Minimal tissue damage and low coagulation liver resection for hepatoblastoma using indocyanine green fluorescence and water-jet dissector	Front Pediatr. 2023 Jul 6;11:1221596	Case report
83	Masakazu Murakami 1, Nanako Nishida 1, Ayaka Nagano 1, et al.	小児外科	Evaluation of skill acquisition characteristics depending on the size of a dry box	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2024 Feb 24:1-8	Original Article

小計7件

84	Shun Onishi 1, Koji Yamada 1, Masakazu Murakami 1, et al.	小児外科	Successful Laparoscopic Hepaticojejunostomy for Infant Congenital Biliary Dilatation with both Aberrant Right Hepatic Artery and Bile Duct from the Caudate Region	European J Pediatr Surg Rep . 2024 Feb 13;12(1):e38-e40	Case report
85	Shintaro Yanazume 1, Kaori Iwakiri 2, Yusuke Kobayashi 3, et al.	産科、婦人科	Cytopathological features associated with POLE mutation in endometrial cancer	Cytopathology . 2023 May;34(3):211-218	Original Article
86	Shinichi Togami 1, Mika Fukuda 1, Mika Mizuno 1, et al.	産科、婦人科	Efficacy and prognosis of robotic surgery with sentinel node navigation surgery in endometrial cancer	J Gynecol Oncol . 2023 Nov;34(6):e68	Original Article
87	Shinichi Togami 1, Akio Tokudome 1, Mika Fukuda 1, et al.	産科、婦人科	Validation of single-photon emission computed tomography with computed tomography and lymphoscintigraphy for sentinel lymph node identification in cervical cancer	Int J Gynaecol Obstet . 2023 Dec;163(3):813- 817	Original Article
88	Shinichi Togami 1, Takuro Higashi 1, Akio Tokudome 1, et al.	産科、婦人科	The first report of surgery for gynecological diseases using the hinotori™ surgical robot system	Jpn J Clin Oncol . 2023 Nov 5;53(11):1034- 1037	Original Article
89	Yuriko Higashi 1, Shinichi Togami 1, Sayori Nagai 1, et al.	産科、婦人科	Spontaneous ectopic pregnancy occurring in the distal fallopian tube cut off from the uterus after an incomplete prior operation to remove only the middle of the fallopian tube: A case report	Asian J Endosc Surg . 2023 Oct;16(4):766-769	Case report
90	Mitsuyoshi Kaieda 1 2, Yusuke Fujimoto 2, Yoshiya Arishima 1 2, et al.	整形外科・リウマチ外科	Impact of preoperative echocardiographic delay on timing of hip fracture surgery in elderly patients	SAGE Open Med . 2024 Jan 18:12:2050312123 1222345	Original Article

小計7件

91	Hiromi Sasaki 1 2 3 4 5 6 7, Tomoyo Nishiobino 1 2 3 4 5 6 7, Hiroyuki Tominaga 1 2 3 4 5 6 7, et al.	整形外科・リウマチ外科	Benefits of Collaboration Between the Wound, Ostomy, and Continence Nurse and Orthopedic Surgeon When Treating Skin Defects After Soft Tissue Sarcoma Resection: A Retrospective Case-Control Study	J Wound Ostomy Continence Nurs . 2024 Mar-Apr;51(2):107-110.	Original Article
92	Noboru Taniguchi 1	整形外科・リウマチ外科	Editorial Commentary: Bone Marrow Stimulation and Losartan Augmentation of Shoulder Rotator Cuff Repair	Arthroscopy . 2023 Dec;39(12):2420-2422	Others
93	Ichiro Kawamura 1, Hiroyuki Tominaga 1, Hiroto Tokumoto 1, et al.	整形外科・リウマチ外科	Correlation between Acetabular Anteversion with a False-Profile View and Spinopelvic Parameters in Adult Spinal Deformity after Long-Segment Corrective Spinal Surgery	Spine Surg Relat Res . 2024 Feb 14;8(3):330-337	Original Article
94	Masato Sanada 1, Hiroyuki Tominaga 1, Ichiro Kawamura 1, et al.	整形外科・リウマチ外科	Incidence and Risk Factors for Hyponatremia in Postoperative Spinal Surgery Patients	Spine Surg Relat Res . 2023 Dec 27;8(3):267-271	Original Article
95	Hiroyuki Tominaga 1, Hiroto Tokumoto 1, Shingo Maeda 2, et al.	整形外科・リウマチ外科	High prevalence of lumbar spinal stenosis in cases of idiopathic normal-pressure hydrocephalus affects improvements in gait disturbance after shunt operation	World Neurosurg X . 2023 Jun 21;20:100236	Original Article
96	Takuro Kanekura 1	皮膚科	CD147/Basigin Is Involved in the Development of Malignant Tumors and T-Cell-Mediated Immunological Disorders via Regulation of Glycolysis	Int J Mol Sci. 2023 Dec 11;24(24):17344	Review
97	Kazuyasu Fujii 1, Mari Kirishima 2, Makoto Yoshimitsu 3, et al.	皮膚科	Adult T-cell leukemia/lymphoma presenting with ulceration of the digits	J Dermatol. 2023 May;50(5):e168-e170	Case report

小計7件

98	Ai Yoshizaki 1, Kazuyasu Fujii 1, Takuro Kanekura 1	皮膚科	Neutrophilic sebaceous adenitis treated successfully with diaminodiphenyl sulfone	J Dermatol. 2023 Jul;50(7):e208- e209	Case report
99	Hisao Kawahira 1, Kazuyasu Fujii 1, Yuko Higashi 1, et al.	皮膚科	Double filtration plasmapheresis for bullous pemphigoid: Outcomes from the evaluation of eight patients	Ther Apher Dial. 2023 Dec;27(6):1048- 1050	Case report
100	Ryoh Funatsu 1, Shozo Sonoda 1, Hiroto Terasaki 1, et al.	眼科	Choroidal morphologic features in central serous chorioretinopathy using ultra- widefield optical coherence tomography	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2023 Apr;261(4):971- 979	Original Article
101	Ryoh Funatsu 1, Shozo Sonoda 1, Hiroto Terasaki 1, et al.	眼科	Vortex Veins in Eyes With Pachychoroid Spectrum Disorders Evaluated by the Adjusted Reverse 3-Dimensional Projection Model	Ophthalmol Sci . 2023 Apr 22;3(4):100320	Original Article
102	Hiroto Terasaki 1, Toshifumi Yamashita 2, Ryoh Funatsu 2, et al.	眼科	Effect of the macular shape on hole findings in idiopathic macular hole differs depending on the stage of the macular hole	Sci Rep . 2023 Sep 16;13(1):15367	Original Article
103	Ryoh Funatsu 1, Hiroto Terasaki 1, Shozo Sonoda 1, et al.	眼科	A Photodynamic Therapy Index for Central Serous Chorioretinopathy to Predict Visual Prognosis Using Pretreatment Factors	Am J Ophthalmol . 2023 Sep:253:86- 95	Original Article
104	Takehiro Yamashita 1, Ryo Asaoka 2 3 4 5, Hiroto Terasaki 1, et al.	眼科	Three-year changes in sex judgment using color fundus parameters in elementary school students	PLoS One . 2023 Nov 30;18(11):e029512 3	Original Article

小計7件

105	Ryoh Funatsu 1, Hiroto Terasaki 1, Shozo Sonoda 1, et al.	眼科	Characteristics Related to Visual Acuity Loss After Successful Photodynamic Therapy for Eyes With Central Serous Chorioretinopathy	Am J Ophthalmol . 2023 Dec;256:164-174	Original Article
106	Takato Sakono 1, Hiroto Terasaki 1, Takuro Kubozono 2, et al.	眼科	Colour tone of retinal arterioles imaged with a colour scanning laser ophthalmoscope can be an indicator of systemic arterial stiffness	BMJ Open Ophthalmol . 2023 Dec 6;8(1):e001456	Original Article
107	Taiji Sakamoto 1	眼科	Historical value and the future of Graefes	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2024 Jan;262(1):1-2.	Others
108	Ryoh Funatsu 1, Taiji Sakamoto	眼科	Reply	Retina . 2024 Mar 1;44(3):e26-e28	Letter
109	Hiromi Nagano 1, Hayato Matsumoto 1, Yumi Miyamoto 1, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Adult T-cell Leukemia/Lymphoma (ATL) in the Nasal and Paranasal Cavity: Four Cases Report	Indian J Otolaryngol Head Neck Surg. 2024 Feb;76(1):1264- 1271	Original Article
110	Masatoyo Nakajo 1, Yoshihisa Horizoe 2, Kodai Kawaji 3, et al.	放射線科	Application of 123I-MIBG myocardial maximum standardized uptake value to characterize cardiac function in patients with pheochromocytoma: comparison with echocardiography	Jpn J Radiol. 2023 Apr;41(4):437-448	Original Article
111	Masatoyo Nakajo 1, Kodai Kawaji 2, Hiromi Nagano 3, et al.	放射線科	The Usefulness of Machine Learning-Based Evaluation of Clinical and Pretreatment [18F]-FDG-PET/CT Radiomic Features for Predicting Prognosis in Hypopharyngeal Cancer	Mol Imaging Biol. 2023 Apr;25(2):303-313	Original Article

小計7件

112	Koji Takumi 1, Hiroaki Nagano 2, Akie Mukai 2, et al.	放射線科	Cine MR feature tracking analysis for diagnosing thymic epithelial tumors: a feasibility study	Cancer Imaging. 2023 May 1;23(1):42	Original Article
113	Koji Takumi 1, Hiroaki Nagano 2, Arata Oose 2, et al.	放射線科	Extracellular volume fraction derived from equilibrium contrast-enhanced CT as a diagnostic parameter in anterior mediastinal tumors	Eur J Radiol. 2023 Aug;165:110891	Original Article
114	Masatoyo Nakajo 1, Hiromi Nagano 2, Megumi Jinguji 1, et al.	放射線科	The usefulness of machine- learning-based evaluation of clinical and pretreatment 18F- FDG-PET/CT radiomic features for predicting prognosis in patients with laryngeal cancer	Br J Radiol. 2023 Sep;96(1149):2022 0772	Original Article
115	Takashi Yoshiura 1, Shigeru Kiryu 2	放射線科	FAIR: a recipe for ensuring fairness in healthcare artificial intelligence	Jpn J Radiol. 2024 Jan;42(1):1-2	Original Article
116	Masatoyo Nakajo 1, Megumi Jinguji 2, Soichiro Ito 2, et al.	放射線科	Clinical application of 18F- fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography radiomics-based machine learning analyses in the field of oncology	Jpn J Radiol. 2024 Jan;42(1):28-55	Original Article
117	Yusuke Kawashima 1, Masaaki Miyakoshi 2, Yoshihiro Kawabata 2, et al.	顎顔面放射線科	Efficacy of texture analysis of ultrasonographic images in the differentiation of metastatic and non-metastatic cervical lymph nodes in patients with squamous cell carcinoma of the tongue	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol . 2023 Aug;136(2):247- 254	Original Article
118	Yusuke Kawashima, Akifumi Fujita, Karen Buch, et al.	顎顔面放射線科	Using Texture Analysis of Neck Computed Tomography Images to Differentiate Primary Hyperparathyroidism From Normal Controls	J Comput Assist Tomogr . 2024 Jan- Feb;48(1):137-142	Original Article

小計7件

119	Richard Cornette 1, Hiroko P Indo 2, Ken-Ichi Iwata 3, et al.	顎顔面放射線科	Oxidative stress is an essential factor for the induction of anhydrobiosis in the desiccation-tolerant midge, <i>Polypedilum vanderplanki</i> (Diptera, Chironomidae)	Mitochondrion . 2023 Nov;73:84-94	Original Article
120	Yoshihiro Kawabata 1, Tomoko Fukushima 2, Hiroko P Indo 1 3, et al.	顎顔面放射線科	Hair Follicle Damage after 100 mGy Low-Dose Fractionated X-Ray Irradiation and the Protective Effects of TEMPOL, a Stable Nitroxide Radical, against Radiation	Radiat Res . 2024 Feb 1;201(2):115-125	Original Article
121	Shintaro Hagihara 1 2, Yoichiro Abe 3, Kohei Godai 4, et al.	麻醉科	Successful neurolytic thoracic sympathetic ganglion block using C-arm fluoroscopic cone-beam computed tomography in patients with postmastectomy pain syndrome: a report of 3 cases	JA Clin Rep. 2023 Aug 2;9(1):48	Case report
122	Masanori Tsukamoto 1, Maho Goto 2, Takashi Hitosugi 2, et al.	歯科麻醉科	The difference in rotation angle of the distal endotracheal tube through nasal approach	BMC Anesthesiol. 2023 Aug 11;23(1):272.	Original Article
123	Masanori Tsukamoto 1, Maho Goto 2, Takashi Hitosugi 3, et al.	歯科麻醉科	Comparison of the tidal volume by the recruitment maneuver combined with positive end-expiratory pressure for mechanically ventilated children	Sci Rep. 2023 Oct 31;13(1):18690	Original Article
124	Kazuo Tomita 1 2, Yukiko Oohara 1 3, Kento Igarashi 1 2, et al.	歯科麻醉科	Kamishoyosan and Kamikihito protect against decreased KCC2 expression induced by the <i>P. gingivalis</i> lipopolysaccharide treatment in PC-12 cells and improve behavioral abnormalities in male mice	Heliyon. 2023 Nov 25;9(12):e22784	Original Article
125	Masanori Tsukamoto 1, Maho Goto 2, Michi Eto 2, et al.	歯科麻醉科	Gum elastic bougie as a tube exchanger for the nasotracheal tube	Saudi J Anaesth. 2024 Jan-Mar;18(1):142-143	Letter

小計7件



126	Takatoshi Hiroshimaya 1, Yusuke Fujimoto 2, Hiromi Sasaki 2, et al.	口腔保健科	Association between periodontal disease and malignant soft tissue sarcomas	Oral Dis. 2024 Jan 8	Original Article
127	Yukitaka Hoshino 1, Shota Kataoka 1, Toshihiro Ansai 2	口腔保健科	Association of personality traits with dental visit procrastination by Japanese university students	Biopsychosoc Med. 2023 Sep 28;17(1):33	Original Article
128	Yasuhiko Oga, Yoshinori Shirakata, Hiroshi Tomonari, et al.	矯正歯科	Lateral incisor transposition, prosthetic treatment, and periodontal surgery in a patient with missing maxillary central incisor and severe crowding: an interdisciplinary treatment strategy	Clinical and Investigative Orthodontics. 2023 May; 82(4):222-233	Case report
129	Junya Kusumoto # 1, Koji Ataka # 2 3, Haruki Iwai # 4, et al.	矯正歯科	Malocclusion impairs cognitive behavior via AgRP signaling in adolescent mice	Front Neurosci. 2023 Apr 24;17:1156523	Original Article
130	Aya Maeda-Iino 1, Yuki Osako 2, Shoko Nakagawa 1, et al.	矯正歯科	Relationship between masseter muscle activity during wakefulness and temporomandibular disorder-related symptoms	J Oral Rehabil. 2024 Mar;51(3):455-468	Original Article
131	Emi Inada 1, Yasutaka Kaihara 2, Yukiko Nogami 3, et al.	小児歯科	Lip and facial training improves lip-closing strength and facial morphology	Arch Oral Biol. 2023 Oct;154:105761	Original Article
132	R Sonoda 1 2, E Kuramoto 2, S Minami 1 2, et al.	歯周病科	Reduced Autophagy in Aged Trigeminal Neurons Causes Amyloid $\beta$ Diffusion	J Dent Res. 2023 Jul;102(8):938-946	Original Article

小計7件

133	Fumiaki Setoguchi 1, Kotaro Sena 1 2, Kazuyuki Noguchi 1	歯周病科	Low-Intensity Pulsed Ultrasound Promotes BMP9 Induced Osteoblastic Differentiation in Rat Dedifferentiated Fat Cells	Int J Stem Cells. 2023 Nov 30;16(4):406-414	Original Article
134	Nao Ikeda 1, Masakazu Ishii 2, Haruka Miyata 1, et al.	義歯インプラント科	Role of reactive oxygen species (ROS) in the regulation of adipogenic differentiation of human maxillary/mandibular bone marrow-derived mesenchymal stem cells	Mol Biol Rep . 2023 Jul;50(7):5733-5745	Original Article
135	Kae Harada 1, Reiya Horinouchi 1, Mamoru Murakami 2, et al.	義歯インプラント科	An in vitro study on the selection of surfactants for removal of cream denture adhesives from dentures and their application to denture cleaners	J Prosthodont Res . 2023 Apr 12;67(2):262-270	Original Article
136	Yuichi Goto 1, Hiroshi Hijioka 1, Yoshinori Uchino 1, et al.	口腔外科	Numb Chin Syndrome as the Initial Presentation of Mandibular Metastasis of Colorectal Cancer: A Case Report	Cureus . 2024 Mar 14;16(3):e56133	Case report
137	Takuya Yoshimura 1, Yuka Hirano 1, Taiji Hamada 2, et al.	口腔顎顔面外科	Exercise Suppresses Head and Neck Squamous Cell Carcinoma Growth via Oncostatin M	Cancers (Basel) . 2024 Mar 18;16(6):1187	Original Article
138	Toshiro Kibe 1, Kenta Nakazono 1, Kaoru Yamashita 2, et al.	口腔顎顔面外科	Evaluation of Eruption of Permanent Teeth in Beagle Dog Extraction Sites Filled with Carbonate Apatite	Materials (Basel) . 2023 Dec 13;16(24):7624	Original Article
139	Munekazu Yamakuchi 1, Masashi Okawa 2, Kazunori Takenouchi 1, et al.	検査部	VEGF-A165 is the predominant VEGF-A isoform in platelets, while VEGF-A121 is abundant in serum and plasma from healthy individuals	PLoS One. 2023 Apr 7;18(4):e0284131	Original Article

小計7件

140	Kenshin Shimono 1, Takashi Ito 2, Chinatsu Kamikokuryo 1, et al.	集中治療部	Damage-associated molecular patterns and fibrinolysis perturbation are associated with lethal outcomes in traumatic injury	Thromb J. 2023 Sep 6;21(1):91	Original Article
141	Miku Kamimura 1, Takuro Nishikawa 1, Yoshihiro Takahashi 1, et al.	周産母子センター	Anthracyclines for acute promyelocytic leukemia in a female with congenital long QT syndrome	Pediatr Blood Cancer. 2023 Aug;70(8):e30323	Letter
142	Kentaro Ueno 1, Tsubasa Shimozono 2, Yoshihiro Takahashi 2, et al.	周産母子センター	Association of albuminuria with kidney function and hemodynamic disturbance in pre-school children who undergo congenital heart disease surgery	Pediatr Nephrol. 2024 Feb;39(2):493-503	Original Article
143	Michiyo Higashi 1	病理部 (病理診断科)	Supported Immunohistochemical Staining of Mucins	Methods Mol Biol . 2024 Feb;2763:101-109 (オンライン)	Review
144	Mari Kirishima 1, Toshiaki Akahane 2, Tomoko Takajo 3, et al.	病理部 (病理診断科)	A case of glioblastoma harboring non-amplified epidermal growth factor receptor variant III: Critical molecular detection using RNA-based panel analysis	Pathol Res Pract . 2023 Aug;248:154712	Case report
145	Ikumi Kitazono 1, Toshiaki Akahane 2 3, Seiya Yokoyama 3, et al.	病理部 (病理診断科)	Cervical Cytology Preserves Histologically Detected Surface Epithelial Slackening, Unique to the POLE Mutation-subtype in Endometrial Cancer	In Vivo . 2024 Jan-Feb;38(1):321-333	Case report
146	Takashi Tasaki 1, Eisuke Shiba 2, Hirotsugu Noguchi 1, et al.	病理部 (病理診断科)	Low-grade Fibromyxoid Sarcoma With Massive Degeneration: A Case of Unusual Gross and Histological Features	In Vivo . 2023 Nov-Dec;37(6):2863-2868	Case report

小計7件

147	Ikumi Kitazono 1, Toshiaki Akahane 2, Seiya Yokoyama 3, et al.	病理部 (病理診断科)	"Surface epithelial slackening" pattern in endometrioid carcinoma: A morphological feature for differentiating the POLE mutation-subtype from the no specific molecular profile subtype	Pathol Res Pract . 2023 Jul;247:154563	Case report
148	Kazuki Matsumoto 1, Mari Nonaka 2, Kaoru Arai 2, et al.	臨床心理室	Cognitive behavioral therapy for a Japanese woman with olfactory reference disorder (ORD) comorbid with schizophrenia: A case study	PCN Rep. 2024 Mar 8;3(1):e179	Case report
149	Takayuki Oto 1, Yuko Matsumoto 1, Yoichiro Iwashita 2, et al.	歯科総合診療部	A Qualitative Study on the Development of Professionalism Among Japanese Dental Students	Cureus. 2024 Jan 6;16(1):e51762	Original Article
150	Toshiaki Akahane 1 2, Tomomi Isochi-Yamaguchi 3, Natumi Hashiba-Ohnuki 3, et al.	ヒトゲノム遺伝子解析セン ター	Cancer gene analysis of liquid- based cytology specimens using next-generation sequencing: A technical report of bimodal DNA- and RNA-based panel application	Diagn Cytopathol . 2023 Aug;51(8):493-500	Original Article
151	Takashi Iwaanakuchi 1, Takuma Yoshida 2, Yukari Fukuda 3, et al.	医療情報部	Impact of cognitive decline on medical outcomes and nursing workload: A retrospective cohort study	PLoS One. 2023 Nov 22;18(11):e029375 5	Original Article
152	Yoshihiro Takahashi 1, Kentaro Ueno 1, Koji Nakae 1, et al.	感染症専門医養成講座	Preoperative and Intraoperative Risk Factors for Surgical Site Infection in Pediatric Cardiac Surgery	Pediatr Infect Dis J . 2023 Nov 1;42(11):949-953	Original Article
153	Hideki Kawamura 1, Shoko Arimura 2, Ryuichi Saida 2, et al.	感染制御部	Enhanced measures, including PCR-based screening and syndromic surveillance for nosocomial outbreaks of the COVID-19 Omicron variant, using descriptive epidemiology and whole-genome sequencing in a Japanese tertiary care hospital	J Infect Chemother. 2024 Feb;30(2):104-110	Original Article

小計7件

154	Takashi Hoesi 1, Kazumi Kawahira 2, Megumi Shimodozono 2, et al.	医療技術部	Repetitive facilitative exercise under continuous electrical stimulation for recovery of pure motor isolated hand palsy after infarction of the "hand knob" area: A case report	Physiother Theory Pract . 2023 Jul 3;39(7):1545-1552	Case report
~					

小計1件  
計154件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	樋之口真、井戸章雄	消化器内科	画像診断の進歩:EUS	臨床画像. 39巻7号 Page766-774(2023.07)	Review
2	馬渡誠一、井戸章雄	消化器内科	各種病態における輸液管理 肝不全	臨床と研究. 100(7): 29-33(2023.07)	Review
3	松下大輔、有上貴明、下之菌将貴、他	消化器外科	腹腔鏡下噴門側胃切除術における食道残胃吻合トラブルを腹腔鏡下に修復した1例.	手術 77(11):1673-1676, 2023. 10	Case report
4	有上貴明、松下大輔、大久保啓史、他	消化器外科	胃癌のリンパ行性転移における免疫チェックポイント分子の役割.	リンパ学; 46(1): 17-20, 2023.6	Original Article

小計4件

5	榎田 英樹	泌尿器科	腎盂・尿管がんvs膀胱がん治療戦略を徹底対比！（第2部）薬物療法 転移性UC治療のup to date	尿路悪性腫瘍研究会記録,48:29-34,2023.4	Letter
6	鑑野 秀一、榎田 英樹	泌尿器科	尿路上皮癌;Next 10 Years 転移性尿路上皮癌の薬物療法 Next 10 years	西日本泌尿器科, 85:306-310,2023.6	Others
7	榎田 英樹、鑑野 秀一、吉野 裕史	泌尿器科	【臨床前立腺癌学-基礎・臨床の最新知見-】治療 薬物療法 新規薬物療法 ドセタキセル	日本臨床, 81 増刊 6 臨床前立腺癌学:411-415,2023.6	Letter
8	山田 保俊、見附 明彦、榎田 英樹	泌尿器科	腎移植関連 7.移植後リンパ球増殖症 (PTLD)	腎と透析, 95増刊,604-609,2023.12	Review
9	有馬 直佑、藤崎 真由、中別府 聖一郎、他	血液・膠原病内科	抗レトロウイルス療法による免疫再構築により消失したHIV関連EBV陽性粘膜皮膚潰(原著論文)	臨床血液 65巻1号 Page13-17(2024.01)	Case report
10	石塚賢治	血液・膠原病内科	リンパ系腫瘍の治療における最近の進歩 リンパ腫治療におけるEZH阻害薬	臨床血液 64巻7号 Page665-669(2023.07)	Review
11	吉満誠	血液・膠原病内科	成人T細胞白血病・リンパ腫up-to-date	臨床血液 2023年 64巻9号 p. 1032-1040(2023.10)	Review

小計7件

12	吉満誠	血液・膠原病内科	成人T細胞白血病・リンパ腫の病態理解と治療の進歩	臨床血液 2023年 64巻6号 p. 497- 503(2023.07)	Review
13	上村佳代、飯田昌子、平田祐太郎、他	神経科精神科	公認心理師科目「心理実習」受講学部生の医療領域実習における学び体験の質的検討	鹿児島大学医学雑誌、75:1-11、 2023.04	Original Article
14	下村育史、中江広治、精松貴成、他	小児科	早期診断と治療が奏効した梨状窩瘻の新生児例.	日本小児科学会雑誌 2023.07;127(7):954- 959	Case report
15	家入里志、 Laurent Fourcade、村上雅一、他	小児外科	【知っておきたい周産期・新生児医療up to date】出生後 新生児領域における内視鏡・ロボット手術の展望	小児内 科、2023.11、55 (11):1784-1789	Review
16	家入里志、横手幸太郎、馬場秀夫	小児外科	【医師の働き方改革-2024年働き方改革元年に向けた取り組み】2024年、医師の働き方改革元年に向けた取り組み	カレントセラ ピー、2023.12、 41(12): 1106-1112	Review
17	家入里志	小児外科	遠隔医療における内視鏡外科手術指導とロボット手術の可能性	日本周産期・新生児医学会雑誌、2023.04、 58(4):647-650	Review
18	家入里志、山田耕嗣、大西峻、他	小児外科	【ロボット支援手術】小児外科領域における次世代手術支援ロボット開発 Soft Roboticsの可能性	小児外科、2023.05、 55(5):525-531	Review

小計7件

19	杉田 光士郎、岩元 祐実子、緒方 将人、他	小児外科	【検査・処置・手術の合併症:予防と対策】手術・治療 胆道拡張症	小児外科,2023.11,55(11):1228-1233	Review
20	川野 孝文、杉田 光士郎、高田 倫、他	小児外科	【希少固形がんの診断と治療】大腸がん	小児外科,2023.8,55(8):887-893	Review
21	大西 峻、連 利博、武藤 充、他	小児外科	【喉頭・気管病変 治療の工夫と予後】声門下嚢胞の治療戦略	小児外科,2023.10,55(10):1055-1059	Review
22	武藤 充、大西 峻、矢野 圭輔、他	小児外科	【今日の小児肝移植】非移植施設からみた肝移植の課題について 肝小腸異時移植症例の管理経験から	小児外科,2023.06,55(6):684-688	Review
23	小林裕明	産科、婦人科	ロボット支援子宮全摘術	産婦人科の実際72巻12号(2023.11)	Others
24	内田 那津子、沖利通、樋渡 小百合、他	産科、婦人科	胎盤ポリープに周期的エストロゲン・プロゲステロン配合薬投与が有効だった不妊症例	日本生殖医学会雑誌(1881-0098)68巻1-2号 Page103-104(2023.04)	Case report
25	新原 有一朗、濱田 朋紀、小林 裕明、他	産科、婦人科	血圧管理に難渋し子宮内胎児死亡した先端巨大症合併妊娠の1例	日本内分泌学会雑誌(0029-0661)99巻2号 Page590(2023.10)	Case report

小計7件



26	小林裕明	産科、婦人科	【婦人科悪性腫瘍手術-トラブルシューティングとその予防法-】ロボット支援子宮全摘術	産婦人科の実際 (0558-4728)72巻12号 Page1227-1234(2023.11)	Others
27	沖利通、内田那津子、酒瀬川啄、他	保健学科	降圧剤が奏効したと考えられた不妊症例	日本生殖医学会雑誌(1881-0098)68巻1-2号 Page103(2023.04)	Case report
28	有馬大智、井内智洋、藤元祐介	整形外科・リウマチ外科	3Dモデルで評価したセメントレスステム周囲骨密度の変化	Hip Joint 49(2):692-695, 2023 08	Original Article
29	谷口昇	整形外科・リウマチ外科	クロマチン蛋白HMGBと関節疾患	日本整形外科学会雑誌 97(11) 1018 - 1028 2023年11月	Review
30	海江田英泰、上釜浩平、前迫真吾、他	整形外科・リウマチ外科	Cuff tear arthropathyに対するリバーズ型人工肩関節置換術	整形外科 74(6) 561 - 568 2023年5月	Others
31	金蔵拓郎	皮膚科	神崎病	ライソゾーム病—最新の病態, 診断, 治療の進歩— 改訂第2版診断 2023 Oct; 250-251	Review
32	金蔵拓郎	皮膚科	顆粒球単球吸着除去療法	日本臨床 2023 Dec. 1922-1928	Review

小計7件

33	松岡温子、東裕子、馬場直子、他	皮膚科	【環状肉芽腫とその類症】annular elastolytic giant cell granuloma	皮膚病診療2023 Jun; 45: 514-517	Review
34	中澤 祐則	眼科	COVID-19・COVID-19ワクチンと視神経炎	眼科(2023.04)65巻4号Page367-370	Review
35	寺崎 寛人	眼科	Clinical Challenge 強膜バククルが露出し複視を生じている症例	臨床眼科(2023.08)77巻8号Page950-954	Review
36	三宅 ゆりな、寺崎 寛人、迫口 智紀、他	眼科	急性後部多発性斑状色素上皮症の治療中に脈絡膜構造変化の経過を追えた1症例	臨床眼科(2023.10)77巻10号Page1329-1335	Case report
37	寺崎 寛人、椎原 秀樹、船津 諒、他	眼科	Pachychoroid neovascularopathyに対する光線力学的療法単独療法と抗血管内皮増殖因子薬治療の治療成績	日本眼科学会雑誌(2023.12)127巻12号Page1119-1126	Original Article
38	寺崎 寛人	眼科	【令和の眼科クルズス】網膜硝子体・ぶどう膜 網膜OCT読影の基本ー黄斑疾患の鑑別を中心に	あたらしい眼科(2023.12)40巻(臨増)Page284-288	Review
39	吉永 就正	眼科	【先端医療を先取りしようー日本にはない海外の医療】へビーシリコンオイル	臨床眼科(2024.02)78巻2号Page207-211	Review

小計7件

40	寺崎 寛人、坂本 泰二	眼科	【新しい時代を迎えた糖尿病の診療】合併症の診断と治療 網膜症	臨床と研究 (2024.02)101巻2号 Page183-188	Review
41	坂本 泰二	眼科	【眼科手術の安全性に寄与するアイデア-網膜硝子体手術編-】わかりやすい臨床講座 トリアムシロンによる硝子体可視化法開発の経験とその考察	日本の眼科 (2024.02)95巻2号 Page164-168	Review
42	喜山敏志、川島雅樹、松崎尚寛、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	側頭下窩膿瘍から硬膜下膿瘍をきたした1例	耳鼻咽喉科臨床. 2023.July; 116:677-683	Original Article
43	田中達朗	顎顔面放射線科	三叉神経痛の診断・治療におけるMRIの有用性と限界	J South Kyushu Dent Soc, 4(1): 1-7, 2022 (2024年2月16日発汗)	Review
44	比嘉 憂理奈、大野 幸、新納 彩子、他	歯科麻酔科	異常絞扼反射のある患者にヒドロキシジン塩酸塩を併用して管理を行った鎮静症例, 日本歯科麻酔学会雑誌	日本歯科麻酔学会雑誌. 2023 Apr (オンライン)	Case report
45	衛藤誠二、宮良広大	リハビリテーション科	神経筋疾患の問題症例 歩行、バランス障害が著明で下肢SEPを行った視床出血患者の一例	臨床神経生理学 51(5):509、2023.10	Case report
46	福嶋 美佳、國則 貴玄、石川 崇典、他	矯正歯科	口蓋の歯科矯正用アンカースクリューと小臼歯の片顎抜去を伴う矯正歯科治療により過大なoverjetと顎口腔機能を改善した上顎前突症例.	Clinical and Investigative orthodontics-Japanese Edition 2023 May; 82(1):14-20	Case report

小計7件

47	楠元 淳也、前田 綾、福嶋 美佳、 他	矯正歯科	歯科矯正用アンカースクリューを用いて上下顎歯列を遠心移動した上下顎前突症例.	九州矯正歯科学会 誌 2023 Oct; 19(1):11-17	Case report
48	西谷佳浩、高 裕 子、星加 知宏	保存科	変色歯の色調改善にオフィスブリーチング法を行う際の対応とその要点	歯科審美. 2023.10; 36: 41-45	Case report
49	杉本恭子、西 恭 宏、南 弘之	冠・ブリッジ科	鹿児島大学歯学部臨床実習生を対象とした高齢者疑似体験実習の取り組み	日歯教誌. 2023 Aug; 392(2): 63-69 (オンライン)	Original Article
50	前之園 隆一、小 島 聡子、窪菌 琢 郎、他	検査部	拡張型心筋症に伴う機能性高度僧帽弁閉鎖不全症の手術介入後に周期性呼吸変動が改善した1症例.	心臓リハビリテー ション29巻3-4号 270-274, 2023.12 (オンライン)	Original Article
51	古川良尚、大木 浩、宮下幸一郎、 他	輸血・細胞治療部	Current status and issues in blood transfusion medicine at remote islands in kagoshima prefecture 鹿児島県離島における輸血医療の現状と課題	Japanese Journal of Transfusion and Cell Therapy. 2023 June; 69: 418-426 日本輸血細胞治療 学会誌	Original Article
52	切田 ゆかり、北 菌 育美、亀澤 雅、 他	病理部 (病理診断科)	子宮腔部液状化検体細胞診(LBC)に出現した卵巣原発yolk sac tumorの一例	日本臨床細胞学会 雑誌(0387- 1193)62巻Suppl.2 Page508(2023.10)	Case report
53	窪田 恵美、北 菌 育美、岩切 か おり、他	病理部 (病理診断科)	液状化検体細胞診で診断した子宮頸部明細胞癌の1例	日本臨床細胞学会 雑誌(0387- 1193)62巻6号 Page287- 292(2023.11)	Case report

小計7件

54	古家 淳行、亀澤雅、窪田 恵美、他	病理部 (病理診断科)	右臀部に発生した類上皮肉腫の一例	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌(0912-6600)54巻 Page83-86(2023.07)	Case report
55	田畑 和宏	病理部 (病理診断科)	【間質性肺炎診断の実際】過敏性肺炎(HP)ガイドラインの病理診断	病理と臨床(0287-3745)41巻7号 Page0711-0717(2023.07)	Review
56	田畑 和宏	病理部 (病理診断科)	過敏性肺炎の病理診断	日本職業・環境アレルギー学会雑誌(1349-5461)30巻2号 Page1-11(2023.05)	Review
57	田畑 和宏	病理部 (病理診断科)	【病理診断クイックリファレンス2023】(第2章)肺(非腫瘍) びまん性肺胞傷害	病理と臨床(0287-3745)41巻臨増 Page17(2023.04)	Others
58	田畑 和宏	病理部 (病理診断科)	【病理診断クイックリファレンス2023】(第2章)肺(非腫瘍) 石綿肺(アスベスト肺)	病理と臨床(0287-3745)41巻臨増 Page16(2023.04)	Others
59	田畑 和宏	病理部 (病理診断科)	【病理診断クイックリファレンス2023】(第2章)肺(非腫瘍) 多発血管炎性肉芽腫症	病理と臨床(0287-3745)41巻臨増 Page15(2023.04)	Others
60	谷本 昭英	病理部 (病理診断科)	カスタムがん遺伝子パネルを用いた子宮体癌の統合分子病理診断	病理と臨床(0287-3745)41巻12号 Page1294-1302(2023.12)	Review

小計7件

61	谷本 昭英、赤羽俊章	病理部 (病理診断科)	【がん遺伝子パネル検査と病理診断】遺伝子変異の解釈に有用なウェブサイト がんゲノム医療に関わる病理医に向けて	病理と臨床(0287-3745)42巻1号 Page0019-0028(2024.01)	Review
62	古家 淳行、亀澤雅、窪田 恵美、他	病理部 (病理診断科)	右臀部に発生した類上皮肉種の一例	J. Kyushu-Okinawa Soc. Clin. Cytol. 2023 Jul; 54:83~86.	Case report
63	窪田 恵美、北菌育美、岩切り、他	病理部 (病理診断科)	液状化検体細胞診で診断した子宮頸部明細胞癌の1例	J. Jpn. Soc. Clin. Cytol. 2023 Nov; 62(6):287~292.	Case report
64	大戸敬之、松本祐子、鎌田ユミ子、他	歯科総合診療部	認知負荷を意識したオンラインシステム使用のプロフェッショナルリズム授業の実践	医学教育.2023 12, 54巻6号593-594	Others
65	北上守俊	医療技術部	脳損傷者の自動車運転再開における認知リハビリテーションの効果	リハビリテーション連携科学24(1):3-12、2023.06	Original Article
~					

小計5件  
計65件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 申請の方法、審査の方法、重篤な有害事象の報告、実施状況の報告等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 7 回 (持ち回り審査は随時実施)

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントの対象及び基準、臨床研究等実施者の責務、委員会の設置等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 回 (持ち回り審査は随時実施)

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回 (録画した講習をオンデマンドで視聴可)
・ 研修の主な内容 臨床研究に関する基礎知識、指針改正の概要、不適合事案の予防策等	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

医師として共通に求められている基礎的知識、技術、マナー等の修得を目指したいいわゆる初期臨床研修（2年間）を修了した医師は、その後も引き続き研修を行うことになるが、（各診療科により異なるが通算して概ね5～6年の研修期間）その間、各科の指導医のもと入院患者及び外来患者の診療に従事するとともに、症例検討会、抄読会並びに種々のカンファレンス等に参加し、より一層の研鑽を行う。併せて地域のメディカルセンターとしてより先端的な医療の開発、研究を行っている本学での研修では、それぞれの専門的で高度な知識と技術の修得が出来る。

また、それぞれの科の標榜するための条件となる各科関連学会の定める専門医、認定医の資格取得のための指導体制も十分に整っている。

その他、日進月歩の医学の世界において医師の生涯学習の観点から、地域の病院との連携を促進し地域医療の発展に寄与することを目的とした「研修登録医」制度を設け、本学大学病院において病棟回診、症例検討会その他の研究会並びに患者の診療等に参加することを通じて、先端的な知識や技術を修得するために1年間の研修を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	242 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大石 充	心臓血管内科	部門科長	34年	
曾我 欣治	心臓血管外科	部門科長	33年	
上村 修司	消化器内科	部門科長	23年	
大塚 隆生	消化器外科	部門科長	29年	
高嶋 博	脳神経内科	部門科長	34年	
花谷 亮典	脳神経外科	部門科長	34年	
井上 博雅	呼吸器内科	部門科長	39年	
上田 和弘	呼吸器外科	部門科長	30年	
浅川 明弘	心身医療科	部門科長	31年	
榎田 英樹	泌尿器科	部門科長	32年	
石塚 賢治	血液・膠原病内科	部門科長	35年	
西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	部門科長	39年	
中村 雅之	神経科精神科	部門科長	28年	
岡本 康裕	小児科	部門科長	34年	
家入 里志	小児外科	部門科長	30年	
小林 裕明	産科、婦人科	部門科長	39年	
谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	部門科長	29年	
金蔵 拓郎	皮膚科	部門科長	40年	
坂本 泰二	眼科	部門科長	39年	
山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部門科長	28年	
吉浦 敬	放射線科	部門科長	35年	
田中 達朗	顎顔面放射線科	部門科長	27年	



松永 明	麻酔科	部門科長	36年	
杉村 光隆	歯科麻酔科	部門科長	37年	
下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	部門科長	35年	
玉木 直文	口腔保健科	部門科長	27年	
宮脇 正一	矯正歯科	部門科長	35年	
山座 治義	小児歯科	部門科長	27年	
西谷 佳浩	保存科	部門科長	28年	
野口 和行	歯周病科	部門科長	38年	
南 弘之	冠・ブリッジ科	部門科長	34年	
西村 正宏	義歯インプラント科	部門科長	30年	
奥井 達雄	口腔外科	部門科長	18年	
田中 達朗	口腔顎顔面外科	部門科長	27年	
橋口 照人	検査部	部長	37年	
垣花 泰之	救命救急センター (救急科)、集中治療部	センター長	37年	
古川 良尚	輸血・細胞治療部	部長	40年	
谷本 昭英	病理部、病理診断科	部長	36年	
田口 則宏	歯科総合診療部	部長	30年	
川村 英樹	感染制御部	副部長	24年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）			
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数
鹿児島県母性衛生学会	2023/8/6	1回	144人
口腔インプラント治療	2023/4～2024/3	10回	7人
新型コロナウイルス感染症5類移行後の離島における感染対策対応について	2023/6/19、2023/7/10	2回	50人
看護部研修	別紙「看護部年間教育実施書」のとおり		
ME機器センター研修	別紙「ME機器センター」のとおり		
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）			
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数
新型コロナウイルス感染症の5類への移行を見据えた感染対策について	2023/4/27	1回	100人
看護部研修	別紙「看護部年間教育実施書」のとおり		
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況			

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## 2023年度 看護部年間教育実施書

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
既卒	新規採用既卒者研修Ⅰ	4月6日(木) 9:00~16:00 キャリアアップ 研修室	17	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う。	1.「転倒・転落」「与薬」「薬剤」「輸血」の安全に関する基本的知識を習得できる 2.胃チューブ挿入に関する知識を習得できる 3.男性導尿・尿管留置カテーテルに関する知識を習得できる 4.静脈採血を安全に演習できる	講義 演習	【講義(録画)】「安全の知識:内服管理・点滴管理・転倒・転落の危険判断について」 講師: 肥後昌代(医療環境安全部 GRM師長) 【講義(録画)】「薬剤の基礎:内服薬・注射薬の基礎」 講師: 屋地慶子(薬剤部副部長) 【講義(録画)】胃チューブ挿入 講師: 福元幸志(特定看護師) 【講義(録画)】男性導尿・膀胱留置カテーテル挿入 講師: 西帯野智代(皮膚排泄ケア認定看護師) 【演習】静脈採血 インストラクター: 福島真紀・和田麗・田中久美子(教育専従)	田中
		輸血のみ 4月12日(水) 15:30~16:45 鶴陵会館大ホール	18			講義	【講義】「輸血の基礎」 講師: 古川良尚(輸血・細胞治療部 部長)	田中
	新規採用既卒者研修Ⅰ(補講)	4月7日(金) 15:55~16:40 キャリアアップ研修室 4月11日(火)9:05~12:20 総合臨床研修センターセミナー室 4月17日(月) 11:30~12:00 総合臨床研修センターセミナー室	1			講義 演習	【講義(録画)】「安全の知識:内服管理・点滴管理・転倒・転落の危険判断について」 講師: 肥後昌代(医療環境安全部 GRM師長) 【講義(録画)】「薬剤の基礎:内服薬・注射薬の基礎」 講師: 屋地慶子(薬剤部副部長) 【講義(録画)】胃チューブ挿入 講師: 福元幸志(特定看護師) 【講義(録画)】男性導尿・膀胱留置カテーテル挿入 講師: 西帯野智代(皮膚排泄ケア認定看護師) 【演習】静脈採血 インストラクター: 田中久美子(教育専従)	田中
	新規採用既卒者研修Ⅱ	4月10日(月) 9:00~16:15 鶴陵会館大ホール 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	18			講義 演習	【筆記試験】胃チューブ挿入、男性導尿・膀胱留置カテーテル挿入 【講義(録画)】「医療機器の取り扱い、輸液ポンプ、シリンジポンプについて」 講師: 臨床工学部門 臨床工学技士 中島高博 【講義】「輸液を受ける患者の看護」 講師: キャリア開発室 教育専従 福島真紀 【講義(録画)】 「注射に関する解剖生理」 講師: B8教育委員 畠中慈美 「注射に関する看護師のアセスメント」 講師: C2教育委員 齋藤元代 「注射に関する取り決め事項」 講師: 教育専従 福島真紀 【演習】輸液ポンプ・シリンジポンプ操作 インストラクター: 中島 高博(臨床工学技士) 和田麗(教育専従)、福島真紀(教育専従)、田中久美子(教育専従)	田中
	新規採用既卒者研修Ⅲ	4月13日(木) 9:00~16:15 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	18			講義 演習	【筆記試験】注射(共通、筋肉注射・皮下注射、静脈注射) 【講義(録画)】「褥瘡予防技術」 講師: 特定看護師・皮膚排泄ケア認定看護師 西帯野智代 【講義(録画)】「糖尿病患者の看護について」 講師: 井手迫和美(糖尿病看護認定看護師) 【演習】胃チューブ挿入、男性導尿・尿管留置カテーテル挿入 インストラクター: 和田麗・福島真紀・田中久美子・高見利恵(教育専従)	田中
新規採用既卒者研修Ⅳ	4月17日(月) 13:30~16:30 総合臨床研修センターセミナー室	19	講義 演習	【講義(録画)】「POSによる看護記録」 講師: 松田智子(B3看護記録検討・監査委員) 【講義・演習(講義)】「重症度、医療・看護必要度」 講師: 塗木まみ(C7教育委員) 【講義】「パートナーシップマインドについて」 講師: 山浦智美副看護師長(C5 PNS・接遇向上委員)	田中			

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
既 卒	新規採用既卒者研修V 【演習】注射：静脈注射・筋肉注射・皮下注射 【講義・演習】挿管介助・吸引 【講義・演習】人工呼吸器管理	4月20日（木） 9：00～16：00 総合臨床研修センター セミナー室、演習室1・2・3・4	20	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う。	1.安全に静脈内注射・皮下注射・筋肉注射が演習で実施できる 2.挿管介助ができる 3.閉鎖式気管内吸引ができる 4.人工呼吸器に関する基礎知識について説明できる 5.人工呼吸器装着患者の看護について説明できる	講義 演習	【演習】 筋肉注射、皮下注射、静脈注射 インストラクター：和田麗、福島真紀、田中久美子（教育専従） 【講義（録画）】 「挿管チューブの固定方法と注意点」 講師：永野孝哲看護師（手術看護認定看護師） 【演習】 挿管介助・吸引（閉鎖式吸引、口鼻腔吸引、開放式吸引） 【講義（録画）】 「人工呼吸器の基礎知識」 講師：中島高博（臨床工学技士） 【講義（録画）】 「人工呼吸器装着中の患者の看護」 講師：市川善美（特定看護師） 【演習】 インストラクター： 人工呼吸器操作：中島高博（臨床工学技士）、徳田秀仁（臨床工学技士） 挿管介助：和田麗、田中久美子（教育専従）	田中
	基礎研修1 IT研修	4月7日（金） 8：30～12：30 第4講義室	76		1.患者情報を扱う際の責務について説明できる 2.電子カルテを使って患者情報の閲覧を確認できる 3.e-kanja記録システムの閲覧を確認できる 4.看護記録の入力が体験できる 5.電子カルテから医師の指示の確認、閲覧操作を確認できる 6.THINK、医療安全、感染対策等の各マニュアル等を閲覧できる 7.メールや研修記録等の個人の情報ツールの操作方法について説明できる	講義	【講義】 「THINK操作に関わる基本事項」「医療安全と質評価」 講師：宇都由美（医療情報部部長） 【講義】 「THINK操作の説明」 講師：花原康代（医療情報部看護師） 【講義】 「Nurse NAVIの説明」「ポートフォリオについて」 講師：福島真紀（教育専従）	福島
新 人	基礎研修2 輸液ポンプ・シリンジポンプ	4月10日（月） 13：50～14：40 鶴陵会館大ホール 4月18日（火） 1G：9：30～12：15 2G：13：30～16：15 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	76 76		1.輸液ポンプ・シリンジポンプについての基礎知識が習得できる 2.輸液ポンプ・シリンジポンプを安全に操作できる	講義 演習	【講義】 「医療機器の取り扱い、輸液ポンプ・シリンジポンプについて」 講師：中島高博（臨床工学技士） 【講義】 「輸液を受ける患者の看護」 講師：福島真紀（教育専従） 【演習】 輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い インストラクター：戸高秀栄、福元栄一郎、大野拓真（臨床工学技士） 和田麗・福島真紀・田中久美子（教育専従）	福島 福島
	基礎研修3 安全の知識： 転倒・転落予防 内服・点滴管理 薬剤・輸血	4月12日（水） 8：30～16：40 鶴陵会館大ホール	76	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.転倒・転落・与薬に関する基本的知識を習得できる 2.薬剤の基礎知識を習得する 3.輸血管理の基礎知識を習得する 4.接遇について理解し、行動を考えることができる 5.コミュニケーションについて理解し、SBARで報告することができる	講義 演習	【講義】 「転倒・転落の防止対策、内服管理・点滴管理」 講師：友栗英子（医療安全管理部 GRM 副看護部長） 【講義】 「薬剤の基礎～内服薬、注射薬の基礎～」 講師：屋地慶子（薬剤部副部長） 【講義（学研e-ラーニング）】 接遇マナーの基本「あいさつ」でかわるおもてなしの心 【演習】 接遇について インストラクター：和田麗・福島真紀（教育専従） 【講義】 「行動する力「コミュニケーション力」」 講師：福島真紀（教育専従） 【演習】 SBAR報告について インストラクター：和田麗・福島真紀（教育専従） 【講義】 「輸血の基礎」 講師：古川良尚（輸血・細胞治療部部長）	福島
	基礎研修4-①② 口腔ケア・食事介助・経管栄養	①4月24日（月） ②4月25日（火） 1G：8：25～12：00 2G：13：10～16：45 保健学科601講義室 保健学科基礎・成人看護学実習室	75		1.口腔ケアの基礎知識・技術を習得できる 2.食事介助の基礎知識・技術を習得できる 3.経管栄養の基礎知識・技術を習得できる	講義 演習	【講義（録画）】 「食事介助・口腔ケア・経管栄養について」 講師：鈴木真由美（摂食嚥下障害認定看護師） 【演習】 口腔ケア・食事介助・経管栄養 インストラクター：鈴木真由美（摂食嚥下障害認定看護師） 和田麗・福島真紀・田中久美子（教育専従）	福島
	基礎研修5 糖尿病患者の看護・血糖測定	4月27日（木） 9：15～11：30 鶴陵会館中・小ホール	75		1.糖尿病看護の基礎知識を習得できる 2.血糖測定を安全に演習でできる	講義 演習	【講義】 「糖尿病患者の看護」 講師：井手迫和美（糖尿病看護認定看護師） 【講義】 「血糖測定の実際」 講師：和田麗（教育専従） 【演習】 血糖測定 インストラクター：井手迫和美（糖尿病看護認定看護師） 和田麗・福島真紀・田中久美子（教育専従）	福島・和田
	基礎研修6-①② 社会人としての基本姿勢 PNSマインド	①5月8日（月） ②5月11日（木） 1G：9：10～12：20 2G：13：30～16：40 第4講義室	76		1.社会人としての心構え、基本姿勢、マナーが分かる 2.PNSマインドについて説明できる 3.PNSマインドについて理解し、自身が何をすべきか説明できる	講義 演習	【講義（学研e-ラーニング）】 新医療人としてのビジネスマナー 【講義（一部録画）】 「PNSマインドとは」 講師：福島真紀（教育専従）、（録画）山浦智美（C5総務委員） 【演習】 社会人としての基本姿勢、PNSマインド インストラクター：和田麗・福島真紀・田中久美子（教育専従）	福島

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
新人	基礎研修7-①② 体位変換・褥瘡予防	①5月16日(火) ②5月19日(金) 1G:9:00~12:10 2G:13:20~16:30 保健学科基礎・成人看護学実習室	76	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.褥瘡予防に必要な体位変換やポジショニング、良肢位などの基礎的知識・技術を習得できる	講義・演習	【講義】「褥瘡予防のためのポジショニング技術」 講師：西帯野智代(皮膚排泄ケア認定・特定看護師) 【演習】褥瘡予防技術 インストラクター：皮膚排泄ケア認定・特定看護師：西帯野智代 皮膚排泄ケア認定看護師：竹原沙織 和田麗・福島真紀・田中久美子(教育専従)	福島
	基礎研修8 ストレスマネジメント 夜勤導入研修	5月23日(火) 9:00~12:15 第4講義室	74		1.心の健康とストレスについて理解し、対応についても理解できる 2.夜勤業務の流れと夜間の看護ケアの特徴が分かる 3.夜勤業務時の自己の体調管理の重要性について説明できる	講義 演習	【講義】「ストレスマネジメント」 講師：山下亜矢子(鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学講座教授) 【演習】ストレスマネジメント 講師：山下亜矢子(鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学講座教授) インストラクター：和田麗・福島真紀(教育専従) 【講義】「夜勤の心得」 講師：福島真紀(教育専従)	福島
	基礎研修9-①② 吸引・酸素吸入	①5月29日(月) ②5月31日(水) 1G:8:30~12:15 2G:13:00~16:45 総合臨床研修センター 演習室1・2・3・4	76		1.口鼻腔吸引が演習できる 2.気管内吸引が演習できる 3.酸素吸入中の患者の看護について説明できる 4.呼吸音聴診ができる	講義 演習	【講義(録画)】「酸素吸入中の患者の看護」 講師：吉永健嗣(呼吸療法士・救急部看護師) 【講義】「気管内吸引について」 講師：田中久美子(教育専従) 【演習】吸引 インストラクター ①5/29:溜ひとみ(B2教育委員)、和田麗・福島真紀・田中久美子(教育専従) ②5/31:菊永麻美(リハビリ教育委員)、和田麗・福島真紀・田中久美子(教育専従) 【講義】「呼吸音聴診」 講師：①5/29有川理恵(C4教育委員) ②5/31内山美香(B7教育委員) 【演習】呼吸音聴診 【危険予知トレーニング】酸素吸入 インストラクター：①5/29有川理恵(C4教育委員) ②5/31内山美香(B7教育委員)	和田・田中 5/29溜・有川 5/31内山・菊永
	基礎研修10-①② 看護記録(必要度含む)	①6月7日(水) ②6月22日(木) 13:15~15:45 第4講義室	75		1.POSによる看護記録について説明できる 2.重症度・医療・看護必要度を理解し、適切に評価することができる	講義 演習	①6/7 ②6/22(録画) 【講義】「看護記録について」 講師：奥加奈(B8教育委員) 【講義・演習】「重症度・医療・看護必要度」 講師：鳥越千秋(C2教育委員) 【演習】看護必要度 インストラクター：福島真紀(教育専従)	福島 6/7鳥越・奥
	基礎研修11-①② 採血	①6月15日(木) ②6月17日(土) 1G:9:10~12:10 2G:13:20~16:20 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	74		1.静脈血採血が安全に実施できる知識を身につけることができる 2.静脈血採血を安全に演習できる	講義 演習	【小テスト】輸液ポンプ・シリンジポンプ 担当：和田麗(教育専従) 【講義】「静脈採血の実際とリスクマネジメント」 講師：福島真紀(教育専従) 【演習】静脈血採血 インストラクター ①6/15:山中希世美(C6教育委員)、松山真澄美(B6教育委員) 枝田志織(B2部署教育ナース)、和田麗・福島真紀・田中久美子(教育専従) ②6/17:鈴木真由美(C5教育委員)、前田真矢(B教育委員5) 江口真弥(C4部署教育ナース)、和田麗・福島真紀・田中久美子(教育専従) 【危険予知トレーニング】採血の実際場面 インストラクター：和田麗(教育専従)	和田・福島 6/15山中・松山 6/17鈴木・前田
	基礎研修11(補講) 採血	①6月28日(水) キャリアアップ研修室	1			講義 演習	【小テスト】輸液ポンプ・シリンジポンプ 担当：和田麗(教育専従) 【講義】「静脈採血の実際とリスクマネジメント」 講師：和田麗(教育専従) 【演習】静脈血採血 インストラクター：和田麗(教育専従) 【危険予知トレーニング】「採血の実際場面」 インストラクター：和田麗(教育専従)	和田・福島

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者	
新人	基礎研修12-①② フィジカルアセスメント	①7月13日(木) ②7月20日(木) <新卒>13:00~16:30 <既卒>13:00~16:10 総合臨床研修センターセミナー室	81	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.フィジカルアセスメントに関する基本的知識(呼吸・循環・中枢神経系)を習得できる 2.状態変化を評価し、ISBARCを用いた報告の必要性を理解できる 2.フィジカルアセスメントの基本技術が習得できる 4.事例のフィジカルイグザミネーションを行うことができる 5.事例のフィジカルイグザミネーションを行い、正常・異常の判断ができる	講義 演習	【講義】「フィジカルアセスメント」 講師：山下浩美(集中ケア認定看護師) 【演習】対光反射の確認、事例を用いた意識レベルの把握 事例を用いたフィジカルアセスメント・報告の実際 講師：山下浩美(集中ケア認定看護師) インストラクター：和田麗・福島真紀(教育専従) 【小テスト】「採血」(新卒のみ) 担当：和田麗(教育専従)	和田・福島	
	基礎研修12(補講) フィジカルアセスメント	8月4日(金) 13:10~15:35 総合臨床研修センター演習室5	1			講義 演習	【講義(録画)】「フィジカルアセスメント」 講師：山下浩美(集中ケア認定看護師) 【演習(講師解説のみ録画)】対光反射の確認、事例を用いた意識レベルの把握 事例を用いたフィジカルアセスメント・報告の実際 (録画解説)講師：山下浩美(集中ケア認定看護師) インストラクター：和田麗(教育専従) 【小テスト】「採血」(新卒のみ) 担当：和田麗(教育専従)	和田・福島	
	基礎研修13-①② 静脈注射・筋肉注射・皮下注射	①8月23日(水) ②8月24日(木) 8:20~16:30 講義：第4講義室 演習：保健学科基礎・成人看護学実習室	71			1.静脈注射・皮下注射・筋肉注射を実施する上で必要な解剖生理について説明できる 2.注射を実施する上で必要なアセスメントについて説明できる 3.安全に静脈内注射・皮下注射・筋肉注射が演習で実施できる	講義 演習	【講義】「注射に関する解剖生理」(②8/24は録画) 講師：塗木まみ(C7教育委員) 【講義】「注射に関する看護師のアセスメント」(②8/24は録画) 講師：内山美紀(B7教育委員) 【講義】「注射に関連する取り決め事項」 講師：福島真紀(教育専従) 【危険予知トレーニング】「注射」 インストラクター：和田麗(教育専従) 【演習】静脈内注射・筋肉注射・皮下注射 インストラクター①8/23：内山美香(B7教育委員)、塗木まみ(C7教育委員) 押川大輔(B部署教育ナース)、戸島典佳(B4部署教育ナース) 和田麗・福島真紀・田中久美子(教育専従) ②8/24：奥加奈(B8教育委員)、有川理恵(C4教育委員) 戸口田勝(C部署教育ナース5)、竹内愛美(C6部署教育ナース) 和田麗・福島真紀・田中久美子(教育専従)	和田 8/23内山・塗木 8/24奥・有川
	基礎研修13(補講) 静脈注射・筋肉注射・皮下注射	10月12日(木) 12:00~15:50 総合臨床研修センター演習室3・4	1			講義 演習	【講義(録画)】「注射に関する解剖生理」 講師：塗木まみ(C7教育委員) 【講義(録画)】「注射に関する看護師のアセスメント」 講師：内山美紀(B7教育委員) 【講義(録画)】「注射に関連する取り決め事項」 講師：福島真紀(教育専従) 【危険予知トレーニング】「注射」 インストラクター：和田麗(教育専従) 【演習】静脈内注射・筋肉注射・皮下注射 インストラクター：和田麗(教育専従)	和田	
	基礎研修13(補講) 静脈注射・筋肉注射・皮下注射	10月31日(火) 9:00~9:50、9:50~11:45 11月1日(水) 9:00~11:00 総合臨床研修センター演習室3・4	1			講義 演習	10/31 【講義(録画)】「注射に関する解剖生理」 講師：塗木まみ(C7教育委員) 【講義(録画)】「注射に関する看護師のアセスメント」 講師：内山美紀(B7教育委員) 【講義(録画)】「注射に関連する取り決め事項」 講師：福島真紀(教育専従) 11/1 【危険予知トレーニング】「注射」 インストラクター：和田麗(教育専従) 【演習】静脈内注射・筋肉注射・皮下注射 インストラクター：和田麗(教育専従)	和田	
	基礎研修14-①② BLS	①9月15日(金) ②9月21日(木) 1G:9:10~11:45 2G:13:10~15:45 総合臨床研修センターセミナー室	81			1.AEDを含む一次救命処置についての知識を習得できる 2.演習の場でBLSを実践できる	講義 演習	【講義・演習】「BLS」 講師：①9/15：佐藤美和(C2災害支援ナース) ②9/21：倉橋優太(B8災害支援ナース) インストラクター： ①9/15：市川善実(ICU教育委員)、菊永麻美(リハビリ教育委員) 和田麗・福島真紀(教育専従) ②9/21：山中希世美(C教育委員6)、小澤美奈(RI教育委員) 和田麗・福島真紀(教育専従)	和田 9/15市川・菊永 9/21山中・小澤
	基礎研修14(補講) BLS	12月19日(火) 14:00~15:50 C棟8階総合臨床研修センターセミナー室	4			講義 演習	【講義(録画)】「BLS」 講師：倉橋優太(B8災害支援ナース) 【演習(デモンストラーションのみ録画)】 (録画インストラクター)：佐藤美和(C2災害支援ナース)、市川善実(ICU教育委員) 菊永麻美(リハビリ教育委員) インストラクター：和田麗(教育専従)	和田	

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
新人	看護を語る-①②	①11月17日(金) ②11月29日(木) 1G:9:00~11:50 2G:13:00~15:50 総合臨床研修センターセミナー室	73	看護の楽しさ、やりがい、奥深さを 実感し、専門職者としての自覚や責任ある行動がとれる	1.自分の嬉しかった事例や上手くいったと感じた看護体験の振り返りが出来る 2.他参加者の看護体験を共有できる 3.看護の楽しさ、やりがい、奥深さを実感できる 4.看護専門職としての姿勢や態度についての自分の課題を考えられる	発表会	【小テスト】「フィジカルアセスメント」 担当:和田麗(教育専従) 【語り】自分の看護を語る「心に残る患者(看護)」 支援者: ①11/17:永田亜紀(緩和ケア教育委員)、吉永美佳(C3教育委員) 和田麗・福島真紀(教育専従) ②11/29:折田美千代(B3教育委員)、新穂ゆき枝(NICU教育委員) 高見利恵・和田麗・田中久美子(教育専従) 【講義】「ポートフォリオについて」 講師:和田麗(教育専従)	和田 11/17永田・吉永 11/29折田・新穂
	看護実践プロセスⅠ-①②	①12月15日(金) 1G:8:20~11:40 2G:12:50~16:10 共通教育棟502講義室 ②12月25日(月) 8:50~12:10 総合臨床研修センターセミナー室	76	自己の看護実践の振り返りを行い、 問題点を明確化し、看護師・助産師としての役割を考える	1.看護の役割を理解できる 2.自己の看護観について考えることができる 3.看護実践プロセス(個別性のある看護)を理解し表現できる	講義 演習	【講義】「看護の視点と看護観」 講師:鈴木真由美(摂食・嚥下障害看護認定看護師) 【講義】「看護過程について」 講師:和田麗(教育専従) 【演習】・事前に配布した事例の看護上の問題点・アセスメント・看護計画を立て、 看護の視点や看護観を考える ・自己の事例で看護計画を振り返り個別的な看護計画について考える インストラクター ①12/15:鈴木真由美(C5教育委員)、和田麗・福島真紀(教育専従) ②12/25:市川善実(ICU教育委員)、和田麗・福島真紀(教育専従) 【講義】「次年度Go!!プロジェクト活動について」 講師:福島真紀・和田麗(教育専従)	和田 12/15鈴木 12/25市川
	看護実践プロセスⅠ(補講)	2月7日(水) 8:30~10:30 キャリアアップ研修室	2			講義 演習	【講義(録画)】「看護の視点と看護観」 講師:鈴木真由美(摂食・嚥下障害看護認定看護師) 【講義】「看護過程について」 講師:和田麗(教育専従) 【演習】・事前に配布した事例の看護上の問題点・アセスメント・看護計画を立て、看護の視点や 看護観を考える ・自己の事例で看護計画を振り返り個別的な看護計画について考える インストラクター:和田麗(教育専従) 【講義】「次年度Go!!プロジェクト活動について」 講師:和田麗(教育専従)	和田
中途採用 新卒 看護師	中途採用者研修 基礎研修1 IT研修 基礎研修6 社会人としての基本姿勢 基礎研修10 看護記録	8月3日(木) 8:45~15:10(2名) 11:00~17:45(1名) 総合臨床研修センター演習室3・4	3		基礎研修1、基礎研修10、基礎研修6と同様	講義 演習	【講義】「THINK操作に関わる基本事項」「医療安全と質評価」 講師:宇部由美子(医療情報部長) 【講義(学研e-ラーニング)】「新医療人としてのビジネスマナー」 【演習】社会人としての基本姿勢 インストラクター:田中久美子(教育専従) 【講義(録画)】「看護記録について」 講師:奥加奈(B8教育委員) 【講義(録画)】「重症度・医療・看護必要度」 講師:鳥越千秋(C2教育委員) 【演習】看護必要度 インストラクター:和田麗(教育専従)	和田 田中
	中途採用者研修 基礎研修3 <安全の知識> 転倒・転落予防 内服・点滴管理 薬剤・輸血	8月4日(金) 9:00~16:10 総合臨床研修センター演習室3・4	3	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	基礎研修3と同様	講義 演習	【講義(録画)】「転倒・転落の防止対策」「内服管理・点滴管理」 講師:友栗英子(医療安全管理部 GRM副看護部長) 【講義(録画)】「薬剤の基礎~内服薬・注射薬の基礎~」 講師:屋地慶子(薬剤部副部長) 【講義(学研e-ラーニング)】「接遇マナーの基本「あいさつ」でかわるおもてなしの心」 【演習】接遇について インストラクター:福島真紀(教育専従) 【講義】「行動する力「コミュニケーション力」」 講師:福島真紀(教育専従) 【演習】SBAR報告について インストラクター:福島真紀(教育専従) 【講義】「輸血の基礎」 講師:福島真紀(教育専従)	和田 福島

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
中途採用 新卒 看護師	中途採用者研修 基礎研修4 口腔ケア・食事介助・経管栄養 基礎研修5 糖尿病患者の看護・血糖測定 基礎研修7 体位変換・褥瘡予防	8月8日(火) 8:45~16:05 総合臨床研修センター演習室3・4	3	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	基礎研修4、基礎研修5、基礎研修7と同様	講義 演習	【講義(録画)】「褥瘡予防のためのポイショニング技術」 講師：西帯野智代(皮膚排泄ケア認定・特定看護師) 【演習(解説のみ録画)】褥瘡予防技術 (録画解説)講師：西帯野智代(皮膚排泄ケア認定・特定看護師) インストラクター：福島真紀(教育専従) 【講義(録画)】「食事介助・口腔ケア・経管栄養について」 講師：鈴木真由美(摂食嚥下障害認定看護師) 【演習】口腔ケア・食事介助・経管栄養 インストラクター：和田麗・福島真紀(教育専従) 【講義(録画)】「糖尿病患者の看護」 講師：井手迫和美(糖尿病看護認定看護師・医科2階外来師長) 【講義】「血糖測定の実際」 講師：和田麗(教育専従) 【演習】血糖測定 インストラクター：和田麗(教育専従)	和田 福島
	中途採用者研修 基礎研修8(補講) ストレスマネジメント・夜勤導入研修 基礎研修2 輸液ポンプ・シリンジポンプ	8月9日(水) <基礎研修補講者> 9:00~11:45 <中途採用者> 9:00~15:50 総合臨床研修センター演習室3・4	基礎研修8のみ:5 基礎研修2:3	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	基礎研修8、基礎研修2と同様	講義 演習	【講義(録画)】「ストレスマネジメント」 講師：山下亜矢子(鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学講座教授) 【演習(解説は録画)】ストレスマネジメント (録画解説)講師：山下亜矢子(鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学講座教授) インストラクター：福島真紀(教育専従) 【講義】「夜勤の心得」 講師：福島真紀(教育専従) 【講義(録画)】「医療機器の取り扱い、輸液ポンプ・シリンジポンプについて」 講師：中島高博(臨床工学技士) 【講義(録画)】「輸液を受ける患者の看護」 講師：福島真紀(教育専従) 【演習】輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い インストラクター：福島真紀(教育専従)	和田 福島
中途採用 新卒 看護師	中途採用者研修 基礎研修9 吸引・酸素吸入 基礎研修6 PNSマインド	8月16日(水) 9:00~14:30 総合臨床研修センター演習室3・4	3	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	基礎研修6、基礎研修9と同様	講義 演習	【講義(録画)】「酸素吸入中の患者の看護」 講師：吉永健嗣(呼吸療法士・救急部看護師) 【講義】「気管内吸引について」 講師：田中久美子(教育専従) 【演習】吸引 インストラクター：和田麗・田中久美子(教育専従) 【講義】「呼吸音聴診」 講師：和田麗(教育専従) 【演習】呼吸音聴診 インストラクター：和田麗(教育専従) 【危険予知トレーニング】「酸素吸入」 インストラクター：和田麗(教育専従) 【講義(一部録画)】「PNSマインドとは」 講師：和田麗(教育専従)、(録画)山浦智美(C5総務委員) 【演習】PNSマインド インストラクター：和田麗(教育専従)	和田 田中
	中途採用者研修 基礎研修11 採血 基礎研修12 フィジカルアセスメント	8月21日(水) 9:00~15:15 総合臨床研修センター演習室3・4	3	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	基礎研修11、基礎研修12と同様	講義 演習	【講義(録画)】「フィジカルアセスメント」 講師：山下浩美(集中ケア認定看護師) 【演習(講師解説のみ録画)】 対光反射の確認、事例を用いた意識レベルの把握、事例を用いたフィジカルアセスメント・報告の実際(録画解説) 講師：山下浩美(集中ケア認定看護師) インストラクター：和田麗(教育専従) 【講義】「静脈採血の実際とリスクマネジメント」 講師：和田麗(教育専従) 【演習】静脈血採血 インストラクター：和田麗(教育専従) 【危険予知トレーニング】「採血の実際場面」 インストラクター：和田麗(教育専従)	和田



区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
2022年度採用者(2年目)	2年目研修 看護実践プロセスIフォローアップ	8月7日(月) 1G:9:00~11:00 2G:12:15~14:15 3G:14:45~16:45 鶴岡会館中小ホール	48	看護過程の展開における自己の課題を明確にし、看護実践を考える	1.自己の看護実践を振り返ることができる 2.様々な気付きや知識、経験を共有し、事例を深く理解することができる	講義 演習	【講義】「看護実践プロセス」の復習 講師:福島 真紀(教育専従) 【演習】「自己の担当患者の看護過程のリフレクション」 インストラクター:福島真紀・和田麗(教育専従) 新穂ゆき枝(NICU教育委員)	福島 新穂
	2年目研修 エンゼルケア-①②	①8月29日(火) ②8月30日(水) 1G:9:00~12:00 2G:13:30~16:30 保健学科4階基礎・成人看護学実習室	52	医療人として必要なエンゼルケアの知識・技術を学び、看取りの看護が提供できる	1.エンゼルケア・看取りの看護について基本的な知識・技術を習得できる 2.エンゼルケアについて、看護師の役割・態度について考えることができる	講義 演習	【講義】「エンゼルケア」 講師:脇田真衣子(緩和ケア認定看護師) 【講義】お見送りの実際 講師:①8/29:前田真矢(B5教育委員)、山下晴美(3階外来教育委員) ②8/30:津之地紀子(手術部教育委員)、和田麗(教育専従) 【演習】モデル演習 グループワーク インストラクター: ①8/29:前田真矢(B5教育委員)、山下晴美(3階外来教育委員) 杉山由紀子(B8がん看護リクナース)、和田麗・福島真紀(教育専従) ②8/30:津之地紀子(手術部教育委員) 磯田恵利(C4がん看護リクナース)、和田麗・福島真紀(教育専従)	福島 8/29前田・山下 8/30津之地
	エンゼルケア-①②(補講)	2024年1月19日(金) 9:00~11:40 総合臨床研修センター演習室3	2		1.エンゼルケア・看取りの看護について基本的な知識・技術を習得できる 2.エンゼルケアについて、看護師の役割・態度について考えることができる	講義 演習	【講義(録画)】「エンゼルケア」 講師:脇田真衣子(緩和ケア認定看護師) 【講義(録画)】お見送りの実際 講師:前田真矢(B5教育委員) 【演習】インストラクター:田中久美子・福島真紀(教育専従)	福島
	2年目研修 挿管介助 閉鎖式吸引操作-①②	①11月8日(水) ②11月9日(木) 1G:9:10~12:00 2G:13:25~16:15 総合臨床研修センター セミナー室、演習室1・2・3・4	50		1.挿管介助ができる 2.閉鎖式気管内吸引ができる 3.感染予防について正しい技術を習得できる	講義 演習	【講義】「挿管チューブの固定方法と注意点について」 講師:長野孝哲(手術看護認定看護師) 【演習】「挿管介助・吸引」 インストラクター①11/8:前田真矢(B5教育委員)、上赤昴佑(ICU部署教育ナース)、 和田麗・福島真紀(教育専従) ②11/9:塗木まみ(C7教育委員)、内山彩音(救急部署教育ナース)、 和田麗・福島真紀(教育専従)	福島 11/8 前田 11/9 塗木
	挿管介助 閉鎖式吸引操作-①②(補講)	2024年1月19日(金) 13:00~15:00 総合臨床研修センター演習室3	2		1.挿管介助ができる 2.閉鎖式気管内吸引ができる 3.感染予防について正しい技術を習得できる	講義 演習	【講義(録画)】「挿管チューブの固定方法と注意点について」 講師:長野孝哲(手術看護認定看護師) 【演習】「挿管介助・吸引」 インストラクター:田中久美子・福島真紀(教育専従)	福島
	2年目研修 聴診・12誘導心電図 技術評価-①②	①9月28日(木) ②9月29日(金) 9:00~16:15間で、指定された受講時間に20分ずつ 総合臨床研修センター演習室3・4	44	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.12誘導心電図の電極が正しく装着できる(波形がわかる) 2.心電図の波形が分かる	技術評価	【技術評価】「12誘導心電図装着」 担当:①9/28:湯原美奈代(B5部署教育ナース)、福島真紀・和田麗(教育専従) ②9/29:河野雄治(C7部署教育ナース)、福島真紀・和田麗(教育専従)	福島
	聴診・12誘導心電図 技術評価-①②(補講)	12月15日(金) 14:40~16:10の間の20分ずつ 総合臨床研修センター演習室4	5		1.12誘導心電図の電極が正しく装着できる(波形がわかる) 2.心電図の波形が分かる	技術評価	【技術評価】「12誘導心電図装着」 担当:福島真紀(教育専従)	福島
	2年目研修 7日 h700-770 研修	10月19日(木) ①9:15~11:30 ②13:00~15:15 総合臨床研修センターセミナー室	50		1.フィジカルアセスメント技術の振り返りができる 2.患者状態の変化を早期発見でき、なぜそのような状態になったかをアセスメントできる 3.事例の状態変化時、一時評価してISBARCで報告できる	講義 演習	【講義】フィジカルアセスメントに関する講義 講師:山下浩美(集中ケア認定看護師) 【演習】インストラクター:有川理恵(C4教育委員) 福島真紀(教育専従)	福島 有川
	2年目研修 人工呼吸器管理-①②	①12月6日(水) ②12月13日(水) 12:40~16:30 総合臨床研修センター 演習室1・2・3・4	51		1.人工呼吸器に関する基礎知識を習得できる 2.人工呼吸器装着患者の看護について理解できる 3.人工呼吸器装着中の安全対策について考えることができる	講義 演習	【講義】「人工呼吸器の基礎」 講師:中島高博(臨床工学技士) 【講義】「人工呼吸器装着中の患者の看護」 講師:有川理恵(特定看護師) 【演習】「人工呼吸器操作」 インストラクター:徳田秀仁・新地晃也(臨床工学技士) 【講義・演習】「人工呼吸器関連のインシデント・カンニューレに関するインシデントについて」 講師:12/6:福島真紀(教育専従) 12/13:山中希世美(C6教育委員)	福島 12/6有川 12/13山中
	2年目研修 人工呼吸器①②(補講)	2024年1月19日(金) 総合臨床研修センター演習室3	2	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.挿管介助ができる 2.閉鎖式気管内吸引ができる 3.人工呼吸器装着中の安全対策について考えることができる	講義 演習	【講義(録画)】「挿管チューブの固定方法と注意点について」 講師:長野孝哲(手術看護認定看護師) 【演習】「挿管介助・吸引」 インストラクター:福島真紀(教育専従)	福島

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
2022年度採用者（2年目）	2年目研修 看護を語る-①②	①2024年1月25日（木） 1G：9：10～11：00 ②2024年1月31日（水） 2G：9：10～11：00 3G：13：10～15：00 総合臨床研修センターセミナー室	51	専門職としての自覚や責任ある行動がとれる	1.自分が看護のやりがいや奥深さを感じた看護実践の振り返りができる 2.他参加者との看護体験の共有を通して、自分の看護について考える事ができる 3.2年目看護専門職としての姿勢や態度についての自己の課題を考える	発表会	【語り】「心に残る看護」 ・2年目となり、患者への看護実践のなかで気づいた思いや考え、大事なことについて ・グループメンバーと語られた看護のテーマについてディスカッション 支援者：①1/25・鳥越千秋（C2教育委員） 和田麗・福島真紀（教育専従） ②1/31：津之地紀代子（手術部教育委員） 田中久美子・福島真紀（教育専従）	福島 1/25 鳥越 1/31 津之地
	地域施設見学事前学習研修 (2022年度新卒新規採用者対象)	①2024年2月6日（火） ②2024年2月20日（火） 12：55～16：30 鶴陵会館中・小ホール	43	1.障害を持って、地域・在宅で暮らす患者・家族への看護介入の状況が分かる 2.地域の患者・サービス利用者を取り巻く地域包括ケア体制や他職種協働を理解する	1.地域における社会資源に関する知識を得て、地域医療に関する理解を深めることができる 2.グループワークを通して不足している社会資源の情報を集約できる 3.事例検討を通して社会資源の活用について考えることができる 4.自身の地域施設見学及び病棟における退院支援やプライマリ患者に対する看護をイメージできる	講義 演習	【講義】「鹿児島県医療人育成プランについて～本研修の進め方、地域施設見学の進め方について」 講師：川内美千代（教育担当副看護部長） 【講義】「当院における退院支援のあり方」 講師：上野かおり（地域看護支援ナース 地域医療連携センター副看護師長） 【演習】「共通事例に対する退院支援検討」 （鹿児島県7医療圏でグループ編成し、担当医療圏について事例検討） インストラクター：川内美千代（教育担当副看護部長、地域看護支援ナース） 塗木まみ（C7教育委員） 和田礪・福島真紀（教育専従） 高見理恵（教育専従講師長）	福島 塗木
2021年度採用者（3年目）	看護実践プロセスⅡ	7月5日（水） 8：40～10：15 演習： 1G10：25～12：30 2G：14：00～16：05 鶴陵会館中・小ホール	48	看護過程の展開を理解し、個別性・継続性に配慮した看護を実践できる	1.看護実践プロセス（看護過程）の展開方法を理解できる 2.アセスメント能力を高めることができる 3.個別性・継続性に配慮した看護について考えることができる 4.チームメンバーの一員、プライマリナースとしての役割について考えることができる	講義 演習	【講義】「看護過程概論」 講師：山口さおり（医学部保健学科幹幹看護学講座助教） 【講義】「演習に必要な講義」 講師：吉永美佳（乳がん看護認定看護師） 【演習・グループワーク】「看護過程」 インストラクター：吉永美香（C3教育委員 乳がん看護認定看護師） 和田麗・田中久美子・福島真紀（教育専従）	福島 吉永
	看護実践プロセスⅡ（補講）	12月20日（水） 13:30～16:30 総合臨床研修センターセミナー室	3	看護過程の展開を理解し、個別性・継続性に配慮した看護を実践できる	1.看護実践プロセス（看護過程）の展開方法を理解できる 2.アセスメント能力を高めることができる 3.個別性・継続性に配慮した看護について考えることができる 4.チームメンバーの一員、プライマリナースとしての役割について考えることができる	講義 演習	【講義（録画）】「看護過程概論」 講師：山口さおり（医学部保健学科幹幹看護学講座助教） 【講義（録画）】「演習に必要な講義」 講師：吉永美佳（乳がん看護認定看護師） 【演習】「看護過程」インストラクター：福島真紀（教育専従）	福島
	地域施設見学事前学習研修 (2021年度新卒新規採用者対象)	8月2日（水） 8：25～12：40 鶴陵会館中・小ホール	40	1.障害を持って、地域・在宅で暮らす患者・家族への看護介入の状況が分かる 2.地域の患者・サービス利用者を取り巻く地域包括ケア体制や他職種協働を理解する	1.地域における社会資源に関する知識を得て、地域医療に関する理解を深めることができる 2.グループワークを通して不足している社会資源の情報を集約できる 3.事例検討を通して社会資源の活用について考えることができる 4.自身の地域施設見学及び病棟における退院支援やプライマリ患者に対する看護をイメージできる	講義 演習	【講義】「鹿児島県医療人育成プランについて～本研修の進め方、地域施設見学の進め方について」 講師：川内美千代（教育担当副看護部長） 【講義】「当院における退院支援のあり方」 講師：上野かおり（地域看護支援ナース 地域医療連携センター副看護師長） 【演習】「共通事例に対する退院支援検討」 （鹿児島県8医療圏でグループ編成し、担当医療圏について事例検討） インストラクター：川内美千代（教育担当副看護部長、地域看護支援ナース） 鈴木真由美（C5教育委員） 福島真紀（教育専従） 高見理恵（教育専従講師長）	福島 鈴木
	医療器材管理研修	講義 9月20日（水）10：00～11：00 第4扇室 実地研修：医療器材管理部 9月22日・25日・26日・27日のうち1日	31	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.医療材料・衛生材料の管理について理解できる 2.洗浄・消毒・滅菌のシステムを理解し管理できる 3.洗浄・消毒・滅菌に対するコスト意識を高める 4.医療器材に関する管理的視点を持つことができる	講義 演習	【講義】「洗浄・消毒・滅菌について」 講師：川島優子（医療器材管理部看護部長） 【演習】医療器材部の実地研修 講師：川島優子（医療器材管理部看護部長）	福島
	医療器材管理研修（補講）	講義 9月22日（金） 12:00～13:00 総合臨床研修センター演習室5 実地研修：医療器材管理部	1	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.医療材料・衛生材料の管理について理解できる 2.洗浄・消毒・滅菌のシステムを理解し管理できる 3.洗浄・消毒・滅菌に対するコスト意識を高める 4.医療器材に関する管理的視点を持つことができる	講義 演習	【講義（録画）】「洗浄・消毒・滅菌について」DVD 講師：川島優子（医療器材管理部看護部長） 【演習】医療器材部の実地研修 講師：川島優子（医療器材管理部看護部長）	福島
	医療器材管理研修（補講）	講義 9月25日（月） ①12:00～13:00 総合臨床研修センター演習室5 ②13:30～14:30 キャリアアップ研修室	2	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.医療材料・衛生材料の管理について理解できる 2.洗浄・消毒・滅菌のシステムを理解し管理できる 3.洗浄・消毒・滅菌に対するコスト意識を高める 4.医療器材に関する管理的視点を持つことができる	講義 演習	【講義（録画）】「洗浄・消毒・滅菌について」DVD 講師：川島優子（医療器材管理部看護部長） 【演習】医療器材部の実地研修 講師：川島優子（医療器材管理部看護部長）	福島
	医療器材管理研修（補講）	講義 9月26日（火） 12:00～13:00 総合臨床研修センター演習室5 実地研修：医療器材管理部	1	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.医療材料・衛生材料の管理について理解できる 2.洗浄・消毒・滅菌のシステムを理解し管理できる 3.洗浄・消毒・滅菌に対するコスト意識を高める 4.医療器材に関する管理的視点を持つことができる	講義 演習	【講義（録画）】「洗浄・消毒・滅菌について」DVD 講師：川島優子（医療器材管理部看護部長） 【演習】医療器材部の実地研修 講師：川島優子（医療器材管理部看護部長）	福島
フィジカルアセスメント・ベーシック	11月30日（木） ①9：10～12：00 ②13：10～16：00 共通教育棟502講義室	40	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.事例（患者）の変化を予測した意図的な情報収集ができる 2.事例のアセスメントをA B R Aで報告できる 3.事例の全身状態のフィジカルアセスメントを行い、RRSの状態にならない、急変させない一歩前の必要な看護ケアを考える	講義 演習	【小テスト】 【講義】「フィジカルアセスメント・ベーシック」に関する講義 【演習】事例検討 講師：山下浩美（集中ケア認定看護師）	福島	

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
看護実践	地域施設見学会 2020年度新卒採用者（卒後4年目） 2021年度新卒採用者（卒後3年目）	2024年2月26日（月）、2月27日（火） 2月28日（水）、2月29日（木） 17：00～18：15 第4講義室	発表者 34 参加者 のべ 301	障害を残し、地域・在宅で暮らす患者・家族の看護・介護の状況を理解する 地域の患者・サービス利用者を取り巻く地域包括ケア体制や他職種協働を理解する 地域施設見学会による体験の知を共有できる	1.患者を取り巻く環境と今の健康状態を理解する 2.患者が受けている医療・介護サービス内容を理解する 3.他職種が患者にどのように関わっているかを理解する 4.自分が支援した退院指導や生活指導がどのようにシームレスケアにつながったかを理解する 5.家族や地域で患者を支えているものを理解する 6.自らが鹿児島県の医療を担う一人であることを自覚する	発表会	【発表】 2020年度新卒採用者（卒後4年目）・2021年度新卒採用者（卒後3年目）の看護師・助産師	高見 2/26永田 2/27井手迫 2/28高見 2/29島岡
	看護実践プロセスⅢ	12月27日（水） 13：00～16：30 総合臨床研修センターセミナー室	11	PONRIに基づいた看護記録を実施し、部署看護師を対象に看護記録の質向上に向けた指導ができる	1.実施している看護が看護記録に反映されているか、記録内容が妥当か評価できる 2.看護実践プロセス（看護過程）の展開を踏まえ、患者と看護実践が見える記録を目指した指導の視点が理解できる	講義 演習	【講義】「看護実践がみえる看護記録」 1. 看護記録の意義と専門職が書く記録 講師：高見利恵（教育専従師長） 2. 看護過程に沿った看護記録の指導 講師：内山美香（B7教育委員） 3. 記録監査の現状と課題 講師：楠元裕佳（B7記録検討監査委員） 【演習・グループワーク】事例を用いた監査・評価・指導の実際 インストラクター：内山美香（B7教育委員）・菊永麻美（リハビリ教育委員）・高見利恵（教育専従）	高見 島中
	BLSフォローアップ①②	①7月31日（月） 1G:13：00～14：30 2G:15：00～16：30 ②9月13日（水） 1G：12：45～14：15 2G：14：35～16：05 総合臨床研修センターセミナー室	54	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.正しい胸骨圧迫が出来る 2.バックバルブマスクを用いて、換気出来る 3.AEDが使用できる	演習	【BLS演習】 ①7/31：講師・インストラクター：瀬戸口美優（B5災害支援ナース） 北野舞（手術室災害支援ナース） インストラクター：和田麗・福島真紀（教育専従） ②9/13 講師・インストラクター：堂山晃希（ICU災害支援ナース） イストラクター：泉二早奈恵（3階外来災害支援ナース）、和田麗・福島真紀（教育専従）	福島 和田
	急変時シミュレーション	6月～2024年2月 各部署にて研修	22部署 のべ33 回 のべ307 名	患者の急変時における個人およびチームの迅速かつ適切な対応についてシミュレーションし、安心・安全な看護を提供する能力を養う	1.部署における患者急変時の各看護師の役割と働き方を理解する 2.患者の観察要点を学ぶ	演習	【事前学習】リソースナースを活用した学習会・BLS・SBAR 【演習】部署毎のシミュレーション 【振り返り】急変DVD視聴後の意見交換 イストラクター：各部署担当の専門・特定・認定看護師	教育委員会 部署教育ナース
人材育成	プリセプター（実地指導者）・フォローアップ研修Ⅰ	6月19日（月） 1G：9：00～11：00 2G：12:15～14：15 3G：14:45～16：45 総合臨床研修センターセミナー室	52	プリセプター（実地指導者）としての役割を再認識し、新人看護職員へ対する精神的支援について具体的な方法、課題を共有できる	1.プリセプターの役割を再認識できる 2.新人看護職員の現場への適応状況を把握し、新人看護職員へ対する精神的な支援にnについて具体的な方法、課題を共有し、今後の関わりを考えることができる	講義 演習	【講義】7～9月の新人指導について 講師：市川善実（ICU教育委員）、田中久美子（教育専従） 【講義】「あなたのコミュニケーションの特徴を知ろう～リアリティショックを和らげるためのヒント～」： 学研e-ラーニング聴講 【演習】「新人看護職員の精神的支援について」グループワーク 支援者：市川善実（ICU教育委員）、津之地紀代子（手術部教育委員） 田中久美子（教育専従）	田中 市川 津之地
	プリセプター（実地指導者）・フォローアップ研修Ⅰ（補講）	7月31日（月） 14：35～15：35 総合臨床研修センター演習室1.2	1	プリセプター（実地指導者）としての役割を再認識し、新人看護職員へ対する精神的支援について具体的な方法、課題を共有できる	1.プリセプターの役割を再認識できる 2.新人看護職員の現場への適応状況を把握し、プリセプターの役割を再認識できる 3.新人看護職員の取り巻く環境を把握し、今後どのような支援が望ましいか考えることができる	講義 演習	【講義】7～9月の新人指導について 講師：田中久美子（教育専従） 【講義】「あなたのコミュニケーションの特徴を知ろう～リアリティショックを和らげるためのヒント～」： 学研e-ラーニング聴講 【演習】「新人看護職員の精神的支援について」グループワーク 支援者：田中久美子（教育専従）	田中
	プリセプター（実地指導者）・フォローアップ研修Ⅱ	9月6日（水）・7日（木） 10：00～12：00 総合臨床研修センターセミナー室	52	プリセプター（実地指導者）としての役割を再認識し、新人看護職員へ対する精神的支援について具体的な方法、課題を共有できる	1.新人看護職員の現場への適応状況を把握し、プリセプターの役割を再認識できる 2.新人看護職員の取り巻く環境を把握し、今後どのような支援が望ましいか考えることができる	講義 演習	【講義】「9月以降の新人への関わり」 講師：田中久美子（教育専従） 【講義】「プリセプターの新人指導に置ける困難」（9/7：録画） 講師：吉永美佳（C3教育委員） 【演習】「新人看護職員が求める支援について考える」ロールプレイ 支援者：吉永美佳（C3教育委員）、田中久美子（教育専従）	田中 吉永
	プリセプター育成研修・基礎	①2024年3月6日（水） 1G：9：00～10：00 2G：14：00～16：00 総合臨床研修センター演習室1・2 ②3月11日（月） 3G：9：00～11：00 総合臨床研修センターセミナー室	43	プリセプター（実地指導者）の役割を理解できる	1.プリセプターの役割について説明できる 2.当院の新人育成プランを説明できる 3.プリセプターの役割を担うことへの不安や期待を受講生と共有できる	講義 演習	【講義】「プリセプターに期待すること」 講師：田中久美子（教育専従） 【講義】「プリセプターの役割」 講師：奥加奈（B8教育委員） 【演習】「目標を立てて、なりたいプリセプターになろう！」グループワーク 支援者：3/6：奥加奈（B8教育委員） 3/6・3/11：田中久美子（教育専従）	田中 奥

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
人材育成	臨床指導者研修	9月12日(火) 9:00~12:30 鶴陵会館中・小ホール	23	臨床指導者としての役割を理解し、学生指導が実践できる	1.臨床実習の意義を説明できる 2.臨床指導者の役割を説明できる 3.自己の実習指導を振り返り、課題に対する具体的な解決方法を列挙できる	講義 演習	【講義】「これからの看護界を共に背負って立つ仲間を育てるために」 講師：清水佐智子（鹿児島大学保健学科基幹看護講座 准教） 【演習】「臨床実習指導で後輩を育てよう！」 支援者：内山美香（B7教育委員）、田中久美子（教育専従）	田中 内山
	勤務帯リーダー研修①	①10月5日(木) 12:30~16:30 総合臨床研修センターセミナー室	25	チーム医療の中でリーダーシップを発揮し、安全で質の高い看護サービスを提供できる	1.リーダーシップとマネジメントについて理解する 2.勤務帯リーダーの役割について理解する 3.勤務帯リーダーを担うにあたっての自己の課題に気づくことができる	講義 演習	【講義】「リーダー概論」 講師：折田美千代（B3看護師長） 【講義】「勤務帯リーダーの実際」 講師：菊永麻美（リハビリ副看護師長） 【演習】「リーダーに求められる判断力」 支援者：折田美千代（B3教育委員）、菊永麻美（リハビリ教育委員）、高見利恵（教育専従）	高見 折田 菊永
	勤務帯リーダー研修②	②2024年2月1日(木) 12:30~16:30 総合臨床研修センターセミナー室	21			講義 演習	【講義】リーダー概論 講師：塗木さゆり（B4看護師長） 【講義】勤務帯リーダーの実際 講師：溜ひとみ（B2副看護師長） 【演習】リーダーに求められる判断力 支援者：折田美千代（B3教育委員）、溜ひとみ（B2教育委員）、高見利恵（教育専従）	高見 塗木 溜
	リーダーシップ	8月28日(月) 13:00~16:15 鶴陵会館中・小ホール	15	日常生活活動の中で、医療チームの一員として適切なリーダーシップを発揮し、よりよいチームができるよう、資質向上を図る	1.リーダーシップについて理解する 2.よりよいチーム活動のための、効果的なリーダーシップについて考えることができる 3.リーダーシップを発揮するための自身の課題を認識できる	講義 演習	【講義】「リーダーシップについて」 【演習】「自己の役割遂行のための効果的なリーダーシップを考える」 講師：有倉巳幸（鹿児島大学教育学部学部長 教授） 演習助手：溜ひとみ（B2教育委員）、鳥越千秋（C2教育委員）、高見利恵（教育専従）	高見 溜 鳥越
	部署教育ナース育成研修	2024年3月1日(金) 9:00~12:00 総合臨床研修センターセミナー室	10	部署における部署教育ナースとしての役割を果たすことができる	1.新人看護職員卒後研修及び当院の教育体制を理解できる 2.部署教育ナースとしての役割を理解できる 3.効果的なOJTを行うための関わり方を考えることができる	講義 演習	【講義】「当院看護部の教育体制と教育プログラム」 講師：高見利恵（教育専従看護師長） 【講義】「新人看護師について、部署教育ナースの役割について」 講師：福島真紀（教育専従） 【講義・演習】「ティーチング・コーチング・ファシリテーションの基本の基本」学研eラーニング 支援者：高見利恵・福島真紀（教育専従）	福島 高見
	指導力向上研修 ティーチング・コーチングの基本	7月28日(金) 17:30~18:30 第4講義室	56	看護師育成に必要な教育原理や技法を学び、看護実践における指導力を養う	1.看護師に必要な指導力について理解できる 2.看護師育成のための効果的指導法について考えることができる 3.指導力を発揮するための自身の課題を認識し、指導に活かすことができる	講義 演習	【講義】「ティーチング・コーチング」 講師：李慧瑛（鹿児島大学保健学科基幹看護学講座助教） 【講義・演習】「後輩が育つ発問力」 講師・演者：塗木さゆり（B4教育委員）、高見利恵・田中久美子・福島真紀・和田麗（教育専従）	高見 塗木
	教育講演 鹿児島大学医学部保健学科・鹿児島大学病院看護部合同会	2024年1月29日(月) 17:30~18:30 鶴陵会館大ホール	97			講義	【講義】「ダイバーシティ時代の学びづくり」 講師：有倉巳幸（鹿児島大学教育学部学部長）	川内看護副部長 高見
	地域看護コース Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	Ⅰ：6月26日 13:00~16:45 Ⅱ：8月17日 13:00~16:00 Ⅲ：9月19日~10月6日の間の一日 Ⅳ：12月18日 9:00~12:30  Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ：総合臨床研修センターセミナー室 Ⅲ：地域医療連携センター	11	地域への貢献を主体的に果たすことができる	1.患者を全人的視点で捉え、住み慣れた生活環境でその人らしく生活できるための看護を提供できる 2.患者の視点に立ち、シームレスに看護ケアを実践できる 3.退院困難な患者に社会的資源を活用して、退院調整ができる 4.鹿児島県の超高齢化社会を見据え、地域ケア体制を支援できる	講義 演習	Ⅰ：【講義】地域看護コースについて 講師：川内美千代（看護部教育担当副看護部長） 【講義】地域連携センターの概要と活動 講師：道園久美子（地域医療連携センター副センター長） 【講義】社会資源を活用した退院支援について 講師：野村瑞穂PSW（地域医療連携センター） 【講義】退院支援に関する当院の取り組みについて・退院支援看護師の活動の実際 講師：白石靖子（地域医療連携センター看護師長） Ⅱ：【退院支援事例報告】 新穂ゆき枝（B7副師長、地域看護支援ナース） 荒田友紀（地域医療連携センター退院支援専従看護師） 【演習】「効果的な退院支援をするための情報収集」「退院支援をするための課題と対策」 ファシリテーター：荒田友紀、福島真紀、高見利恵（教育専従） Ⅲ：【地域医療連携センター実務研修】 Ⅳ：【講義】鹿児島県の特性を踏まえた退院支援について 講師：上野友紀（地域医療連携センター退院支援専従看護師） 【講義】離島・へき地の医療や生活状況を踏まえた在宅医療支援の困難事例 講師：戸崎緑（十島村立 宝島へき地診療所） 【演習】退院困難な患者の生活の場を移行するための支援（地域診断・事例検討） 支援者：戸崎緑（十島村立 宝島へき地診療所）、上野友紀（退院支援専従看護師） 福島真紀・和田麗・高見利恵（教育専従） 【講義】地域看護コース受講後の取り組みについて 講師：川内美千代（看護部教育担当副看護部長）	高見

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
管理	看護管理者研修 副看護部長 コンピテンシーモデル研修	8月8日(火) 1G) 9:00~12:00 2G) 13:00~16:00 総合臨床研修センターセミナー室	72	看護管理者が果たすべき役割について理解し、実践できる。管理者を支援できる	1.コンピテンシーの概念を再認識し、コンピテンシー評価について理解を深める 2.コンピテンシー評価を活用し、自己の看護管理能力を開発するための行動目標を言語化できる	講義 演習	【講義】「信念の維持に繋がる感情の自己認識」 講師：佐藤博子（福島県立医科大学看護部 基礎看護学准教授 認定看護管理者） 【模擬演習】「事例を通じた感情の自己認識：怒り・喜びを自身の信念の維持に繋げる」 講師：佐藤博子 支援者：宮園幸江（看護部長） 今川真由美・新駿河洋子・友栗英子・福島悦子・福田ゆかり・川内美千代（副看護部長） 折田美千代・井出迫和美・島岡京美・高見利恵（看護部長）	教育副部長 川内
	看護管理者研修 看護部長 コンピテンシーモデル研修	8月9日(水) 9:30~15:00 C棟8階総合臨床研修センターセミナー室	26	次世代の看護管理者を育成するために、看護管理者が果たすべき役割について理解し、実践できる。	1.看護管理者として、自らの能力を開発するためにコンピテンシー評価を活用することができる 2.看護管理者における「コンピテンシー」を用いて評価するポイントがわかる	講義 演習	【講義】「信念の維持に繋がる感情の自己認識」 講師：佐藤博子（福島県立医科大学看護部 基礎看護学准教授 認定看護管理者） 【模擬演習】「事例を通じた感情の自己認識：怒り・喜び」 「事例を通じ、感情の自己認識から自己の価値観と今後の対応について」 講師：佐藤博子 支援者：宮園幸江（看護部長） 今川真由美・新駿河洋子・友栗英子・福島悦子・福田ゆかり・川内美千代（副看護部長）	教育副部長 川内
	経営Ⅰ	6月16日(金) 17:30~18:30 鶴陵会館大ホール	108	病院の経営目標と看護師が果たすべき役割について理解できる	1.病院の経営目標について理解できる 2.病床管理について理解できる 3.病院の経営に対し、看護師が果たす役割について理解できる 4.研修で学んだことを看護実践できる	講義	【講義】「病院経営のしくみと取り組み」 講師：岩穴口孝（医療情報部助教） 講師：福島悦子（看護部経営担当副看護部長）	経営副部長 福島 教育専従 高見
	経営Ⅱ	9月7日(木) 17:30~18:30 鶴陵会館大ホール	107	病院の経営目標と看護師が果たすべき役割について理解できる	1.病院の経営目標について理解できる 2.病床管理について理解できる 3.病院の経営に対し、リーダー層が果たす役割について課題を見いだすことができる 4.研修で学んだことを看護実践できる	講義	【講義】「病床管理（実践編）～部署経営の取り組み」 講師：清山真由美（前方支援部長） 講師：屋久裕美（C棟4階看護部長） 講師：川畑美賀（B棟7階看護部長）	経営副部長 福島 教育専従 高見
	経営Ⅲ	11月1日(水) 17:30~18:30 鶴陵会館大ホール	81	病院の経営目標と看護師が果たすべき役割について理解できる	1.病院経営の戦略について理解できる 2.病床経営に対する看護管理者に必要な経営意識と役割について示唆を得ることができる 3.研修で学んだことを看護管理で実践できる	講義	【講義】「アフターコロナ時代の病院経営 看護部が病院経営を牽引する」 講師：宇都由美子（副院長 医療情報部部長）	高見
研究	看護研究研修Ⅰ	7月4日(火) 17:15~18:15 鶴陵会館中ホール	20	看護研究の基本的な知識を得て、主体的に看護研究に取り組むことができる	1.看護研究を行うために必要な基本的事項について理解できる 2.研究目的の明確化と研究疑問を解明するための適正な方法について理解できる	講義	【講義】「リサーチクエストの設定」 講師：古島大資（保健学科看護学専攻公衆衛生看護学講座准教授）	高見
	看護研究研修Ⅱ	8月29日(火) 17:15~18:15 共通教育棟インテリジェント室	39	看護研究の基本的な知識を得て、主体的に看護研究に取り組むことができる	3.研修での学びを研究活動に活かすことができる	講義	【講義】「文献検索完全マスター実践編」 講師：児玉慎平（保健学科看護学専攻地域包括看護学講座准教授）	高見
研究	看護研究研修Ⅲ	9月12日(火) 17:15~18:15 鶴陵会館中ホール	29	看護研究の基本的な知識を得て、主体的に看護研究に取り組むことができる	1.看護研究を行うために必要な基本的事項について理解できる 2.研究目的の明確化と研究疑問を解明するための適正な方法について理解できる	講義	【講義】「研究方法① ～質的研究～」 講師：山下亜矢子（保健学科看護学専攻地域包括看護学講座教授）	高見
	看護研究研修Ⅳ	10月17日(火) 17:15~18:15 鶴陵会館 中ホール	27	看護研究の基本的な知識を得て、主体的に看護研究に取り組むことができる	3.研修での学びを研究活動に活かすことができる	講義	【講義】「研究方法② ～量的研究～」 講師：佐々木八千代（保健学科看護学専攻地域包括看護学講座教授）	高見
	院内看護研究発表会	11月11日(土) 9:00~12:30 鶴陵会館大ホール	205	看護研究を通じて看護の探求心を養い、看護活動に役立てることができる		発表	【特別発表】「研究を通しての学び 発表：岩野早希（C棟7階）」 【実践報告】「へき地診療所における看護活動」 発表：戸崎緑（十島村立 宝島へき地診療所） 【発表】B3、B4、B6、C2、C3、C7、ICU、手術部、リハビリ棟、緩和ケアセンター	高見

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
看護助手	看護助手研修Ⅰ-①② 「標準予防策と5S」	①6月21日(水) 10:00~11:00 総合臨床研修センターセミナー室 ②6月28日(水) 1G:10:00~11:00 2G:14:00~15:00 第4講義室	73	看護チームの一員として自己の役割を自覚するとともに患者サービスに活かせる基礎的知識・技術を習得できる	1.感染予防に必要な知識を習得することができる 2.手指衛生の重要性や防護用具の適切な使用について確認できる	講義 演習	【講義】「標準予防策と5Sについて」 【演習】「手指衛生と個人防護具の着脱」 講師：有村尚子(感染制御部門感染管理認定看護師)	田中
	看護助手研修Ⅰ-①② 「医療器材管理」	7月4日・6日・7日・12日・18日・25日・27日の14:30~15:30 8月1日2G3G・3日2G3G・4日1G2G 1G:10:00~11:00 2G:13:15~14:15 3G:14:30~15:30 医療器材管理部	62		1.医療器材管理に必要な知識を習得できる 2.医療器材管理上のルールが理解できる	講義 演習	【講義・演習】「医療器材管理」 講師：川島優子(医療器材管理部看護師長)	田中
	看護助手研修Ⅰ(補講) 「医療器材管理」	11月27日(月)13:20~14:45 キャリアアップ研修室、医療器材管理部	1		【講義(録画)】「医療器材管理」 【演習】講師：川島優子(医療器材管理部看護師長)	田中		
	看護助手研修Ⅱ-①② 「入院患者の対応について」	①8月31日(木) 1G:10:00~11:20 2G:14:00~15:20 ②9月1日(金) 3G:14:00~15:20 総合臨床研修センターセミナー室	74		1.看護補助者に求められる患者とのコミュニケーションについて説明できる 2.医療チームの一員として、こころにゆらぎを抱える患者との関わりについて考えることができる	講義 演習	【講義】「相手の心に寄り添うコミュニケーション」 講師：田畑真由美・脇田真衣子(緩和ケア認定看護師) 【演習】「コミュニケーションの演習」 インストラクター：田畑真由美・脇田真衣子(緩和ケア認定看護師) 永田亜紀(褥瘡・緩和・がん相談教育委員)、田中久美子(教育専従)	田中 永田
	看護助手研修Ⅱ(補講) 「入院患者の対応について」	11月20日(月)9:00~9:50 キャリアアップ研修室	1		【講義(録画)】「相手の心に寄り添うコミュニケーション」 講師：田畑真由美・脇田真衣子(緩和ケア認定看護師) 【演習】「コミュニケーションの演習」 インストラクター：田中久美子(教育専従)	田中		
	看護助手研修Ⅲ-①② 「車椅子移乗・移送」	①10月10日(火) 1G:13:30~15:30 ②10月11日(水) 2G:10:00~12:00 3G:13:00~15:00 保健学科4階基礎・成人看護学実習室	76		1.車椅子移乗・移送に関する基礎知識について説明できる 2.演習において、点滴投与中の患者を安全・安楽に車椅子で移乗・移送できる 3.車椅子移乗・移送に潜む危険について考えることができる	講義 演習	【講義】「車椅子移送について」 講師：田中久美子(教育専従) 【演習】「点滴投与中の患者の移乗・移送」 インストラクター：田中久美子(教育専従) 10/10:奥加奈(B8教育委員)、窪園由佳(B6部署教育ナース) 10/11:鈴木真由美(C5教育委員)、竹之内千紗(リハビリ) 「車椅子移乗の危険予知トレーニング」 インストラクター：10:10 山下晴美(3階外来教育委員) 10/11 鳥越千秋(C2教育委員)	田中 10/10:奥・山下 10/11:鈴木・鳥越
	看護助手研修Ⅳ 「医療制度・病棟の組織・看護補助業務・個人情報保護と守秘義務・倫理」	①12月7日(木) 1G9:30~11:20 ②12月21日 2G:9:30~1:20 3G:13:30~15:20 総合臨床研修センターセミナー室	76		1.医療制度の概要及び病院組織について説明できる 2.看護補助者の業務を理解し、看護ケアについて重要な役割を担っていることについて説明できる 3.個人情報保護と守秘義務の重要性について説明できる 4.医療現場における接遇について説明できる 5.医療現場に求められる接遇、倫理観や倫理的に配慮した対応について考えることができる	講義	【講義】「医療制度の概要及び病院の機能と組織について」 「医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務について」 講師：福田ゆかり 業務管理副看護部長 【講義】「医療チームの一員としての患者への対応、個人情報保護と守秘義務」 講師：新駿河洋子 質管理副看護部長 【講義】「接遇、倫理について」 講師：川内美千代 教育管理副看護部長	田中

#### 4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

##### ①医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

ME機器センター

研修の主な内容	期間	回数	参加人数(人)	対象者
水処理装置について	2023年04月05日～04月06日	2	10	臨床工学技士
エネルギーデバイスについて	2023年4月7日	1	11	看護師
SL Oneについて	2023年4月10日	1	14	臨床工学技士
修理対応、取り扱いの注意等について	2023年4月11日	1	4	看護師
Arctic sun 5000体温管理システムについて	2023年4月11日	1	10	臨床工学技士
Sentec デジタルモニターシステム機器使用方法説明	2023年04月12日～04月18日	1	5	臨床工学技士
内視鏡ベッドサイド洗浄(ハンズオン)	2023年4月18日	1	4	臨床工学技士・内視鏡洗浄員
Thopaz+について	2023年04月20日～05月29日	8	79	看護師・臨床工学技士
経皮ガスモニター装置概要説明会	2023年4月21日	1	6	臨床工学技士
LithoVueについて	2023年4月24日	1	5	臨床工学技士
Lumenis PULSE MOSESについて	2023年4月24日	1	6	看護師
スコープアングルチェック等について	2023年4月25日	1	2	臨床工学技士
ベッドサイド洗浄について	2023年4月25日	1	2	内視鏡洗浄員
TR-2020 装置説明	2023年4月26日	1	9	看護師
手術室の電気設備について	2023年4月28日	1	9	看護師
手術台について	2023年4月28日	1	6	臨床工学技士
ERCPと拡張バルーンについて	2023年5月9日	1	3	臨床工学技士
経皮血液ガスモニターTCM5について	2023年5月9日	1	7	看護師
涙道鏡(MVH-2010A)について	2023年05月10日～05月11日	1	4	臨床工学技士
Nellcor新テクノロジー説明	2023年5月16日	1	11	臨床工学技士
ECMO穿刺トレーニング	2023年5月18日	1	13	臨床工学技士
Thopaz+について	2023年05月22日～05月29日	1	22	看護師
Vivid i AcuNavi説明会	2023年5月24日	1	3	臨床工学技士
Ambu ディスposスコープ操作方法等について	2023年5月29日	1	4	臨床工学技士・内視鏡洗浄員
ERCPIについて	2023年5月30日	1	2	臨床工学技士
ライトストライクについて	2023年5月31日	1	6	看護師
間接熱量計Q-NRG+について	2023年5月31日	5	7	臨床工学技士
手術室の電気設備について	2023年6月2日	1	5	看護師
ライトストライクについて	2023年6月14日	1	10	看護師

手術部内視鏡の取り扱いについて	2023年6月23日	1	15	看護師
血液浄化装置について	2023年6月23日	1	14	看護師
立会い実施後の結果報告、取扱い勉強会	2023年6月23日	1	15	看護師
ABL90 FLEX PLUSシステムについて	2023年6月26日	1	7	看護師
閉鎖式保育器について	2023年06月27日～07月21日	1	116	看護師
ECMO研修会	2023年7月18日	1	10	臨床工学技士
栄養ポンプについて	2023年7月25日	1	8	臨床工学技士
経皮的心肺補助装置について	2023年8月3日	1	8	看護師
Edwards 心拍出量計説明会	2023年8月8日	1	12	臨床工学技士
PACE 300について	2023年8月21日	1	4	臨床工学技士
InfinityC500について	2023年8月24日	1	6	看護師
CARDIOHELP機器説明会	2023年8月29日	1	10	臨床工学技士
SpO2説明会	2023年8月29日	1	10	臨床工学技士
MASIMO パルスオキシメーターについて	2023年9月1日	1	12	臨床工学技士
内視鏡関連機器(管路内部検査用カメラ)	2023年9月5日	1	5	臨床工学技士・内視鏡洗浄員
Ambu エビュー-2モニターについて	2023年9月26日	1	10	臨床工学技士・内視鏡洗浄員
IMPELLAについて	2023年09月28日～10月25日	2	22	看護師・臨床工学技士
補助循環装置IMPELLAについて	2023年10月25日	3	35	看護師
Cardiolife AEDについて	2023年11月13日	1	19	看護師・放射線技師
エコー基礎勉強会	2023年11月22日	1	9	臨床工学技士
SONOPET勉強会	2023年11月22日～11月29日	1	6	看護師
持続緩徐式血液濾過器ヘモフィールSNVについて	2023年12月5日	1	9	臨床工学技士
Bair Huggerについて	2023年12月8日	1	25	看護師
テルモシリンジ・注射針説明会	2023年12月12日	1	7	臨床工学技士
CUSAの取扱いについて	2023年12月15日	1	14	看護師
手術台について	2023年12月20日	1	12	看護師
血液浄化療法装置について	2023年12月25日	1	7	看護師
イソKMPプラスについて	2024年1月12日	1	20	看護師・臨床工学技士
ECMO ～導入から管理まで～	2024年1月24日	1	10	臨床工学技士
内視鏡研修会 - 膵胆管系の解剖と内視鏡検査・治療について	2024年2月22日	1	3	臨床工学技士
手術台について	2024年2月27日	1	4	看護師・臨床工学技士
シリンジポンプについて	2024年02月27日～02月29日	4	67	看護師・臨床工学技士



ENTMR8(ハイスピードドリル)について	2024年2月28日	1	13	看護師・臨床工学技士
閉鎖式保育器について	2024年02月28日～03月22日	—	117	看護師
ESDIについて	2024年2月29日	1	3	臨床工学技士
コーパルスについて	2024年3月28日	2	19	看護師・臨床工学技士

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 坂本 泰二	
管理担当者氏名	各診療センター部門科長 薬剤部長 (寺菌 英之) 総務課長 (宮野 英彦)	医療情報部長 (奥野 浩行) 医療技術部長代行 (弓場 裕之) 医務課長 (新野 さくら)

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各センター、部門科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	・電子カルテ ・スキャン文書/医療情報部診療情報管理部門 (カルテ保管庫)
		看護記録	・電子カルテ ・スキャン文書/医療情報部診療情報管理部門 (カルテ保管庫)
		検査所見記録	・電子カルテ ・スキャン文書/医療情報部診療情報管理部門 (カルテ保管庫)
		エックス線写真	・電子カルテ ・スキャン文書/医療情報部診療情報管理部門 (カルテ保管庫)
		紹介状	・電子カルテ ・スキャン文書/医療情報部診療情報管理部門 (カルテ保管庫)
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課
	規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医務課
			(1) 診療諸記録は、2007年以降の外来及び入院分から電子カルテに保存・管理している。 (2) 紙媒体の診療諸記録 (紹介状、同意書等) は、1患者1ID番号により外来ホルダー・入院ホルダーに分けて、定められた保存期間に基づき一括管理している。 (3) 保存期間を超過した紙媒体の診療諸記録は、当院の廃棄ルールに従い、廃棄している。 (4) 画像データ (CT、MRI、RI、一般撮影、透視、血管造影等) は、2013年からデジタル画像として院内サーバにて保存・管理している。 (5) 特別な場合 (医療訴訟、公的機関からの要請等) を除き、院外への持ち出しは厳禁としている。
			(1) 病院の管理及び運営諸記録は、当院のルールに従い、管理している。 (2) 保存期間を超過した病院の管理及び運営諸記録は、当院の廃棄ルールに従い、廃棄している。
			(1) 病院の管理及び運営諸記録は、当院のルール

		医療に係る安全管理のための委員会 の開催状況	医務課	に従い、管理している。 (2) 保存期間を超過した 病院の管理及び運営諸 記録は、当院の廃棄ルー ルに従い、廃棄している 。
		医療に係る安全管理のための職 員研修の実施状況	医務課	
		医療機関内における事故報告等 の医療に係る安全の確保を目的 とした改善のための方策の状況	医務課	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医務課	(1) 病院の管理及び運営諸記録は、当院のルールに従い、管理している。  (2) 保存期間を超過した病院の管理及び運営諸記録は、当院の廃棄ルールに従い、廃棄している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医務課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医務課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医務課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療技術部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医務課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(1)病院の管理及び運営諸記録は、当院のルールに従い、管理している。

(2)保存期間を超過した病院の管理及び運営諸記録は、当院の廃棄ルールに従い、廃棄している。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画    ② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 坂本 泰二
閲覧担当者氏名	総務課長 宮野 英彦
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要  閲覧場所を設置しており、要求があった場合には対応できる状況である。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>I 趣旨</li> <li>II 安全管理に関する基本的考え方</li> <li>III 組織に関する基本的事項</li> <li>IV 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針</li> <li>V 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li> <li>VI 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li> <li>VII 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li> <li>VIII 患者等からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>IX その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（有・無）</li> <li>・ 開催状況：年 12 回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療の安全管理体制の確保に関すること。</li> <li>(2) 医療に関する安全管理指針に関すること。</li> <li>(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。</li> <li>(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。</li> <li>(5) その他医療の安全管理等に関すること。</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全研修①「外部機関からの医療安全情報」</li> <li>医療安全研修②「患者誤認防止・個人情報漏洩防止」</li> <li>医療安全研修③「医療安全管理・感染管理に関する自己チェックシート」</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療環境の変化に対応するため、医療安全管理マニュアルを随時改訂した。</li> <li>(2) 医療安全活動強化月間（6月・11月）を設定した。</li> <li>(3) 医療安全強化月間およびリスクマネージャー連絡会議等でのインシデント(1)レベル0、1報告の推奨を行った。</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>I 趣旨  II 院内感染対策の基本指針  III 組織体制  IV 職員の教育及び研修  V 報告に関する基本方針  VI 対応に関する基本方針  VII その他  VIII 閲覧</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>本院における院内感染対策に関する発生状況や抗菌薬使用量を含む実施状況の情報共有、および問題の原因分析、改善策を審議し、諸施策等の策定等を行う。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>院内感染対策研修①「標準予防策・感染経路別予防策」  院内感染対策研修②「新型コロナウイルス感染症類型の見直しをうけて」  院内感染対策研修③「新型コロナワクチンの重要性と今後の展望」  院内感染対策研修④「なぜ薬剤耐性菌対策・抗菌薬適正使用は必要なのか？」  院内感染対策研修⑤「結核」  院内感染対策研修⑥「抗菌薬適正使用を行なう上で押さえるべきポイント」</p> <p>※その他に清掃業者・調理従事者向けの研修会を実施した。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 伝播リスクの高い感染症発生時や耐性菌保有リスクの高い海外医療機関歴のある患者の入院時に部署から感染制御部に報告  (2) 注意すべき病原体の検出時に検査部からICTに報告  (3) 週1回検査部から病棟別主要注意菌検出状況をまとめた感染情報レポートをICTに提出、感染制御部でとりまとめているサーベイランスレポートとともにカンファレンスで共有  (4) 重大な感染事例の発生時は感染制御部から病院長に報告  (5) ICTスタッフ会議、感染症対策委員会において報告  (6) リスクマネージャー連絡会議を通じて院内に周知</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。



規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年15回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>2023/04/05 研修歯科医採用者ガイダンス  2023/04/06 新規採用者（医科研修医）ガイダンス  2023/04/12 新人看護職員基礎研修  2023/04/27 ユニツキシンについて（C6病棟）  2023/06/22 救急病棟で使用される薬剤について（ICU）  2023/07/26 胃癌のレジメンと前投薬について（C4病棟）  2023/08/02 リドカイン・アドレナリン配合歯科用局所麻酔剤の今後の管理について（B3病棟）  2023/09/22 精神科薬剤の粉碎・経管投与の可否について（C2病棟）  2023/10/25 IBD治療薬について（C7病棟）  2023/12/07 ベクティビックスの皮膚症状と対策について（C4病棟）  2023/12/08 麻薬の取り扱いと管理（C5病棟）  2024/03/22 薬剤試飲会（ダイフェン等）1回目（C6病棟）  2024/03/25 薬剤試飲会（ダイフェン等）2回目（C6病棟）  2024/03/18～31 未承認新規医薬品等を用いた医療体制について（web研修, 全職員対象）  2024/03/18～31 麻薬の取扱い・管理について（web研修, 全職員対象）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有・無）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>(1) 医薬品の採用について  (2) 医薬品の購入について  (3) 調剤室における医薬品の管理について  (4) 病棟・各部門への医薬品の供給について  (5) 外来患者への医薬品使用について  (6) 病棟における医薬品の管理について  (7) 入院患者への医薬品使用について  (8) 医薬品情報の収集・管理・提供について  (9) 手術・麻酔部門について  (10) 救急部門・集中治療室について  (11) 輸血・細胞治療部門について  (12) 血液浄化部門について  (13) 臨床検査部門、画像診断部門について  (14) 外来化学療法部門について  (15) 歯科領域について  (16) 他施設との連携について  (17) 在宅患者への医薬品使用について  (18) 放射性医薬品について  (19) 院内製剤について  (20) 重大な有害事象の予防・対応について</p>	

- (21) 事故発生時の対応について
- (22) 教育・研修について
- (23) 医薬品関連の情報システムの利用について

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (  ・ 無 )
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :

- (1) 硝子体手術におけるケナコルト-A筋注用関節腔用水懸注の適応外使用
- (2) 低悪性度神経膠腫に対するトラメチニブの適応外使用
- (3) 胎児不整脈に対するソタロール、フレカイニドの適応外使用
- (4) ファーストバイト症候群に対するボトックス注用50単位の適応外使用
- (5) 抗GABA A抗体陽性自己免疫性脳炎に対するリツキシマブBS点滴静注の適応外使用
- (6) 自己免疫性肝炎に対するミコフェノール酸モフェチルの適応外使用
- (7) 悪性腹膜中皮腫に対するニボルマブの適応外使用
- (8) 再発難治POEMS 症候群に対するレナリドミドの適応外使用
- (9) 蛋白漏出性胃腸症に対するオクトレオチドの適応外使用
- (10) 腸管不全関連肝障害に対するSMOF Lipid 20% (症例1)
- (11) 巨大肝血管腫に対するセレコキシブの適応外使用
- (12) 子宮肉腫に対するドセタキセル+ゲムシタビン療法の適応外使用
- (13) 後腹膜平滑筋肉腫術後多発転移に対するGD 療法の適応外使用
- (14) ろ紙ディスク法による味覚定量検査における試薬一式
- (15) 再発性悪性胸膜中皮腫に対するビノレルビンの適応外使用
- (16) 腸管不全関連肝障害に対するSMOF Lipid 20% (症例2)

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

医薬品情報の周知状況の確認を徹底するために、DIニュースについては、毎月の発行分を医療安全管理委員会に報告し、また、リスクマネージャー連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。

緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、院内通知文書や院内メール、院内イントラネット、病棟担当薬剤師による情報提供、当該医薬品を使用している患者カルテへの記載を行う等、様々な方法で情報提供を行っている。

医薬品の適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を突破して禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している（警告を突破して禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時に疑義照会している）。

また、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し審議する体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年11回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人工心肺装置（補助循環装置を含む）研修会（2023年8月3日、9月28日、10月25日）</li> <li>(2) 人工呼吸器研修会（2023年11月8日～11月30日、2024年2月28日～3月22日）</li> <li>(3) 血液浄化療法研修会（2023年6月23日 2023年12月25日）</li> <li>(4) 除細動器研修会（2023年11月8日～11月30日、2024年2月28日～3月22日）</li> <li>(5) 閉鎖式保育器研修会（2023年6月27日～7月21日、2024年2月28日～3月22日）</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 （ 有・無 ）</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 （年 1 回）</li> <li>(2) 人工呼吸器 （年 1 回）</li> <li>(3) 血液浄化療法装置 （年 1 回）</li> <li>(4) 除細動器 （年 1 回）</li> <li>(5) 閉鎖式保育器 （年 1 回）</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集	
<p style="text-align: center;">その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ）</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全医療職員を対象とした講習会（2機種 年2回）                   <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2023年11月（除細動器）</li> <li>2) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2023年11月（人工呼吸器）</li> <li>3) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2024年3月（除細動器）</li> <li>4) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2024年3月（人工呼吸器）</li> </ol> </li> <li>(2) その他研修会                   <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 2023年度採用初期臨床研修医ガイダンス 2023年4月</li> <li>2) 2023年度 2年目看護師研修（人工呼吸器）2023年8月</li> </ol> </li> <li>(3) 医療機器安全管理検討委員会およびME機器センター運営委員会での情報周知                   <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 消化器内視鏡等の洗浄・消毒における 注意点について</li> <li>2) 離床センサーの電源入れ忘れ</li> <li>3) MRI検査室への磁性体（金属製品など）の持ち込み（第3報）</li> <li>4) 腹腔鏡の曇り止め用の湯による熱傷</li> <li>5) シリンジポンプの単位の選択間違い</li> <li>6) 気管切開チューブの取扱い時の 注意について（その2）</li> <li>7) 人工呼吸器の吸気側と呼気側の 回路接続間違い</li> <li>8) ACE阻害薬服用患者に禁忌の 血液浄化器の使用</li> <li>9) 別の患者の眼内レンズの挿入</li> </ol> </li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療に関する安全管理のための指針を令和元年6月10日一部改訂し、従来の医療環境安全部を医療安全管理部と感染制御部に改組し、各部門の機能強化を図った。その上で医療安全管理責任者に副病院長（安全管理・感染対策担当）を充て、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理者を統括させることとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 11名 ) ・ 無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室にて情報を収集・整理し、DI ニュースとして発行している。また1ヶ月の周知状況を医療安全管理委員会に報告し、リスクマネージャー連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。</p> <p>緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収している。（直近では令和3年6月にジョイクル関節注 30mg によるショック、アナフィラキシーについてのブルーレターが発出されている）</p> <p>医薬品・医療機器安全情報に掲載されている医薬品については、当該医薬品を投与している患者を抽出し、当該医薬品を投与している患者の主治医に対し、病棟担当薬剤師より、電子カルテにて主治医等へ情報提供を行い、該当患者一覧表を保存している。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品の適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を突破して禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している（警告を突破して禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時に疑義照会している）。</p> <p>また、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し審議する体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告している。</p> <p>・ 担当者の指名の有無 (有・無)</p> <p>・ 担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤部長 ) (所属：薬剤部 ， 職種 副薬剤部長 )</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 医薬品情報主任) (所属：薬剤部 ， 職種 病棟薬剤業務管理主任)</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：インフォームドコンセント委員会において、診療科より提出された説明書がインフォームドコンセントマニュアルの規定にそったものであるかを確認、審査し、不足追加部分について指摘、訂正を促す。最終版を委員会で承認し、院内共通の文書として登録している。</li> </ul>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>診療記録の記載方法は、診療情報管理委員会で作成した「診療記録記載マニュアル」に提示している。診療記録の記載内容については、同委員会で作成した「診療記録監査マニュアル」に基づき、医療情報部診療情報管理部門で量的監査を定期的実施している。また、診療情報管理ワーキンググループにおいて、多職種での質的監査も実施しており、監査結果については診療情報管理委員会で報告している。</li> </ul> </li> </ul>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専従 ( 4 ) 名、専任 ( ) 名、兼任 ( 2 ) 名 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち医師：専従 ( 1 ) 名、専任 ( ) 名、兼任 ( 2 ) 名</li> <li>うち薬剤師：専従 ( 1 ) 名、専任 ( ) 名、兼任 ( ) 名</li> <li>うち看護師：専従 ( 2 ) 名、専任 ( ) 名、兼任 ( ) 名</li> </ul> </li> <li>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</li> <li>・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療安全を確保するための改善方策に関すること。</li> <li>(2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。</li> <li>(3) インシデントの分析に関すること及びインシデント分析部会開催に関すること。</li> <li>(4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導に関すること。</li> <li>(5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導に関すること。</li> <li>(6) 医療安全管理委員会の運営に関すること。</li> <li>(7) 院内各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録すること。</li> <li>(8) 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取り扱いその他の医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。</li> <li>(9) 医療安全に係る連絡調整に関すること。</li> <li>(10) その他医療安全対策の推進に関すること。</li> </ol> </li> </ul> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 1 件）、及び許可件数（ 1 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

部門科等の長から申請が行われた内容を確認するとともに、高難度新規医療技術評価委員会に対して当該技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否等について決定し、部門科等の長に対し適否結果通知書により通知している。

実施された高難度新規医療技術に関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容の確認を行い、従業者の遵守状況の確認を行っている。

高難度新規医療技術の提供の適否等について決定した時及び従業者の遵守状況を確認した時は、病院長に報告している。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（17 件）、及び許可件数（17 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
  - (1) 未承認新規医薬品等使用の可否の審査
  - (2) 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用報告書の確認
  - (3) 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用後の有害事象等の発生の有無の確認
  - (4) 薬剤部各部署からの報告による未承認新規医薬品等の情報収集
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（  ・ 無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 197 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 79 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - A. 上記報告の状況の確認及び管理者への報告
  - B. 概要の確認、調査・分析、改善方法の立案・検討を行う

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（）（病院名：大阪公立大学）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（）（病院名：千葉大学）・無）
- ・技術的助言の実施状況  
高難度部門の構成について、医師、歯科医師以外の職種の参入を検討するようにとの助言を受け、2024 年度から看護師、臨床工学技士を構成員に追加した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況  
患者相談窓口を設置し、寄せられた相談内容を把握、規則によって定められた者による医療相談室会議を開催し、対応するとともに、関係部署、安全部門へも協力を要請している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況  
新規で採用された医師、歯科医師、医療職員及び事務職員を対象に、4月に初任者研修を実施し、受講させている（令和5年度については新型コロナウイルス感染症対策のためe-ラーニング形式または部門ごとの研修とした。）。中途採用の職員に対しても、採用月にe-ラーニング形式による研修を実施し、受講させている。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者

2024/ 1/15 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

医療安全管理責任者

2024/ 1/ 9 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [初回]

医薬品安全管理責任者

2023/12/ 4 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [初回]

医療機器安全管理責任者

2024/ 1/ 9 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [初回]

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構（主たる機能：一般病院3、副機能：精神科病院）  
認定期間：2020/ 3/ 6 ～ 2025/ 3/ 5

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

日本機能評価機構ホームページにより公表

・評価を踏まえ講じた措置

制度に基づき、期中の確認を実施

(注) 記載時点の状況を記載すること



規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容</li> </ul> <p>◎鹿児島大学病院長候補者選考実施規則                  附属病院長候補者の資格は、人格が高潔で、次に掲げる要件を全て満たす者とする。                  (1) 医師免許を有している者                  (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者                  (3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者</p> <p>◎鹿児島大学病院長候補者選考基準                  【病院長に求められる資質及び能力】                  附属病院長候補者の資格は、人格が高潔で、次に掲げる要件を全て満たす者とする。                  (1) 医師免許を有し、教育研究及び医療行政に関する識見を有する者                  (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者                  (3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者                  (4) 鹿児島大学及び鹿児島大学病院の理念の実現に必要な資質及び能力を有する者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法                      鹿児島大学ホームページにおいて公表</li> </ul>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法                      鹿児島大学ホームページにおいて公表</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
馬場 昌範	鹿児島大学	○	病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第1号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無

田頭 吉一	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第1号	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
井戸 章雄	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第2号	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
橋口 照人	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第3号	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
西村 正宏	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第4号	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
池ノ上 克	宮崎市郡医師会病院特別参与、 宮崎大学学長顧問		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第5号	有・ <input type="checkbox"/>
神川 洋一	鹿児島県弁護士会 会長、 弁護士法人照国総合事務所		病院長候補者選考委員会規則第3条第1項第5号	有・ <input type="checkbox"/>

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 病院の運営管理、経営等に関する重要事項</p> <p>(2) 病院長候補適任者の選考に関する事項</p> <p>(3) その他病院長が必要と認める事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>当該合議体に参加した各所属長をとおして、各部門に伝達している。また、イントラネットに会議資料を掲載し、院内の職員全員が閲覧できる環境を整備している。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・公表の方法</p> <p>鹿児島大学ホームページにより公表している。</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>大学本部から、オブザーバーとして、理事、業務監査監事、会計監査監事が出席し、意見を伺っている。</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
坂本 泰二	○	医師	病院長
石塚 賢治		医師	副病院長
杉村 光隆		歯科医師	副病院長
大塚 隆生		医師	副病院長
榎田 英樹		医師	副病院長
小林 裕明		医師	副病院長
宮蘭 幸江		看護師	副病院長
吉浦 敬		医師	副病院長
家入 里志		医師	副病院長
又木 雄弘		医師	副病院長
谷口 昇		医師	副病院長
岡本 康裕		医師	病院長補佐
大石 充		医師	病院長補佐
西尾 善彦		医師	病院長補佐
曾我 欣治		医師	診療科長
花谷 亮典		医師	診療科長
高嶋 博		医師	診療科長
井上 博雅		医師	診療科長
上田 和弘		医師	診療科長

浅川 明弘		医師	診療科長
中条 哲浩		医師	診療科長
中村 雅之		医師	診療科長
山下 勝		医師	診療科長
江川 形平		医師	診療科長
田中 達朗		歯科医師	診療科長
松永 明		医師	診療科長
下堂 蘭 恵		医師	診療科長
宮脇 正一		歯科医師	診療科長
玉木 直文		歯科医師	診療科長
山座 治義		歯科医師	診療科長
南 弘之		歯科医師	診療科長
西谷 佳浩		歯科医師	診療科長
野口 和行		歯科医師	診療科長
奥井 達雄		歯科医師	診療科長
西條 英人		歯科医師	診療科長
橋口 照人		医師	部長
垣花 泰之		医師	センター長
新山 修平		医師	副センター長
古川 良尚		医師	部長
谷本 昭英		医師	部長
上村 修司		医師	部長
田口 則宏		歯科医師	部長
馬渡 誠一		医師	センター長
小賤 健一郎		医師	センター長
岩穴口 孝		看護師	部長
西 順一郎		医師	部長
嶽崎 俊郎		医師	センター長
寺 蘭 英之		薬剤師	部長
弓場 裕之		理学療法士	部長代行
志茂 弘明		事務	部長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（  有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法  
鹿児島大学ホームページにおいて公表。
- ・ 規程の主な内容  
病院長は、病院の管理運営、経営等全ての事項について、意思決定の最終責任者として、業務を掌理する。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

#### 副病院長

【役割】医科統括・総務担当、歯科総括担当

#### 副病院長（特命）

【役割】経営戦略・医療人材確保担当、医療安全管理・感染制御担当、先端医療・医療の質担当、看護・患者サービス担当、災害対策担当、医療情報・経営分析担当、働き方改革担当、病院再開発担当、周術期支援・手術効率化担当

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

#### 特定機能病院管理者研修（令和5年度開催分）

第4回病院経営次世代リーダー養成塾（令和6年2月15日（木））

第7回医師の働き方改革セミナー（令和5年11月24日～12月23日）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 委員会は、医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について病院長等から報告を求め、又は必要に応じ自ら確認すること。</p> <p>(2) 委員会は、必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。</p> <p>(3) 委員会は、前各号の業務について、監査報告書を学長に提出するとともに、監査結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>鹿児島大学病院ホームページにより公表。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
栗原 慎太郎	長崎大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
蓑毛 まりえ	さくら総合法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
三好 綾	NPO法人 がんサポートか ごしま		医療を受ける者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
  3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

① 人事事務処理状況に関する監査（実地監査）

監査内容：労務基準法、労働安全衛生法等の遵守状況

実施時期：令和6年10月1日～令和6年10月31日

② 個人情報管理状況に関する監査（実地監査）

監査内容：個人情報保護法等の遵守状況

実施時期：令和6年11月1日～令和6年11月29日

③ 法人文書管理状況に関する監査（実地監査）

監査内容：公文書等の管理に関する法律等の遵守状況

実施時期：令和6年11月1日～令和6年11月29日

④ 情報セキュリティに関する監査（実地監査）

i) 監査内容：情報セキュリティに関する脆弱性診断

実施時期：令和6年4月1日～令和7年2月28日

ii) 監査内容：学内事務システムの情報セキュリティポリシー等の遵守状況

実施時期：令和6年12月2日～令和6年12月24日

(2) 会計監査

監査内容：現金・資金管理、収入・支出、契約、旅費、報酬、資産管理、未収債権及び公的研究費の会計処理状況等に関する監査

実施時期：（書面監査）令和6年6月3日～令和6年7月31日

（実地監査）令和6年9月2日～令和6年9月30日

・ 専門部署の設置の有無（・無）

・ 内部規程の整備の有無（・無）

・ 内部規程の公表の有無（・無）

・ 公表の方法

鹿児島大学病院ホームページにより公表。

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会で、病院の経営状況について確認を行う。</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年4回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年4回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</li> <li>・ 公表の方法 鹿児島大学ホームページにより公表。</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。



規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年0件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 鹿児島大学ホームページ及び鹿児島大学病院ホームページに掲載。</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院概要及び病院ホームページにおいて、法令による医療機関の承認・公費負担医療等指定状況等や各診療科の特色を発信している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>救急患者及び複数疾患等においては、診療科を超えて連携して治療にあたっている。</p> <p>医科歯科連携により、医科の病気で入院される患者さんに対し、適切な口腔ケアと徹底して行うことで、イレギュラーな入院の長期化を防ぎ、総体的な入院期間の短縮に貢献している。</p>	